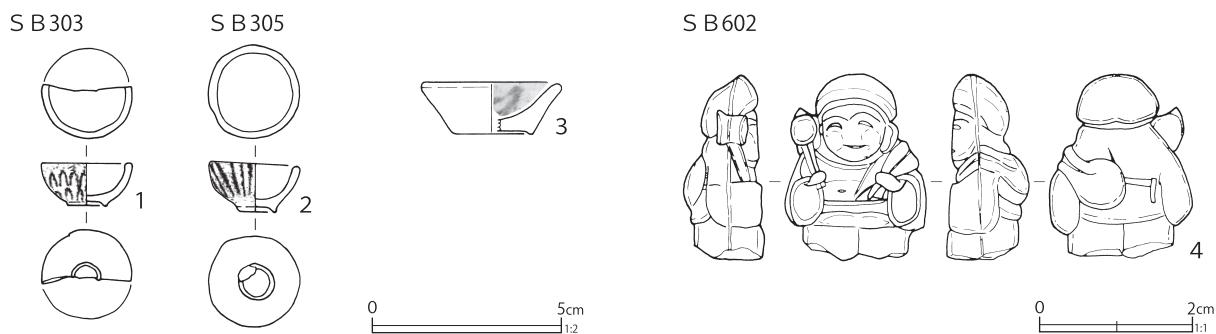


番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
62	磁器	灰落し	(4.9)	7.1	4.7	K	75	良好	白	SB303	肥前系 外面施釉・染付	
63	陶器	壺	6.0	3.3	2.7	IK	95	良好	灰	SB303	京都信楽系 施釉	
64	陶器	土瓶	(7.2)	[1.4]	—	HIK	5	良好	灰	SB303	外面鉄釉	40-4
65	磁器	碗	10.7	5.2	5.8	K	75	良好	白	SB304	肥前系 施釉・染付	
66	磁器	碗	(9.7)	4.8	(3.5)	K	30	良好	白	SB304	瀬戸美濃系 施釉・染付	
67	陶器	灯明皿	(9.6)	2.4	3.5	HIK	70	良好	灰白	SB304	瀬戸美濃系 柿釉	
68	磁器	蓋	4.3	3.2	10.1	HIK	95	良好	白	SB305	肥前系 施釉・染付	
69	磁器	蓋	3.7	2.8	9.5	K	90	良好	白	SB305	肥前系 施釉・染付 高台砂付着	
70	磁器	碗	(11.1)	6.9	4.7	K	40	良好	灰白	SB305	肥前系 施釉・染付	
71	磁器	碗	—	[1.4]	(4.0)	K	30	良好	白	SB305	肥前系 施釉	
72	磁器	碗	(7.9)	[3.7]	—	K	20	良好	白	SB305	肥前系 施釉・染付	
73	磁器	碗	—	[0.9]	—	HIK	5	普通	にぶい黄橙	SB305	漳州窯系 施釉 内面赤絵	40-5
74	陶器	灯明皿	9.7	1.8	5.3	IK	95	良好	灰白	SB305	瀬戸美濃系 柿釉	
75	磁器	皿	(17.6)	2.7	(10.2)	K	10	良好	白	SB305	肥前系 施釉・染付	
76	陶器	甕	—	[6.1]	—	EHIK	5	良好	にぶい赤褐	SB305	常滑系	
77	土師質土器	火鉢か	(19.4)	[4.2]	—	HIK	20	普通	赤橙	SB305	体部ヨコケズリ	
78	磁器	皿	—	[3.0]	13.0	K	45	良好	白	SB305	肥前系 施釉・染付 高台内「富貴長春」銘 ハリ支痕 4	
79	陶器	瓶	—	[8.4]	—	IK	10	良好	にぶい橙	SB305	備前系	40-6
80	土師質土器	焼塩壺	—	[5.7]	(5.7)	AHIK	70	普通	にぶい橙	SB305	ロクロ成形 底部糸切痕	
81	磁器	碗	(11.8)	[5.2]	—	HIK	10	良好	灰白	SB306	肥前系 施釉(外面青磁釉)	40-7
82	陶器	こね鉢	(30.0)	[12.2]	—	IK	20	良好	灰白	SB306	瀬戸美濃系 灰釉 緑釉流掛	
83	磁器	碗	(11.4)	[3.8]	—	HIK	15	良好	灰白	SB307a	肥前系 施釉(外面青磁釉)	
84	磁器	碗	—	[2.3]	(5.0)	K	40	良好	灰白	SB307a	肥前系 施釉(外面青磁釉)	
85	磁器	碗	8.5	5.4	3.2	K	65	良好	白	SB307a	肥前系 施釉・染付	
86	磁器	碗	(7.8)	3.9	2.5	HIK	55	良好	白	SB307a	肥前系 施釉・染付	
87	磁器	壺	—	[1.2]	—	K	5	良好	白	SB307a	中国景德鎮窯系 施釉・染付	40-8
88	磁器	皿	—	[2.1]	—	K	5	良好	白	SB307a	施釉	
89	磁器	皿	(11.3)	2.6	(5.6)	K	45	良好	白	SB307a	肥前系 施釉・染付	
90	磁器	皿	—	[2.2]	4.8	HIK	55	良好	白	SB307a	肥前系 施釉・染付	
91	磁器	皿	—	[0.9]	—	K	5	良好	白	SB307a	肥前系 施釉・染付 高台内釘書「角」	73-3
92	陶器	平碗	(23.8)	[4.4]	—	IK	5	良好	灰白	SB307a	古瀬戸 灰釉 15C	40-9
93	陶器	碗	—	[2.8]	4.8	IK	40	良好	灰黄	SB307a	肥前系 灰釉(京焼風碗)	
94	陶器	天目茶碗	(10.8)	[5.4]	—	EIK	40	良好	灰白	SB307a	瀬戸美濃系 鉄釉	
95	陶器	折縁皿	(12.6)	[2.0]	—	HIK	5	良好	炎黄	SB307a	瀬戸美濃系 内面上位～口縁部灰釉	40-10
96	陶器	皿	11.6	2.6	6.4	HIK	55	良好	灰白	SB307a	瀬戸美濃系 長石釉 口縁部破損後煤付着(志野)	40-13
97	陶器	皿	—	[1.7]	6.3	HIK	80	良好	灰白	SB307a	瀬戸美濃系 内面長石釉 蛇の目状釉剥ぎ 隕刻菊花文	40-11
98	陶器	皿	—	[1.8]	6.0	HIK	80	良好	灰白	SB307a	瀬戸美濃系 内面長石釉 蛇の目状釉剥ぎ 隕刻菊花文	40-11
99	陶器	皿	—	[1.9]	5.8	HIK	60	良好	炎黄	SB307a	瀬戸美濃系 灰釉 内面蛇の目状釉剥ぎ	40-11
100	陶器	鉢か	(9.6)	8.0	(8.4)	—	45	良好	灰白	SB307a	京都系 外面色絵盛上釉	40-12
101	陶器	植木鉢	(9.6)	6.1	4.6	EHIK	70	良好	灰白	SB307a	瀬戸美濃系 灰釉 底部穿孔	
102	陶器	擂鉢	(19.6)	[5.5]	—	EIK	15	良好	赤	SB307a	堺明石系 内面摺目 外面ケズリ後ナデ	
103	陶器	徳利	3.3	[7.8]	—	EIK	90	良好	にぶい赤褐	SB307a	緑釉流掛	40-14
104	陶器	甕	—	[10.0]	—	HIK	5	良好	にぶい赤褐	SB307a	常滑 外面自然釉	
105	土師質土器	器台	(10.4)	3.4	(6.1)	AHIK	25	普通	橙	SB307a	胎土粉質で精良	
106	土師質土器	火鉢	(19.0)	7.7	(13.6)	CHIK	45	普通	橙	SB307a	砂目底 体部下位ケズリ	
107	瓦質土器	火鉢	(16.5)	8.0	(12.4)	CHIK	30	普通	灰黃	SB307a	体部下位～底部回転ヘラケズリ 体部下位黒色化	40-15
108	瓦質土器	焜炉	(31.6)	[5.3]	—	CHIK	20	普通	内側黒灰	SB307a	外面煤付着 窓部上に突帶	
109	土師質土器	焙烙	(31.0)	5.2	(33.2)	CHIK	25	普通	にぶい黄橙	SB307a	外面煤付着	
110	土師質土器	焙烙	(34.8)	[6.2]	(35.2)	CHIK	30	普通	にぶい黄橙	SB307a	外面煤付着	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
111	かわらけ	小皿	(5.5)	1.8	3.8	CEGHI	80	普通	にぶい橙	SB307a	底部糸切痕 胎土砂質	41-1
112	瓦質土器	十能	縦17.7	横9.8	高[4.8]	HIK	10	普通	灰白	SB307a	把手部欠失	
113	瓦質土器	焙烙	縦7.6	横9.6		HIK	5	普通	浅黄橙	SB307a	内面刻印「大極上」	73-4
114	磁器	碗	—	[4.5]	(4.2)	K	20	良好	灰白	SB307b	肥前系 内面施釉・染付 外面青磁釉	
115	磁器	碗	(7.5)	4.1	2.7	K	55	良好	白	SB307b	肥前系 施釉・染付	
116	磁器	坏	(7.4)	3.8	(2.8)	IK	20	良好	白	SB307b	肥前系 施釉 外面色絵 煤付着	41-2
117	磁器	皿	(12.8)	[2.2]	—	K	15	良好	白	SB307b	肥前系 施釉 内面染付	
118	磁器	碗	—	[1.1]	3.5	K	50	良好	白	SB307b	肥前系 施釉	
119	陶器	蓋	—	[1.3]	(9.0)	EK	25	良好	にぶい褐	SB307b	志戸呂系 外面鉄釉 最大径(11.0)	41-3
120	陶器	碗	(8.8)	5.0	(3.4)	HIK	50	良好	灰白	SB307b	京都信楽系 施釉 外面鉄絵	
121	陶器	碗	(8.7)	5.2	3.1	K	30	良好	灰白	SB307b	京都信楽系 施釉 外面鉄絵	
122	磁器	坏	(7.9)	3.3	2.6	—	25	良好	白	SB309	肥前系 施釉・上絵付	41-4
123	磁器	猪口	(6.7)	5.9	(5.1)	—	40	良好	灰白	SB309	肥前系 施釉 外面染付	
124	陶器	水指か	(16.0)	[6.7]	—	HIK	10	良好	灰白	SB309	瀬戸美濃系 灰釉 口縁部露胎	
125	陶器	皿	27.4	6.5	12.4	IK	90	良好	灰白	SB309	瀬戸美濃系 灰釉 外面吳須絵 内面目跡 5	41-5
126	瓦質土器	火消壺	(17.5)	[19.0]	—	CHIK	30	普通	灰黄褐	SB309	外面ミガキ 口縁部内面煤付着	41-6
127	瓦質土器	火鉢	30.3	[8.7]	—	CHIK	20	普通	にぶい黄橙	SB309	外面菊花文スタンプ 菊花文内に塗布物痕跡 口縁部外面黒彩 内面煤付着	
128	磁器	碗	(7.3)	5.8	3.8	K	75	良好	白	SB310	肥前系 施釉・染付	
129	磁器	皿	5.8	1.9	3.4	K	85	良好	白	SB310	肥前系 施釉 内面染付	
130	陶器	壺	11.5	[5.8]	—	HIK	15	良好	にぶい黄橙	SB310	瀬戸美濃系 鉄釉(四耳壺)	
131	陶器	播鉢	縦4.8	横9.1	高[4.7]	CHIK	5	良好	にぶい黄橙	SB310	志戸呂系	41-7
132	磁器	瓶	2.1	[7.8]	—	K	45	良好	灰白	SB310	肥前系 外面施釉 被熱	41-8
133	磁器	碗	(8.8)	6.0	(4.2)	HIK	40	良好	灰白	SB311	肥前系 施釉 外面染付	
134	陶器	碗	—	[1.0]	—	E	40	良好	灰白	SB311	肥前系 内面施釉・鉄絵 高台内刻印「清水」	
135	施釉土器	秉燭	5.0	2.0	3.0	IK	100	良好	橙	SB311	底部糸切痕(左) 透明釉 芯立て煤付着	
136	磁器	碗	(9.0)	4.6	(4.2)	—	50	良好	白	SB313	肥前系 施釉 外面染付	
137	磁器	碗	(7.6)	6.5	3.9	—	60	良好	白	SB313	瀬戸美濃系 施釉・染付	
138	磁器	皿	(19.0)	3.0	(12.2)	HIK	50	良好	灰白	SB313	肥前系 施釉・染付 高台内ハリ支痕 3	
139	陶器	灯明皿	(9.6)	1.9	(4.5)	AEK	40	良好	灰白	SB313	瀬戸美濃系 柿釉	
140	陶器	灯明皿	9.2	2.2	4.2	EIK	60	良好	灰白	SB313	瀬戸美濃系 柿釉 口縁歪みあり	
141	陶器	灯明皿	9.5	2.1	4.4	—	90	良好	黄灰	SB313	瀬戸美濃系 柿釉	
142	陶器	灯明皿	(10.6)	1.7	(4.0)	IK	20	良好	灰白	SB313	瀬戸美濃系 柿釉	
143	陶器	灯明皿	10.1	2.1	4.8	HIK	55	良好	灰白	SB313	瀬戸美濃系 柿釉	
144	陶器	灯明皿	10.2	1.9	4.5	HIK	95	良好	灰白	SB313	瀬戸美濃系 柿釉	
145	陶器	灯明皿	10.0	1.9	4.0	IK	50	良好	灰白	SB313	瀬戸美濃系 柿釉	
146	陶器	灯明皿	(10.2)	1.9	(5.0)	AIK	15	良好	灰白	SB313	瀬戸美濃系 柿釉	
147	陶器	灯明皿	8.3	1.5	(3.0)	K	40	良好	灰白	SB313	京都信楽系 施釉 内面櫛目・ピン痕あり 外面煤付着	
148	陶器	蓋	—	2.7	5.6	HIK	90	良好	淡黄	SB313	外面青緑釉(土瓶)	
149	陶器	蓋	—	3.6	5.6	HK	95	良好	にぶい黄橙	SB313	外面施釉・白盛り・鉄絵(土瓶)	42-1
150	陶器	土瓶	6.5	—	(10.0)	AHK	60	良好	にぶい黄橙	SB313	外面施釉・白盛り・鉄絵	42-1
151	磁器	碗	(9.2)	[5.5]	—	—	15	普通	白	SB314	肥前系 施釉 外面染付	41-9
152	磁器	碗	8.8	3.9	4.2	—	100	普通	白	SB314	肥前系 施釉 外面染付	42-2
153	磁器	碗	8.2	5.9	3.2	—	100	普通	白	SB314	肥前系 施釉・染付	
154	磁器	碗	11.2	5.7	6.0	K	75	普通	白	SB314	肥前系 施釉・染付	
155	磁器	碗	7.1	5.5	4.0	—	100	普通	白	SB314	肥前系 施釉・染付 被熱	
156	磁器	碗	(6.8)	[4.0]	—	I	30	良好	灰白	SB314	肥前系 施釉・染付 被熱	
157	磁器	碗	(9.4)	4.7	(3.8)	I	45	良好	灰白	SB314	瀬戸美濃系 施釉・染付	
158	磁器	碗	9.4	4.7	3.9	I	55	良好	灰白	SB314	瀬戸美濃系 施釉・染付 被熱	
159	磁器	碗	7.9	6.5	(4.0)	I	40	良好	灰白	SB314	瀬戸美濃系 施釉 外面染付	
160	磁器	坏	6.6	3.3	2.5	IK	100	良好	灰白	SB314	肥前系 施釉 外面染付 被熱	
161	磁器	坏	6.8	3.4	2.8	I	100	良好	灰白	SB314	肥前系 施釉 外面染付 被熱	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
162	磁器	壺	(7.2)	3.1	(2.0)	I	45	良好	灰白	SB314	肥前系 施釉 外面染付	
163	磁器	壺	(7.6)	[3.3]	—	IK	30	良好	灰白	SB314	肥前系 施釉 外面上絵付(金)	42-3
164	磁器	皿	13.4	3.4	9.1	I	95	良好	灰白	SB314	肥前系 施釉・染付	
165	磁器	皿	13.8	3.5	9.1	I	100	良好	灰白	SB314	肥前系 施釉・染付(「とら屋」銘) 被熱	42-4.5
166	磁器	皿	(20.8)	2.6	(11.9)	—	35	良好	白	SB314	肥前系 施釉 内面染付 高台内ハリ支痕	
167	磁器	皿	(28.8)	4.6	16.6	K	55	普通	灰白	SB314	肥前系 施釉 内面染付 高台内ハリ支痕 4 遺存 高台内「富貴長春」銘	
168	磁器	皿	21.2	2.4	12.5	—	95	良好	白	SB314	肥前系 施釉 内面染付 高台内ハリ支痕 3	
169	磁器	香炉	(13.9)	7.7	5.2	IK	65	良好	白	SB314	肥前系 外面施釉・染付	
170	磁器	香炉	14.2	6.8	5.1	K	90	良好	白	SB314	肥前系 施釉(外面青磁釉)	42-6
171	磁器	壺	—	[7.7]	(9.6)	HIK	20	良好	灰白	SB314	肥前系 施釉	42-8
172	磁器	水注	縦 [2.9] 横 [8.2]		—	—	—	良好	白	SB314	肥前系 施釉 把手	42-7
173	磁器	蓋	—	2.1	6.0	K	85	良好	白	SB314	瀬戸美濃系 施釉 外面染付	
174	磁器	皿	—	[1.8]	4.3	IK	50	良好	灰白	SB314	肥前系 灰釉 内外面目跡各4(胎土目)	42-9
175	陶器	皿	(11.9)	2.5	5.0	—	90	良好	灰白	SB314	瀬戸美濃系 灰釉(ヒダ皿)	
176	陶器	碗	(9.0)	4.9	(9.0)	K	40	良好	灰白	SB314	京都信楽系 透明釉(貫入)	
177	陶器	灯明皿	10.4	2.1	4.2	K	85	良好	灰白	SB314	瀬戸美濃系 柿釉 内面重焼痕	
178	陶器	灯明皿	9.7	2.0	4.4	HIK	100	良好	灰白	SB314	瀬戸美濃系 柿釉 重焼痕	
179	陶器	灯明皿	10.2	2.1	4.2	K	95	良好	褐灰	SB314	瀬戸美濃系 柿釉	
180	陶器	灯明皿	10.1	1.7	4.6	IK	100	良好	灰白	SB314	瀬戸美濃系 柿釉	
181	陶器	灯明皿	9.9	1.9	4.4	HIK	100	良好	灰白	SB314	瀬戸美濃系 柿釉・重焼痕	
182	陶器	灯明皿	(9.7)	2.0	4.6	—	90	良好	灰白	SB314	瀬戸美濃系 柿釉	
183	陶器	香炉	(7.8)	3.9	(5.2)	HIK	35	良好	灰白	SB314	瀬戸美濃系 外面灰釉	
184	陶器	香炉	(8.1)	7.7	(9.8)	EI	35	良好	灰白	SB314	瀬戸美濃系 外面緑釉・スタンプ文 被熱	
185	陶器	香炉	(10.8)	8.1	(10.2)	HIK	30	良好	黄灰	SB314	京都信楽系 白化粧 施釉 口縁部緑釉	42-10
186	陶器	香炉	(10.6)	[7.9]	—	HIK	45	良好	にぶい橙	SB314	京都信楽系 外面白化粧・施釉 口縁部緑釉・二次叩打痕	
187	陶器	水注	(10.4)	[8.2]	—	K	20	良好	灰白	SB314	瀬戸美濃系 外面灰釉 摺繪 被熱	
188	陶器	片口鉢	(18.4)	11.9	9.8	IK	75	良好	褐灰	SB314	瀬戸美濃系 灰釉 内面目跡5 墨書	42-11 73-5
189	陶器	擂鉢	38.0	15.2	15.7	DEIK	75	良好	浅黄橙	SB314	備前系か 内面擂目	
190	陶器	擂鉢	34.7	13.5	16.0	DHIK	75	良好	赤橙	SB314	堺明石系 砂目底 内面擂目	
191	陶器	擂鉢	(29.6)	[9.9]	—	I	20	良好	灰白	SB314	益子系 柿釉 内面擂目	
192	陶器	水鉢	(22.8)	[14.1]	(16.8)	DHIK	35	良好	灰白	SB314	瀬戸美濃系 灰釉 外面緑釉掛分・施文	
193	陶器	瓶掛	(22.4)	[17.4]	(17.8)	IK	30	良好	灰白	SB314	瀬戸美濃系 灰釉 内面拭き取り 目跡1 把手1 遺存 墨書	42-12
194	陶器	甕	—	[8.6]	17.0	HIK	20	良好	灰白	SB314	瀬戸美濃系 柿釉 内底面・高台端部目跡各6 墨書	42-13 73-6
195	陶器	花生	(8.0)	[6.0]	—	IK	25	良好	灰白	SB314	瀬戸美濃系 灰釉	
196	陶器	甕	(22.2)	18.9	15.4	IK	90	良好	灰白	SB314	瀬戸美濃系 柿釉 外面鉄釉流掛 内面目跡5 墨書	42-14 73-7
197	陶器	土瓶	(9.0)	15.9	8.3	IK	55	良好	灰白	SB314	京都信楽系 施釉 外面鉄絵・吳須絵	42-15
198	土師質土器	火消壺	27.6	26.7	(26.5)	AK	40	普通	浅黄橙	SB314	底部シワ状痕 内面に火箸状痕 胎土粉質	43-4
199	土師質土器	焙烙	33.4	7.0	34.1	CF	90	普通	浅黄橙	SB314	底部シワ状痕 底内面刻印 外面煤付着	43-4
200	土師質土器	焙烙	35.7	7.0	36.7	CFHIK	80	普通	灰白	SB314	底部シワ状痕 外面下位ケズリ 煤付着	43-4
201	かわらけ	小皿	(7.8)	1.5	(3.7)	CIK	35	普通	橙	SB314	底部糸切痕 胎土や砂質	
202	磁器	碗	(9.3)	5.2	3.5	IK	65	良好	灰白	SB601	肥前系 施釉 外面染付	
203	磁器	碗	(9.5)	5.2	3.6	K	40	良好	白	SB601	肥前系 施釉・染付	
204	磁器	碗	(8.3)	3.9	(3.2)	K	30	良好	白	SB601	肥前系 施釉・染付	
205	磁器	碗	13.9	7.0	(5.0)	K	40	良好	白	SB601	肥前系 施釉 外面染付	
206	磁器	碗	(7.8)	[3.6]	—	HIK	25	良好	白	SB601	瀬戸美濃系 施釉・染付	
207	磁器	壺	7.1	3.5	2.2	HIK	85	良好	灰白	SB601	肥前系 施釉	
208	陶器	灯明皿	8.8	2.1	4.0	IK	100	良好	にぶい黄橙	SB601	瀬戸美濃系 柿釉	
209	陶器	碗	(9.8)	[4.1]	—	IK	20	良好	灰白	SB601	京都信楽系 施釉 外面鉄絵	
210	陶器	鉢	—	[9.6]	(14.0)	HIK	20	良好	にぶい赤橙	SB601	肥前系 刷毛目釉 高台に脚状の突起	43-5

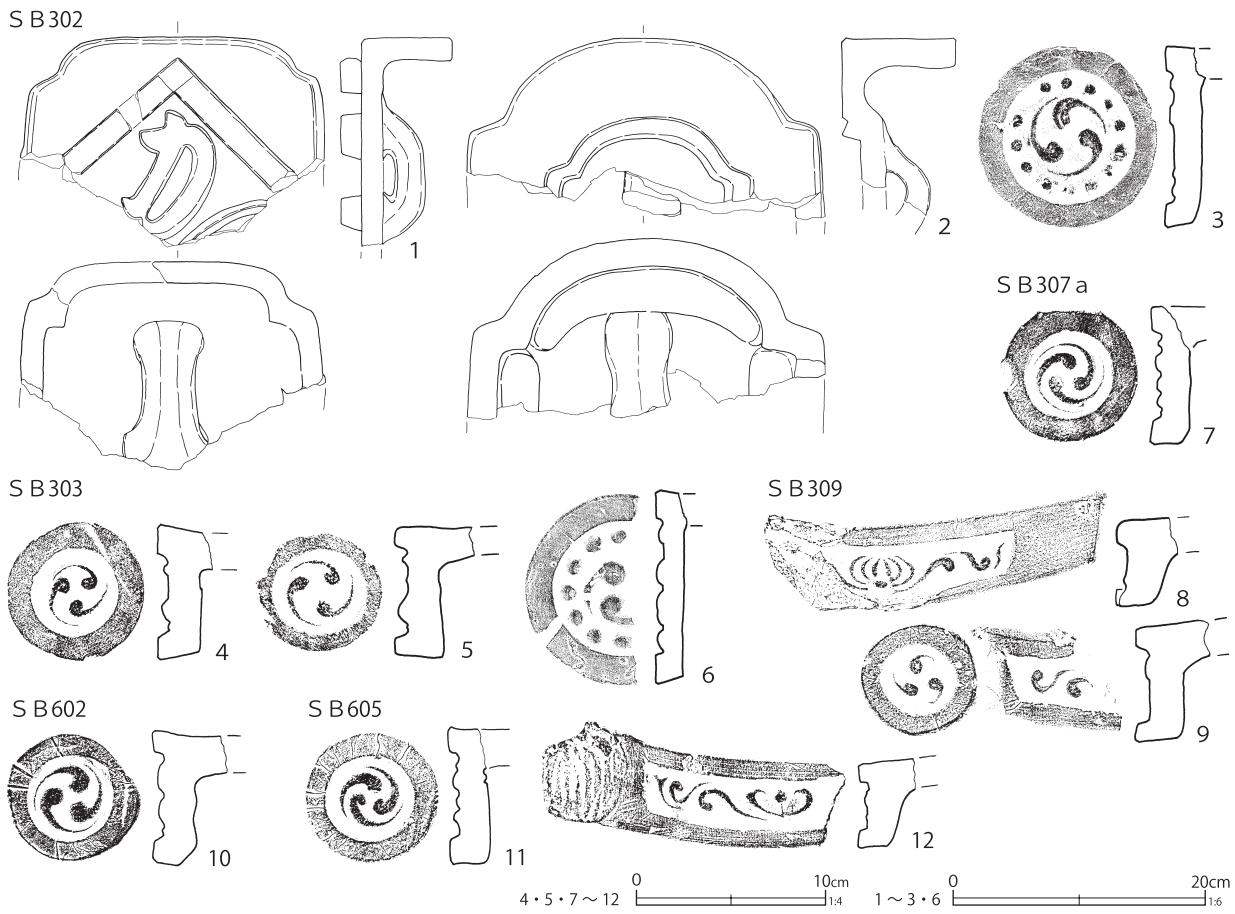
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
211	陶器	段重	(10.3)	3.9	(9.6)	HJK	20	良好	灰白	SB601	京都信楽系 外面灰釉・鉄絵	43-6
212	陶器	鍋	(23.0)	[8.4]	—	EIK	15	良好	にぶい黄澄	SB601	松岡系 灰釉	43-7
213	陶器	秉燭	(5.1)	4.2	4.0	HJK	55	良好	灰白	SB601	瀬戸美濃系 鉄釉 底部糸切痕	
214	陶器	蓋	—	3.2	(6.3)	IK	30	良好	灰白	SB601	外面青緑釉 最大径(8.8)	
215	陶器	蓋	—	[1.0]	4.6	—	90	良好	灰	SB601	萬古系 側面2孔	
216	陶器	碗	9.1	5.3	3.2	K	95	良好	灰白	SB601	京都信楽系 灰釉 外面色絵	43-8
217	陶器	碗	(9.5)	6.0	3.3	IK	70	良好	灰白	SB601	京都信楽系 灰釉 外面鉄絵	44-1
218	陶器	碗	(9.5)	5.3	3.9	IK	65	良好	灰白	SB601	瀬戸美濃系 灰釉 外面鉄絵	44-2
219	陶器	碗	(10.0)	5.2	4.2	IK	30	良好	灰白	SB601	瀬戸美濃系 灰釉 外面鉄絵	44-3
220	陶器	碗	(9.5)	5.0	(3.8)	IK	45	良好	灰白	SB601	瀬戸美濃系 灰釉 外面鉄絵	44-4
221	陶器	碗	(10.0)	6.0	4.0	IK	70	良好	灰白	SB601	瀬戸美濃系 灰釉 外面吳須絵	44-5
222	陶器	碗	(9.6)	5.2	4.0	IK	70	良好	灰白	SB601	瀬戸美濃系 灰釉	44-6
223	陶器	碗	(10.4)	5.9	4.3	IK	45	良好	灰白	SB601	瀬戸美濃系 灰釉	44-7
224	陶器	香炉	9.4	4.8	5.3	HJK	85	良好	灰白	SB601	瀬戸美濃系 外面灰釉 高台内墨書	45-1 73-8
225	陶器	碗	9.9	5.8	4.6	HJK	80	良好	灰白	SB601	瀬戸美濃系 灰釉 外面下位鉄釉 高台置付部に付着物	44-8
226	陶器	碗	9.8	5.7	4.6	IK	80	良好	灰白	SB601	瀬戸美濃系 灰釉 外面下位鉄釉 高台置付部に付着物	44-9
227	陶器	碗	9.6	6.0	4.7	K	90	良好	灰白	SB601	瀬戸美濃系 灰釉 外面下位鉄釉	44-10
228	陶器	碗	(9.2)	6.2	4.8	IK	55	良好	灰釉	SB601	瀬戸美濃系 灰釉 外面下位鉄釉 高台置付部に付着物	44-11
229	陶器	皿	12.1	2.7	7.1	K	90	良好	灰白	SB601	瀬戸美濃系 施釉 内面摺絵 ピン痕3あり	44-12
230	陶器	皿	11.5	2.8	6.8	K	100	良好	灰白	SB601	瀬戸美濃系 灰釉 内面摺絵	44-13
231	陶器	皿	12.5	2.8	7.6	HJK	95	良好	灰白	SB601	瀬戸美濃系 灰釉 内面摺絵 ピン痕3	44-14
232	陶器	皿	12.5	2.8	7.3	HJK	85	良好	灰白	SB601	瀬戸美濃系 灰釉 内面摺絵 ピン痕3	44-15
233	陶器	鉢	21.6	6.8	7.4	IK	95	良好	灰白	SB601	瀬戸美濃系 灰釉 内面蛇の目状釉剥ぎ	45-2
234	陶器	鉢	20.8	6.7	7.2	HJK	95	良好	灰白	SB601	瀬戸美濃系 灰釉 内面蛇の目状釉剥ぎ	45-3
235	陶器	鉢	(16.6)	4.0	6.0	IK	45	良好	灰白	SB601	瀬戸美濃系 灰釉 内面蛇の目状釉剥ぎ	45-4
236	瓦質土器	火鉢	(31.0)	13.5	(27.0)	CHIK	35	普通	にぶい黄澄	SB601	内面煤付着 脚部焼成前穿孔	45-5
237	磁器	碗	8.4	4.8	3.3	K	70	良好	白	SB602	肥前系 施釉・染付	
238	磁器	碗	7.0	5.2	3.4	K	70	良好	白	SB602	肥前系 施釉・染付	
239	磁器	蓋	(4.6)	2.6	(8.8)	HJK	30	良好	灰白	SB602	東側下部基礎 肥前系 施釉・染付 被熱	
240	磁器	碗	(11.0)	[5.2]	—	HJK	10	良好	白	SB602	肥前系 施釉・染付	
241	磁器	皿	13.1	3.0	6.5	K	100	良好	灰白	SB602	肥前系 施釉 内面染付 蛇の目状釉剥ぎ	
242	磁器	徳利	—	[8.8]	4.4	K	95	良好	白	SB602	肥前系 外面施釉・染付	
243	磁器	水滴	横7.0 縦4.8 高3.2			HJK	50	良好	白	SB602	肥前系 外面施釉・染付	45-6
244	磁器	香炉	(6.0)	[4.8]	—	HK	15	良好	白	SB602	肥前系 外面青磁釉・染付	
245	陶器	香炉	11.2	8.0	6.3	K	55	良好	灰白	SB602	東側下部基礎 肥前系 外面青磁釉	
246	陶器	徳利	—	[7.6]	—	HI	75	良好	灰白	SB602	瀬戸美濃系 鉄釉	
247	陶器	徳利	—	[1.6]	(5.7)	IK	20	良好	にぶい赤褐	SB602	備前系 破損部煤付着	45-7
248	陶器	碗	9.6	6.3	5.3	IK	70	良好	灰白	SB602	瀬戸美濃系 灰・鉄釉掛分 被熱	
249	陶器	灯明皿	9.7	2.1	4.3	HJK	90	良好	灰白	SB602	東側下部基礎 瀬戸美濃系 柿釉 被熱	
250	陶器	涼炉	—	[7.0]	(9.0)	EIKL	30	良好	白灰	SB602	瀬戸美濃系 外面施釉	45-8
251	陶器	徳利	—	[16.5]	13.5	HJK	70	良好	灰白	SB602	東側下部基礎 瀬戸美濃系 鉄釉 被熱 内底面に鉄釘遺存	45-10.11
252	陶器	徳利	(1.8)	[7.2]	—	HJK	25	良好	灰・赤褐	SB602	東側下部基礎 備前系 体部に凹み 被熱	45-9
253	陶器	徳利	—	[7.5]	(5.8)	HJK	15	良好	灰・赤褐	SB602	東側下部基礎 備前系 体部に凹み 被熱	45-9
254	磁器	碗	(11.8)	6.5	(6.4)	—	40	普通	灰白	SB605	肥前系 施釉 外面染付 被熱	
255	磁器	皿	(26.0)	6.7	16.4	—	40	良好	白	SB605	SK673接合 肥前系 施釉 内面染付 焼継痕	45-12
256	磁器	皿	(13.8)	3.8	(8.5)	—	20	普通	灰白	SB605	肥前系 施釉 外面染付 被熱 同文別個体3以上あり	
257	磁器	皿	—	[2.0]	(8.9)	—	15	普通	灰白	SB605	肥前系 施釉・染付 被熱 焼継印	
258	土師質土器	焙烙	32.4	5.5	33.0	CFH	70	普通	灰白	SB605	底部シワ状痕 体部外面・内底面煤付着	



第52図 建物跡出土遺物 (14)

第5表 建物跡出土遺物観察表 (2) (第52図)

番号	種別	器種	幅	長さ	厚さ	重さ	胎土	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	壺	[2.4]	1.1	—	1.7	—	良好	白	SB303	紅壺 施釉 外面施文	
2	磁器	壺	2.4	1.3	—	4.1	—	良好	白	SB305	紅壺 施釉 外面施文	
3	施釉土器	ミニチュア	(3.6)	(1.4)	—	2.5	—	普通	灰白	SB305	鉢 施釉 内面緑釉 京都系	95-1
4	土製品	人形	1.9	2.4	1.0	4.2	—	良好	灰褐	SB602	大黒 前後合型成形 京都系	95-2



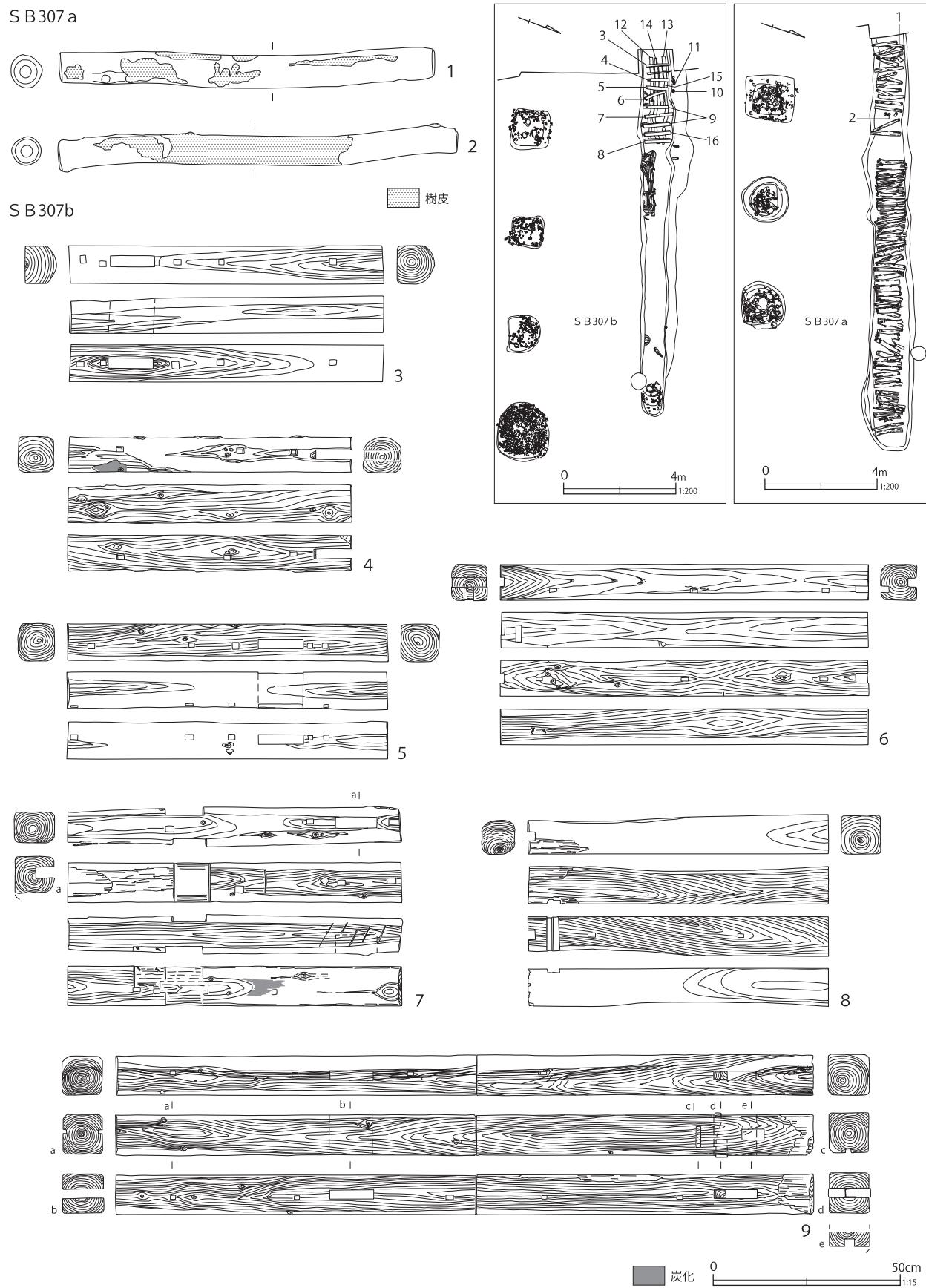
第53図 建物跡出土遺物 (15)

遺物（第62図1～12）は全て、上層の瓦集中範囲から出土したものである。9・10に示したように、緑釉を施す瀬戸美濃系陶器火鉢、植木鉢

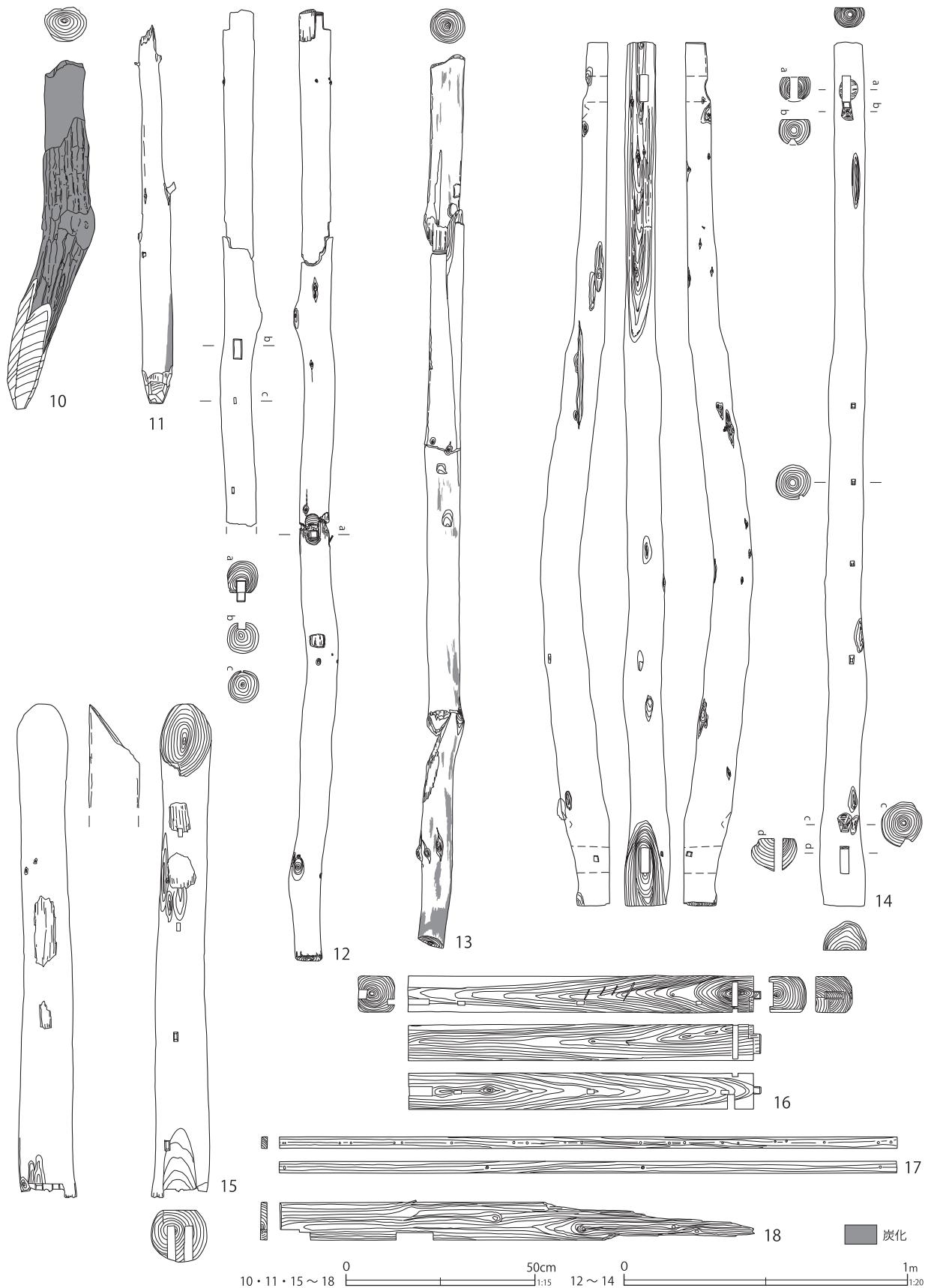
がある。19世紀前葉頃の遺構と考えられる。

第316号基礎状遺構（第24・119図）

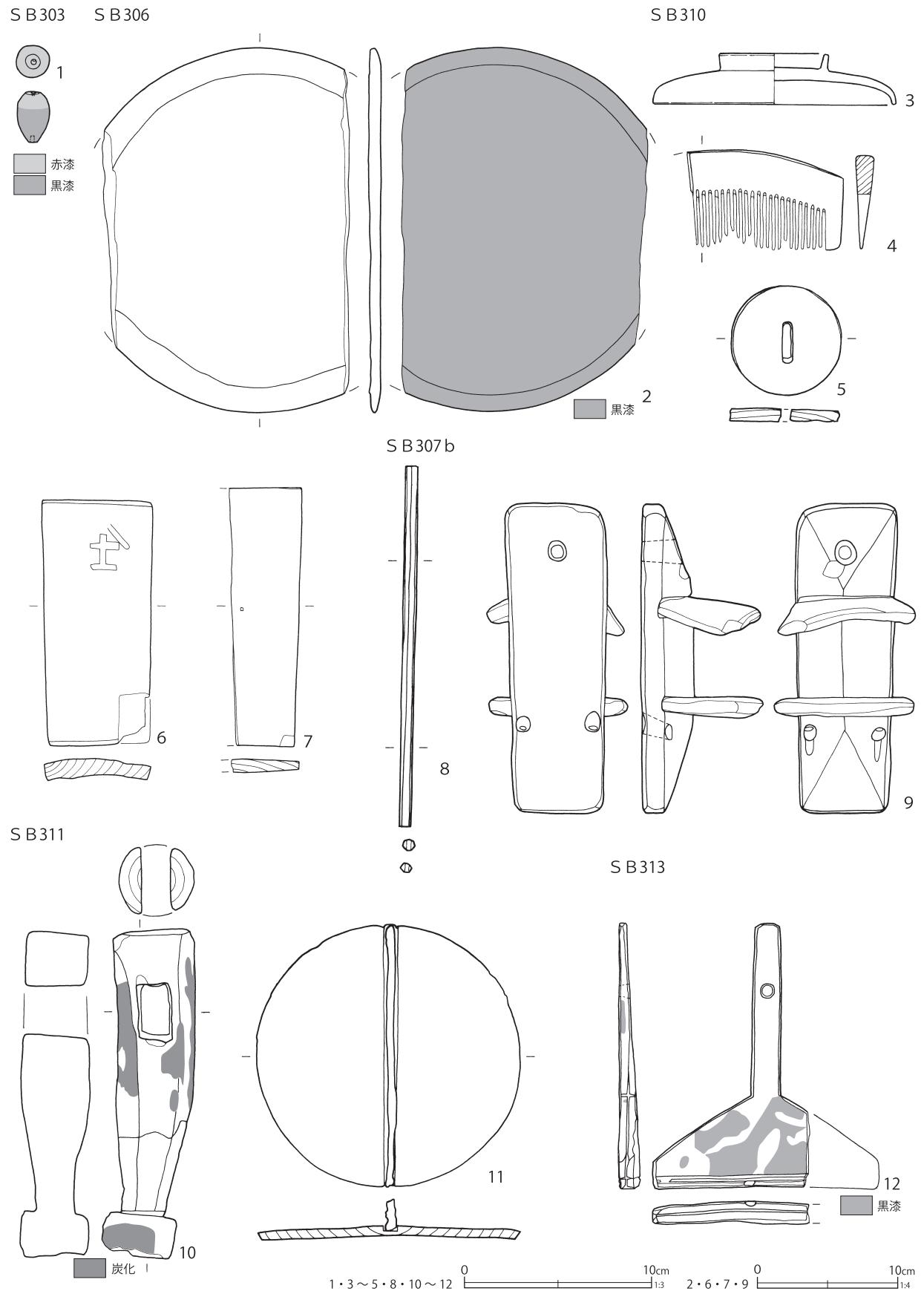
C 6-G 4 グリッドから検出され、第335号土



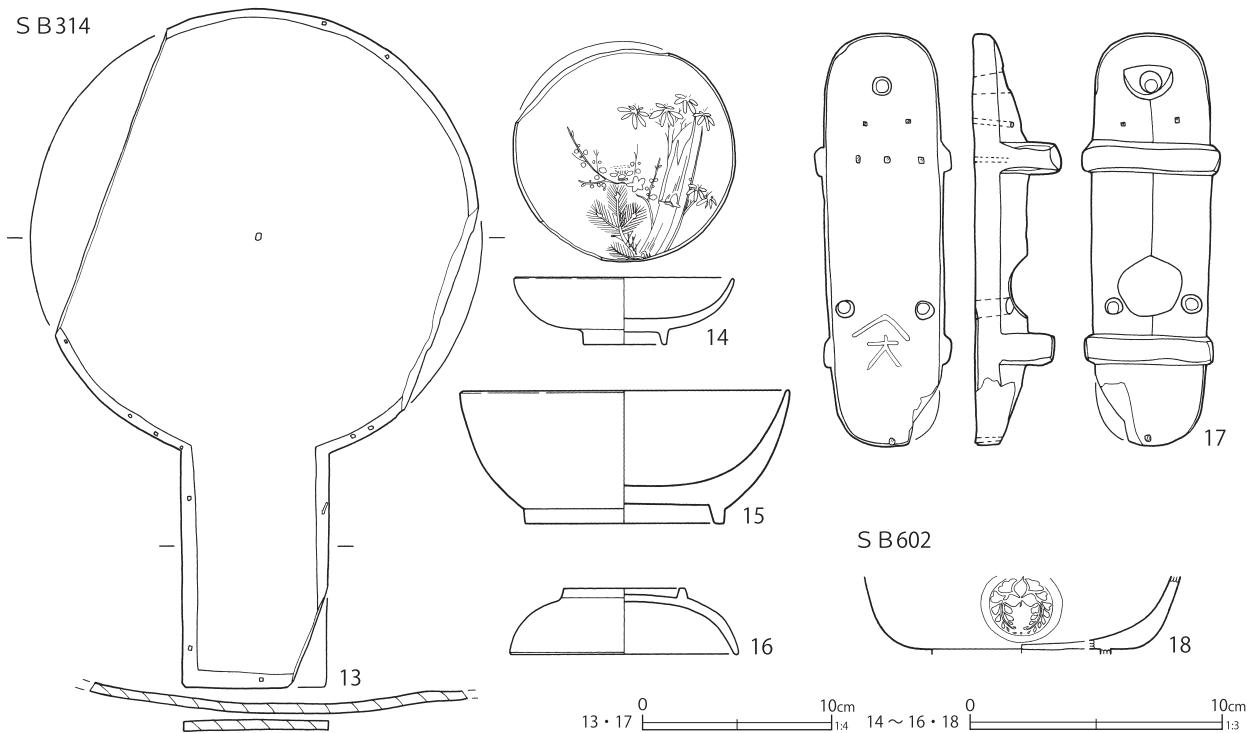
第54図 建物跡出土遺物 (16)



第55図 建物跡出土遺物 (17)



第 56 図 建物跡出土遺物 (18)



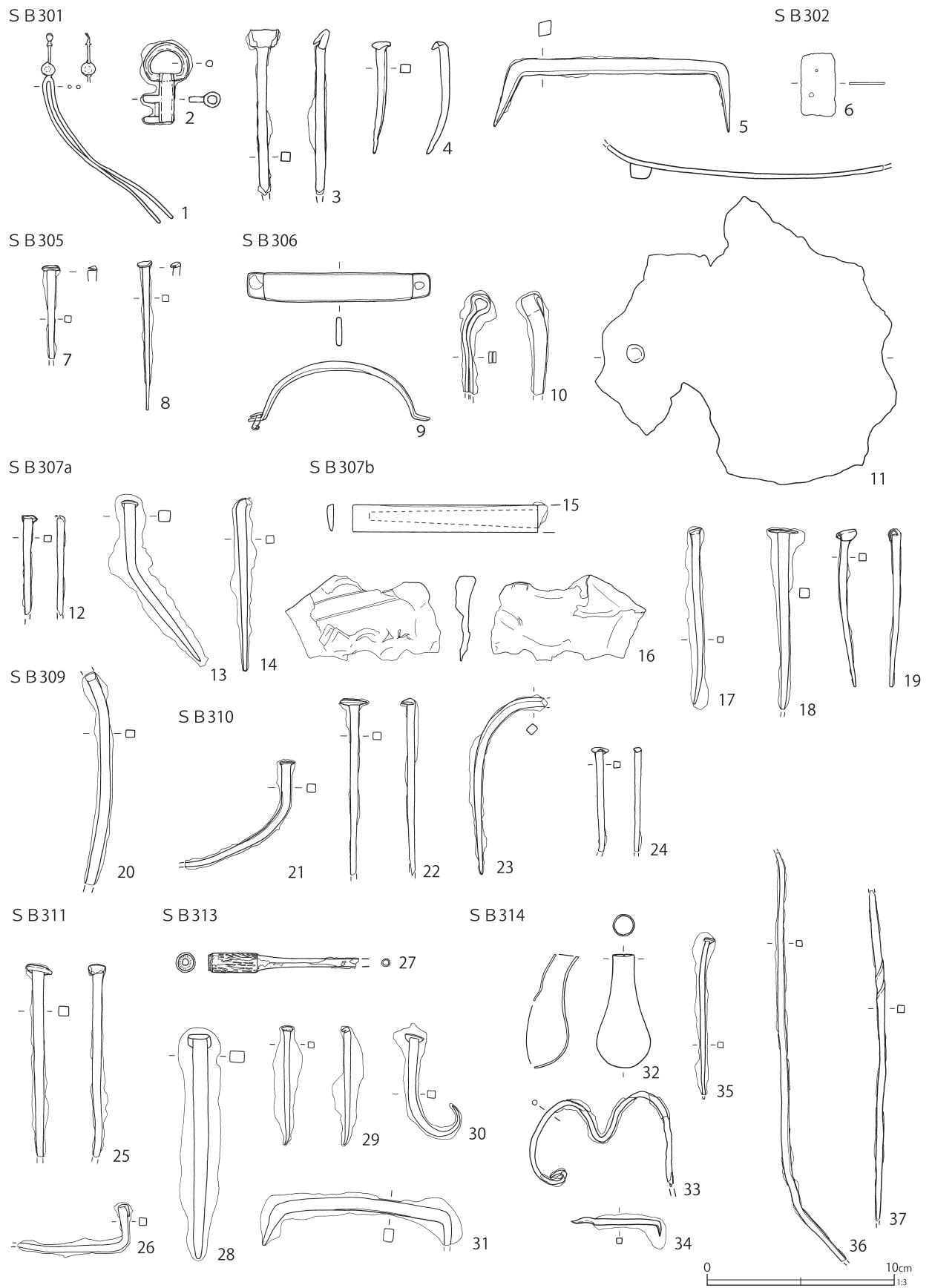
第 57 図 建物跡出土遺物 (19)

第 6 表 建物跡出土遺物観察表 (3) (第 53 図)

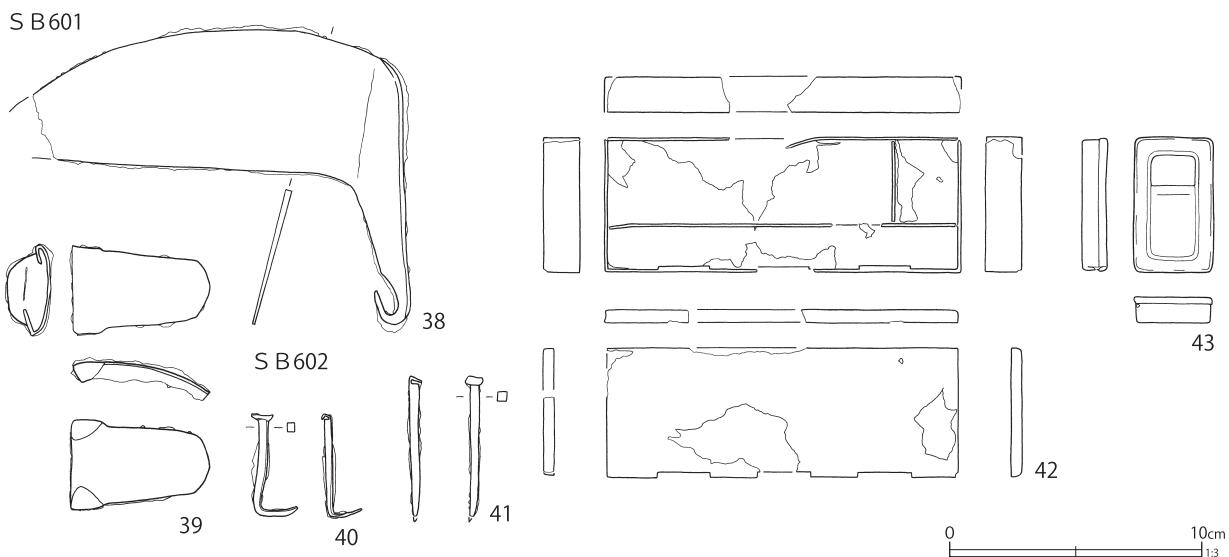
番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	高さ	径	胎土	色調	遺構	備考	図版
1	瓦	鬼瓦	8.8	24.1	1.8	[16.6]	—	EIC	—	SB302	屋号 (ヤマに「カ」)	98-1
2	瓦	鬼瓦	9.0	28.7	2.3	[14.4]	—	HE	—	SB302		
3	瓦	軒丸瓦	—	—	2.7	—	14.3	AK	灰	SB302	左巻 13 珠	
4	瓦	軒桟瓦	—	—	2.2	—	7.1	AI	灰黄	SB303	右巻 表面光沢あり	
5	瓦	軒桟瓦	[4.1]	—	1.6	—	6.6	CHE	灰	SB303	右巻	
6	瓦	軒丸瓦	—	—	2.1	—	15.1	HIE	灰	SB303	右巻 表面光沢あり	
7	瓦	軒桟瓦	—	—	2.0	—	7.2	EI	暗灰	SB307a	右巻	
8	瓦	軒桟瓦	[3.2]	[17.6]	—	[4.6]	—	EIKC	灰	SB309	表面光沢あり	
9	瓦	軒桟瓦	[3.8]	[13.6]	2.0	[6.4]	5.9	EIG	灰	SB309	左巻 表面光沢あり	
10	瓦	軒桟瓦	[3.9]	—	2.0	—	7.1	C	黄灰	SB602	右巻	
11	瓦	軒桟瓦	—	—	2.1	—	7.2	AEH	黄灰	SB605	右巻 表面光沢あり	
12	瓦	軒桟瓦	[3.3]	[16.0]	1.6	[4.7]	—	HICA	黄灰	SB605		

第 7 表 建物跡出土遺物観察表 (4) (第 54・55 図)

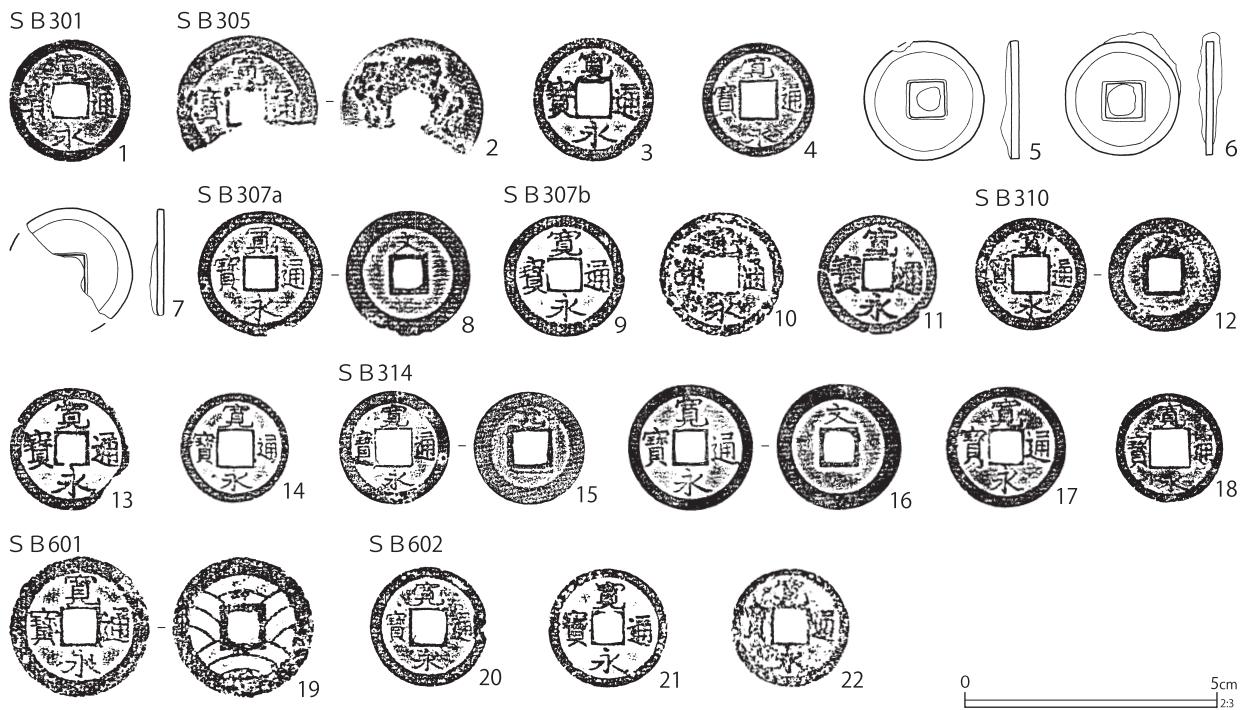
番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	径	高さ	底径	遺構	備考	図版
1	木製品	基礎材	99.8	8.8	8.5	—	—	—	SB307a	丸太 樹皮遺存 両端切断 クリ	
2	木製品	基礎材	106.2	7.7	8.2	—	—	—	SB307a	丸太 樹皮遺存 両端切断 クリ	
3	木製品	基礎材	84.0	10.0	10.0	—	—	—	SB307b	柱転用	
4	木製品	基礎材	75.1	9.5	9.5	—	—	—	SB307b	柱転用	
5	木製品	基礎材	85.5	10.0	10.0	—	—	—	SB307b	柱転用	
6	木製品	基礎材	98.0	9.5	9.5	—	—	—	SB307b	柱転用 釘残存 ノコギリ痕	
7	木製品	基礎材	88.7	10.5	10.5	—	—	—	SB307b	柱転用 釘残存 ノコギリ痕 刃物痕	
8	木製品	基礎材	80.0	10.0	10.0	—	—	—	SB307b	柱転用	
9	木製品	基礎材	186.0	10.5	10.5	—	—	—	SB307b	柱転用	
10	木製品	杭	94.5	—	—	13.0	—	—	SB307b	炭化 樹皮残存 チョウナ痕	
11	木製品	杭	[100.0]	—	—	8.0	—	—	SB307b	一部炭化 樹皮残存 平釘残存	
12	木製品	基礎材	337.5	—	—	11.0	—	—	SB307b	角釘残存 マツ属複維管束亜属	
13	木製品	基礎材	321.0	—	—	12.0	—	—	SB307b		
14	木製品	基礎材	304.7	—	—	15.5	—	—	SB307b	梁転用 釘残存 鮑痕 鑿痕	



第 58 図 建物跡出土遺物 (20)



第59図 建物跡出土遺物 (21)



第60図 建物跡出土遺物 (22)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	径	高さ	底径	遺構	備考	図版
15	木製品	基礎材	130.1	—	—	12.5	—	—	SB307b	柱転用	
16	木製品	基礎材	93.0	9.5	9.5	—	—	—	SB307b	刃物痕	
17	木製品	襖	163.0	3.0	1.5	—	—	—	SB307b	枠 釘残存 釘穴	
18	木製品	板材	[125.0]	10.0	1.7	—	—	—	SB307b		

第8表 建物跡出土遺物観察表 (5) (第56・57図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径 / 径	高さ	底径	遺構	備考	図版
1	木製品	浮子	2.7	—	—	1.7	—	—	SB303	赤漆 黒漆 上下に孔	101-1
2	木製品	曲物	—	—	0.9	26.0	—	—	SB306	蓋 外面黒漆	
3	木製品	漆椀蓋	—	つまみ径 (5.6)		12.7	2.7	—	SB310	内外面赤漆	101-2
4	木製品	櫛	[8.1]	5.1	1.0	—	—	—	SB310		
5	木製品	鍔	—	—	0.7	5.8	—	—	SB310		

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径 / 径	高さ	底径	遺構	備考	図版
6	木製品	桶	17.5	7.8	1.5	—	—	—	SB310	側板 焼印 (ヤマに「キ」) 第91表参照	117-1
7	木製品	桶	18.4	[5.1]	1.0	—	—	—	SB310	側板 墨書「くりはし 山本 / いせや長二郎殿」(第91表参照)	117-2
8	木製品	箸	19.2	0.7	0.6	—	—	—	SB307b		
9	木製品	下駄	22.0	7.1	—	—	8.5	—	SB307b	陰卯下駄 表面にノコギリ痕	
10	木製品	クルリボウ	17.6	4.3	3.8	—	—	—	SB311	枢 炭化 方形孔 2.4 × 1.7cm	
11	木製品	蓋	—	—	—	14.0	2.2	—	SB311		
12	木製品	刷毛	14.2	(12.0)	1.2	—	—	—	SB313	黒漆	101-3
13	木製品	鏡箱	35.9	身幅 (23.9) 厚 0.5 柄幅 7.8 厚 0.5				—	SB314	下地残存 木釘残存	
14	木製品	漆椀	—	—	—	8.6	2.6	3.3	SB314	内外面赤漆 内面に金で文様	101-4
15	木製品	漆椀	—	—	—	12.8	5.2	7.8	SB314	内面赤漆 外面黒漆 繊維付着	
16	木製品	漆椀蓋	—	つまみ径 (4.8)		9.0	2.6	—	SB314	内面赤漆 外面黒漆	
17	木製品	下駄	21.7	6.3	—	—	4.6	—	SB314	削り下駄 焼印	
18	木製品	漆椀	—	—	—	—	[3.0]	—	SB602	内面赤漆 外面黒漆 家紋	

第9表 建物跡出土遺物観察表 (6) (第58・59図)

番号	種別	器種	法量					遺構	備考	図版
1	銅製品	簪	長 10.1 幅 1.2 厚 0.2 重 5.4					SB301		108-2
2	鉄製品	鍵	長 4.2 重 11.0					SB301		108-1
3	鉄製品	釘	長 [8.6] 幅 0.5 厚 0.5					SB301		
4	鉄製品	釘	長 6.0 幅 0.5 厚 0.5 重 4.2					SB301		
5	鉄製品	鎌	長 12.6 幅 0.9 厚 0.6 重 43.6					SB301		
6	銅製品	不明	縦 3.3 横 1.9 厚 0.1 重 1.6					SB302		
7	鉄製品	釘	長 [4.9] 幅 0.4 厚 0.4 重 4.0					SB305		
8	鉄製品	釘	長 7.9 幅 0.3 厚 0.3 重 3.9					SB305		
9	銅製品	把手	縦 1.6 横 10.1 厚 0.3 高 3.8 重 49.8					SB306		108-2
10	鉄製品	環釘	長 [5.3] 幅 0.2 厚 0.6 重 11.4					SB306		
11	鉄製品	鍋	縦 [15.4] 横 [16.0] 厚 0.3 重 272.8					SB306	脚 1 残存	
12	鉄製品	釘	長 [5.2] 幅 0.4 厚 0.4 重 4.2					SB307a		
13	鉄製品	釘	長 8.6 幅 0.6 厚 0.6 重 30.3					SB307a		
14	鉄製品	釘	長 [9.2] 幅 0.4 厚 0.4 重 11.9					SB307a		
15	銅製品	小柄	長 [10.3] 幅 1.4 厚最大 0.4 重 25.7					SB307b	内部に鉄製の柄残存	108-2
16	銅製品	容器か	縦 4.6 横 8.3 厚最大 0.9 重 30.4					SB307b	被熱 低い横帯状突帯	108-2
17	鉄製品	釘	長 9.3 幅 0.3 厚 0.3 重 12.3					SB307b		
18	鉄製品	釘	長 9.6 幅 0.5 厚 0.5 重 15.9					SB307b		
19	鉄製品	釘	長 8.4 幅 0.4 厚 0.4 重 5.2					SB307b		
20	鉄製品	棒状品	長 [11.3] 幅 0.5 厚 0.4 重 13.2					SB309		
21	鉄製品	釘	長 [5.7] 幅 0.5 厚 0.5 重 11.2					SB310		
22	鉄製品	釘	長 [9.4] 幅 0.4 厚 0.4 重 10.2					SB310		
23	鉄製品	釘	長 [9.4] 幅 0.5 厚 0.4 重 12.3					SB310		
24	鉄製品	釘	長 [5.5] 幅 0.3 厚 0.3 重 3.7					SB310		
25	鉄製品	釘	長 [10.2] 幅 0.6 厚 0.5 重 16.2					SB311		
26	鉄製品	釘	長 [5.9] 幅 0.4 厚 0.4 重 9.4					SB311		
27	銅製品	煙管	長 [7.8] 小口径 1.0 口付径 0.4 重 7.7					SB313	吸口 内部に羅字残存	109-2
28	鉄製品	釘	長 11.9 幅 0.7 厚 0.6 重 54.4					SB313		
29	鉄製品	釘	長 6.3 幅 0.3 厚 0.3 重 7.7					SB313		
30	鉄製品	釘	長 5.4 幅 0.4 厚 0.4 重 11.4					SB313		
31	鉄製品	鎌	長 10.1 幅 0.7 厚 0.5 重 23.3					SB313		
32	銅製品	跳子	縦 6.2 横 2.9 厚 0.1 重 12.4					SB314	注口部 本体と別作り	110-7
33	鉄製品	不明	縦 [5.1] 横 [7.6] 厚 0.3 重 8.2					SB314		
34	鉄製品	鎌	長 4.7 幅 0.3 厚 0.3 重 4.3					SB314		
35	鉄製品	釘	長 [8.3] 幅 0.3 厚 0.3 重 6.9					SB314		
36	鉄製品	不明	長 [21.7] 幅 0.3 厚 0.3 重 11.7					SB314		
37	鉄製品	不明	長 [17.4] 幅 0.4 厚 0.4 重 9.8					SB314	火箸か	
38	鉄製品	鎌	長 [14.9] 刃幅 5.5 背幅 0.3 重 89.0					SB601		108-1
39	鉄製品	帶金具	長 5.5 幅 3.6 厚 0.1 重 21.5					SB601		
40	鉄製品	釘	長 [4.0] 幅 0.3 厚 0.4 重 2.8					SB602		

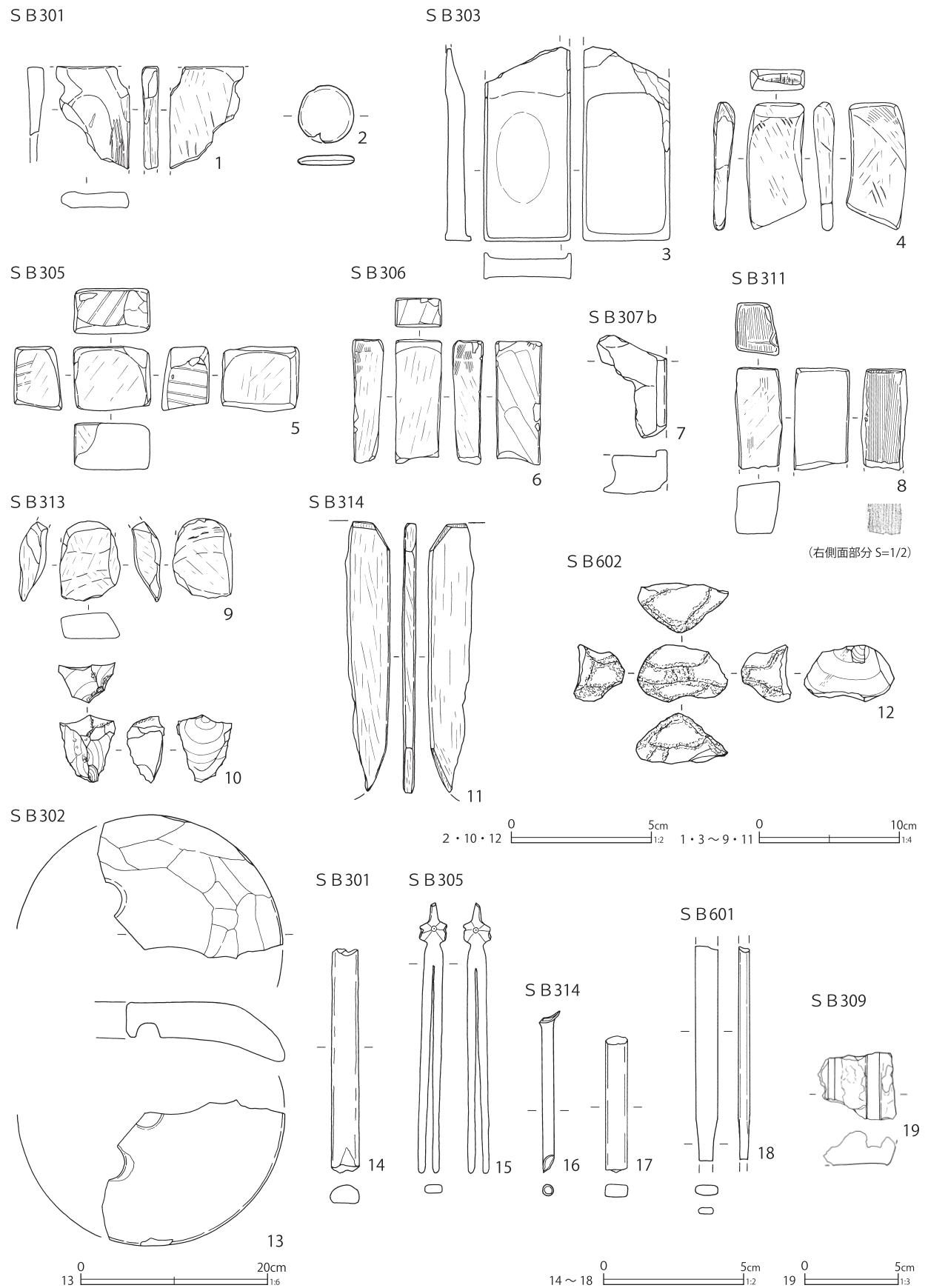
番号	種別	器種	法量	遺構	備考	図版
41	鉄製品	釘	長 [5.5] 幅 0.4 厚 0.4 重 4.1	SB602		
42	銅製品	筆箱	身 長 14.0 幅 5.3 厚 1.4 重 38.9 蓋 長 13.8 幅 5.1 厚最大 0.5 重 23.5	SB602	東側下部基礎	110-4
43	銅製品	墨壺	長 5.3 幅 3.1 厚 1.0 重 9.3	SB602	東側下部基礎 42 の付属品	110-4

第10表 建物跡出土遺物観察表（7）（第60図）

番号	種別	器種	法量	遺構	備考	図版
1	銅製品	錢貨	径 24.3 厚 0.9 重 2.5	SB301	寛永通宝（新）	
2	銅製品	錢貨	径 28.5 厚 1.4 重 3.5	SB305	寛永通宝 四文錢	
3	銅製品	錢貨	径 24.3 厚 1.1 重 2.9	SB305	寛永通宝（古）	
4	銅製品	錢貨	径 22.8 厚 1.1 重 2.8	SB305	寛永通宝（新）	
5	鉄製品	錢貨	径 24.0 厚 1.6 重 3.0	SB305	寛永通宝	
6	鉄製品	錢貨	径 22.5 厚 1.6 重 2.9	SB305	寛永通宝	
7	鉄製品か	錢貨	径 (25.2) 厚 1.6 重 1.4	SB305	寛永通宝	
8	銅製品	錢貨	径 25.2 厚 1.0 重 3.2	SB307a	寛永通宝（新）背文	
9	銅製品	錢貨	径 24.1 厚 1.2 重 3.1	SB307b	寛永通宝（古）	
10	銅製品	錢貨	径 24.3 厚 1.1 重 2.6	SB307b	寛永通宝（新）	
11	銅製品	錢貨	径 24.0 厚 1.4 重 2.7	SB307b	寛永通宝（古）	
12	銅製品	錢貨	径 22.4 厚 1.0 重 2.2	SB310	寛永通宝（新）	
13	銅製品	錢貨	径 24.3 厚 1.1 重 1.8	SB310	寛永通宝（古）	
14	銅製品	錢貨	径 21.9 厚 0.7 重 1.4	SB310	寛永通宝（新）	
15	銅製品	錢貨	径 22.2 厚 0.9 重 1.7	SB314	寛永通宝（新）背元	
16	銅製品	錢貨	径 25.1 厚 1.0 重 3.3	SB314	寛永通宝 背文	
17	銅製品	錢貨	径 24.2 厚 1.1 重 2.8	SB314	寛永通宝（新）	
18	銅製品	錢貨	径 21.5 厚 1.3 重 2.8	SB314	寛永通宝（新）	
19	銅製品	錢貨	径 28.1 厚 1.1 重 4.2	SB601	寛永通宝 四文錢（裏波）	
20	銅製品	錢貨	径 23.6 厚 1.0 重 2.3	SB602	寛永通宝（新）	
21	銅製品	錢貨	径 23.6 厚 1.1 重 2.7	SB602	寛永通宝（古）	
22	銅製品	錢貨	径 23.7 厚 1.5 重 2.5	SB602	東側下部基礎 寛永通宝（新）	

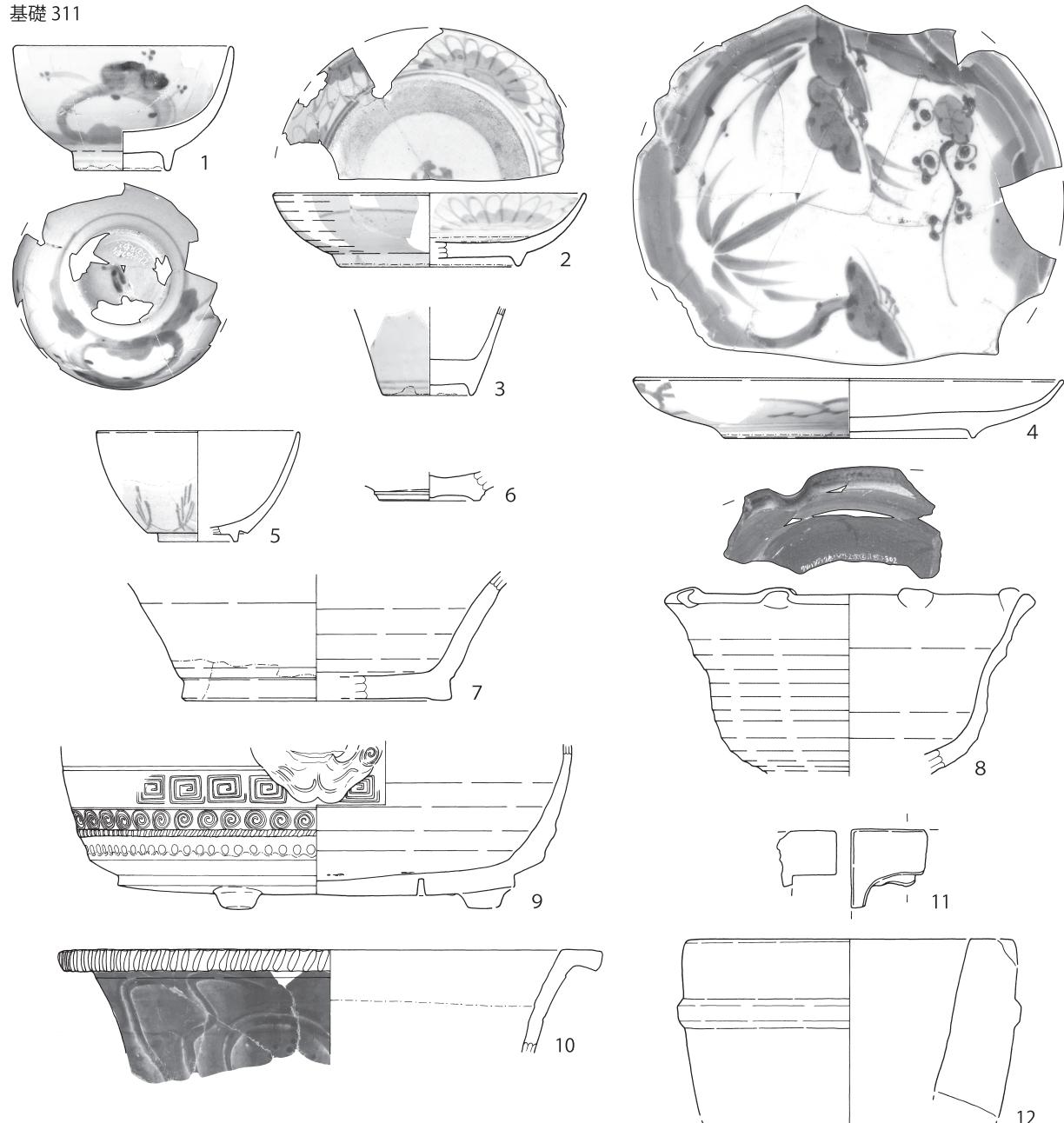
第11表 建物跡出土遺物観察表（8）（第61図）

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	重さ	石材	遺構	備考	図版
1	石製品	硯	[7.3]	[4.9]	[1.1]	45.0	粘板岩	SB301	砥石転用（3面使用）凹みに墨痕 刃物傷	111-3
2	石製品	碁石	2.0	—	[0.15]	1.2	粘板岩	SB301	裏側半分が欠損	111-3
3	石製品	硯	[13.8]	6.1	1.8	279.0	粘板岩	SB303	使用痕は正面のみ	111-3
4	石製品	砥石	9.0	4.9	1.5	87.5	流紋岩	SB303	使用面5 完存 櫛歯状痕 刃物傷	111-3
5	石製品	砥石	4.5	5.4	3.4	141.9	流紋岩	SB305	使用面3 完存 幅広工具痕	111-3
6	石製品	砥石	[8.8]	3.3	2.2	108.4	流紋岩	SB306	使用面3 完存 平ノミ・櫛歯状痕	111-3
7	石製品	硯	[7.3]	[5.0]	[3.2]	87.0	砂岩	SB307b	一部被熱して煤付着 基礎311に同一個体	111-3
8	石製品	砥石	7.2	3.2	3.8	168.7	粘板岩	SB311	使用面1 ノコギリ状痕	111-3
9	石製品	砥石	5.6	4.3	1.9	49.1	流紋岩	SB313	使用面4 刃物傷	111-3
10	石製品	火打石	2.4	2.0	1.2	4.6	玉髓	SB313	再生剥片 稜は一部のみ使われている	111-3
11	石製品	砥石	[19.2]	[3.1]	6.9	91.1	粘板岩	SB314	縦方向に割れる 各面に擦痕	111-3
12	石製品	火打石	2.0	3.2	1.6	11.2	玉髓	SB602	再生剥片 稜はほとんど使い潰される	111-3
13	石製品	石臼	(28.4)	—	6.3	1900.0	砂岩	SB302	上臼 側縁二次叩打 硬質の砂岩	111-4
14	硝子製品	笄	[8.0]	1.0	0.7	10.6	—	SB301	中実 断面はかまぼこ型 濃緑色	114-5
15	骨角製品	簪	9.6	0.7	0.3	2.5	—	SB305	装飾部に細い刻みで文様が入る	114-5
16	硝子製品	笄	[5.7]	0.4	0.4	1.3	—	SB314	管状 中空 透明 断面円形	114-5
17	硝子製品	笄	[4.9]	0.8	0.4	5.3	—	SB314	中実 透明 断面長方形	114-5
18	硝子製品	笄	[7.6]	0.8	0.5	7.5	—	SB601	中央が細くなるタイプ 黄色 端部被熱して黒化	114-5
19	土製品	土壁材	3.6	4.1	1.8	13.9	—	SB309	灰白色 木舞痕跡	

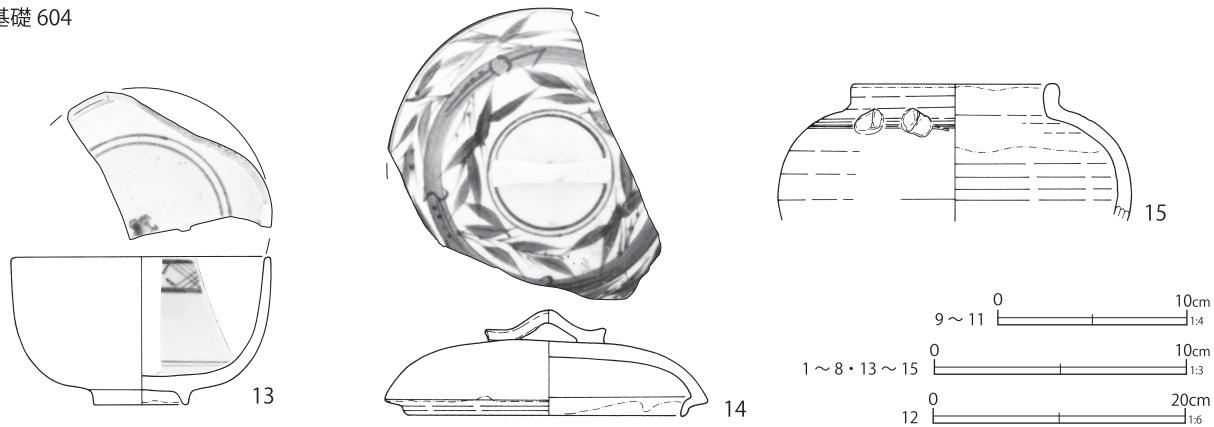


第61図 建物跡出土遺物 (23)

基礎 311



基礎 604

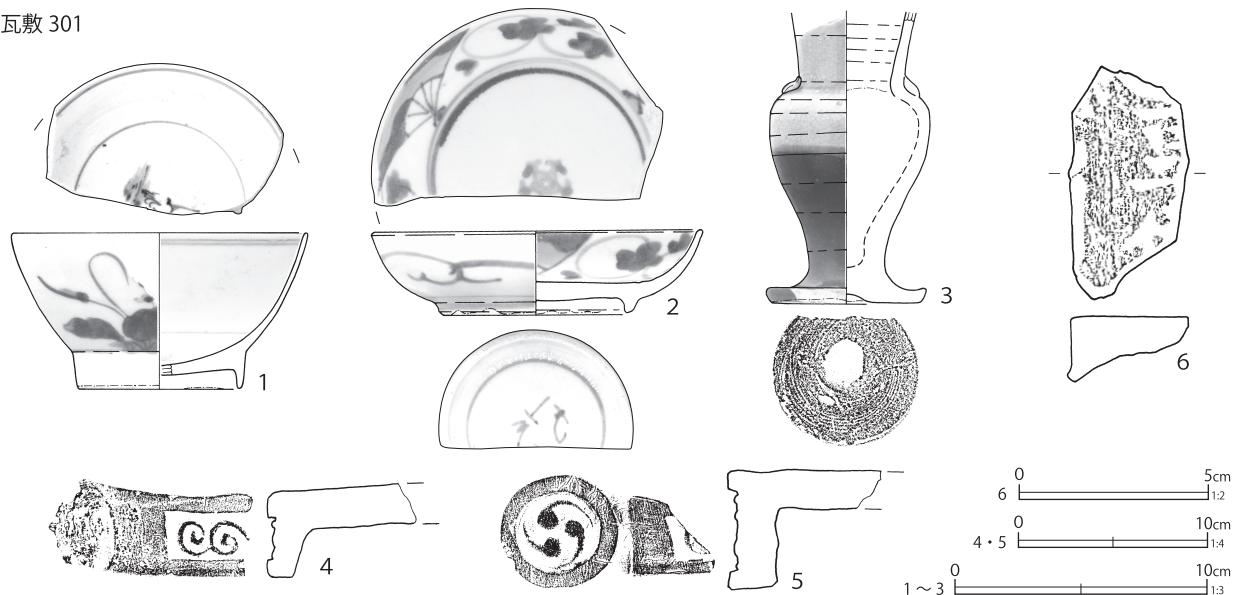


第 62 図 基礎状遺構出土遺物

第 12 表 基礎状遺構出土遺物観察表（第 62 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	碗	(9.8)	5.6	4.4	K	65	良好	灰白	基礎 311	肥前系 施釉 外面染付	
2	磁器	皿	(14.0)	3.3	(8.0)	K	40	良好	白	基礎 311	肥前系 施釉・染付 内面蛇の目状釉剥	
3	磁器	猪口	—	[4.0]	3.9	HIK	70	良好	白	基礎 311	肥前系 施釉 外面染付	
4	磁器	皿	19.3	2.7	11.2	HIK	—	良好	白	基礎 311	肥前系 施釉・染付 高台内ハリ支痕 2	
5	陶器	碗	(9.1)	5.0	(3.6)	IK	15	良好	灰白	基礎 311	京都信楽系 施釉 外面鉄絵	
6	陶器	碗か	—	[1.3]	(4.6)	JK	45	良好	にぶい橙	基礎 311	肥前系か 内面施釉 削り出し高台	45-13
7	陶器	漫瓶	—	[5.8]	(12.2)	HIK	10	良好	灰白	基礎 311	瀬戸美濃系 外面灰釉 被熱	
8	陶器	鉢	(16.2)	[8.5]	—	IK	15	良好	にぶい赤	基礎 311	施釉・口縁部うのふ釉 内面鉄絵	45-14
9	陶器	火鉢	—	[10.0]	24.0	EIK	40	良好	灰白	基礎 311	瀬戸美濃系 灰釉 外面下位鉄化粧 内外底面目跡 底面貫通しない孔 2 遺存	
10	陶器	植木鉢	(33.0)	[6.3]	—	IK	15	良好	灰白	基礎 311	瀬戸美濃系 緑釉 ヘラ描文	
11	石製品	硯	長 [4.8] 幅 [4.7] 厚 [3.6] 重 95						基礎 311	砂岩 SB307b(第 61 図 7) と同一個体 墨痕	111-2	
12	石製品	鉢	内径 (22.0) 外径 (29.8) 器壁 6.0 重 2900						基礎 311	花崗岩 肩部に稜状突帶	111-5	
13	磁器	碗	(10.0)	[5.8]	(3.7)	—	20	普通	灰白	基礎 604	肥前系 施釉・外面青磁釉 内面染付	
14	磁器	蓋	—	4.1	(10.8)	—	60	良好	白	基礎 604	肥前系 施釉 外面染付	
15	陶器	有耳壺	(8.0)	[5.4]	—	D	15	普通	灰白	基礎 604	瀬戸美濃系 灰釉	

瓦敷 301



第63図 瓦敷遺構出土遺物

第13表 瓦敷遺構出土遺物観察表（第63図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	碗	(11.5)	6.1	(6.2)	K	40	良好	白	瓦敷 301	肥前系 施釉・染付	
2	磁器	皿	(12.8)	3.2	(7.2)	HDK	45	良好	灰白	瓦敷 301	肥前系 施釉・染付	
3	陶器	花生	—	[11.4]	5.8	IK	90	良好	灰白	瓦敷 301	瀬戸美濃系 灰・鉄釉掛分	45-15
4	瓦	軒棟瓦	長 [8.0] 幅 [12.4] 厚 2.1 高 [4.9]				オリーブ黒		瓦敷 301	表面光沢あり 胎土石英含		
5	瓦	軒棟瓦	長 [9.1] 幅 [11.3] 厚 2.0 高 [6.2] 径 6.2				灰		瓦敷 301	左巻 胎土石英含		
6	石製品	石塔	長 [6.2] 幅 [3.1] 厚 [1.7] 重 26g				—		瓦敷 301	安山岩 刻銘「享口」	111-2	

壙を掘り込む。小穴状の遺構で10~20cmの礫を配置している。

第604号基礎状遺構（第38図）

D 6-B 9 グリッドから検出され、第602号建物跡の東側基礎直下から検出された。基礎状遺構

したが、検出位置から第602号建物跡の基礎の一部である可能性も否定できない。下層を中心に瓦が多量に充填されていたが、瓦以外の遺物は少ない。第62図13～15は出土した陶磁器で、13は外面青磁釉の肥前系磁器小丸碗である。

(3) 瓦敷遺構

第301号瓦敷遺構 (第24図)

C 6-G 3・4 グリッドに位置し、長さ5.3m、幅1.4mの範囲に瓦が集中する。第307b号建物跡の北側に沿って分布し、両者の関連が想定される。建物の瓦が落下したもの、あるいは建物に沿って瓦を敷いた跡とも考えられるが、性格は不詳である。出土遺物を第63図に示す。

(4) 埋設桶

埋設桶は41基が検出された。位置、規模等

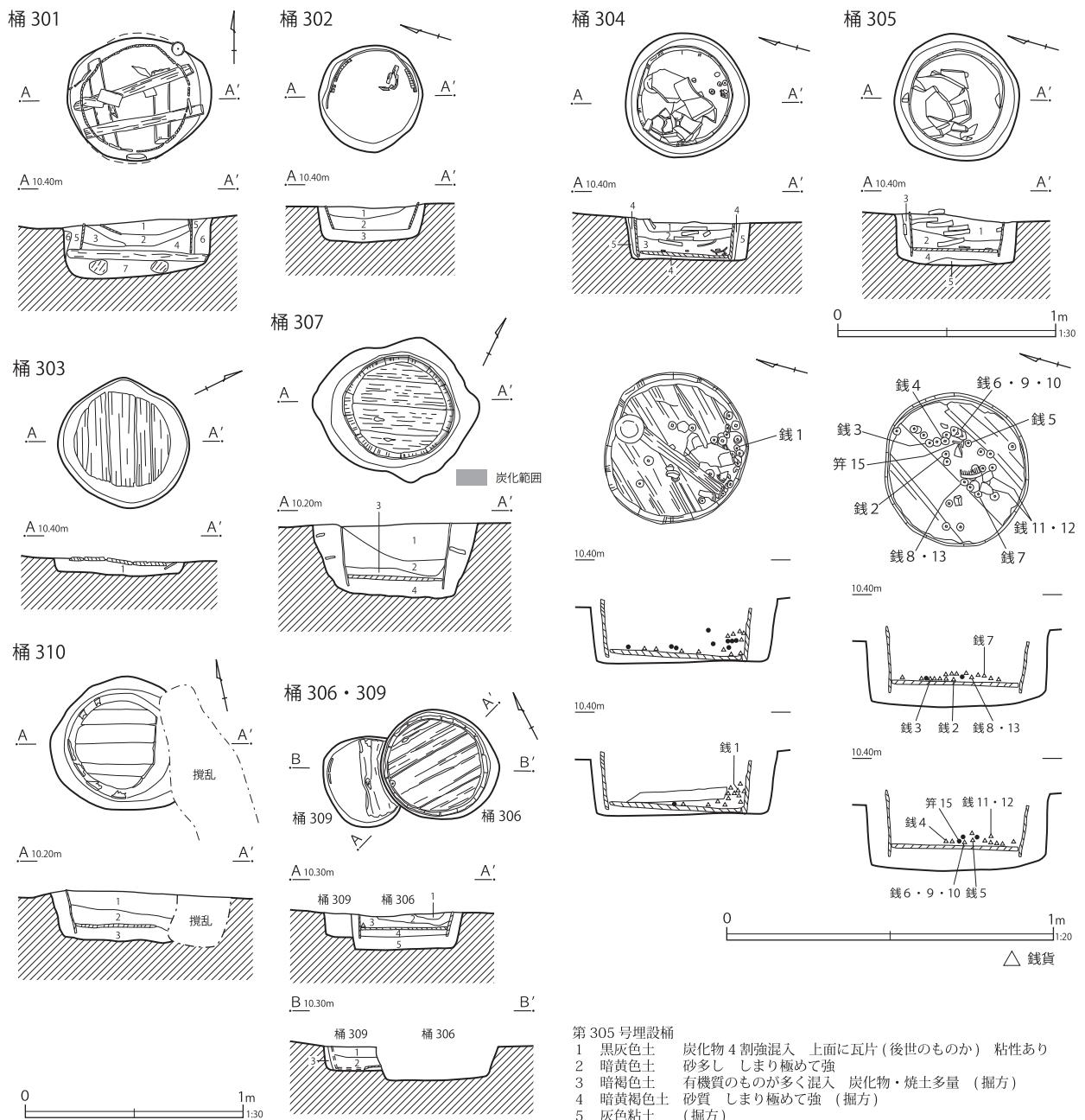
の基本的な情報は第14表にまとめた。第323・608・611・617・622号埋設桶については、桶材の側板と底板の実測図も第74~81図に示した。以下に特徴的な埋設桶について記す。

第301号埋設桶 (第64図)

C 6-F 3 グリッドに位置する。径66cmの掘方内に、井桁状に木材を敷き、その上に桶を据える。底板は検出されなかった。図示した遺物（第71図1・2）は陶器小皿類であるが、瀬戸美濃系磁器端反碗も出土している。

第14表 第一面埋設桶一覧表 単位:m

番号	グリッド	外径	高さ	内径	深さ	掘方径	深さ	備考
301	C6-F3	0.50	0.15	0.48	—	0.66	0.27	底板無し
302	C6-F4	0.42	0.12	0.40	—	0.48	0.16	
303	C6-F4	—	—	0.45	—	0.60	0.09	SB307a・杭列304重複
304	C6-G4	0.46	0.18	0.42	0.14	0.57	0.20	SB307bより新 錢貨多量出土 桶305と組みか
305	C6-G4	0.44	0.21	0.41	0.16	0.57	0.24	錢貨多量出土 桶304と組みで便所遺構か
306	C6-H4	0.47	0.11	0.40	0.06	0.54	0.18	桶309・SK377より新 鉄銭1
307	C6-H5	0.50	0.30	0.47	0.23	0.76	0.34	桶上部炭化 側板厚3mm遺存(脆い)
308	C6-H4	0.49	0.21	0.44	0.18	0.59	0.35	SK372より新 錢貨や多い
309	C6-H4	—	0.11	—	0.09	0.42	0.12	桶306より古 SK377より新 部分的に底板遺存
310	C6-H5	0.48	0.19	0.40	0.15	0.60	0.22	
311	C6-G5	0.24	0.11	0.20	—	0.30	0.19	桶312より新か
312	C6-G5	0.55	0.46	0.50	0.40	0.60	0.56	寛永通宝四文銭1錢種不明1 桶311より古か
313	C6-G4	0.55	0.46	0.48	0.41	0.67	0.52	SB307bより古 小便器か(自然科学分析参照)
314	C6-G4	—	—	0.40	—	—	—	SB307bより古 上面削平
315	C6-G4	—	—	—	—	0.50	0.08	SB307b重複 遺存悪い
316	C6-G6	—	—	0.40	—	—	0.26	SK370より古 数基の切り合いの可能性あり
317	C6-G6	0.46	0.27	0.43	0.20	0.60	0.28	SK370より古 底板一部遺存
321	C6-G4	0.47	0.18	0.44	0.10	0.53	0.24	SK367より古 鉄銭3
322	C6-F6	—	—	—	—	0.69	0.20	
323	C6-G6	内桶0.42 外桶0.52	0.31 0.52	0.33 0.43	0.26 0.42	0.67	0.70	SB303・SD301重複 桶材はスギ(自然科学分析参照)
325	C6-F6	0.86	0.49	0.78	0.43	1.10	0.69	寄生虫卵検出(自然科学分析参照) 寛永通宝(古)1 SB309より古
326	C6-H4	0.56	0.33	0.52	0.20	0.70	0.38	仙臺通宝2 SB305より古
334	C6-G4	長径0.68 短径0.57			0.63	0.36	SK367重複 桶材炭化し遺存悪い 小型	
601	C6-J7	0.47	0.28	0.40	0.21	0.56	0.28	SK613より古 SK644a/bより新
602	D6-A7	0.48	0.31	0.45	0.17	0.70	0.32	
603	D6-A8	0.46	0.46	0.43	0.37	0.70	0.50	桶604より新 錢貨6(寛永通宝2, 不明4)
604	D6-A8	0.90	0.69	0.75	0.64	1.15	0.75	桶603より古 桶606重複 漆椀2炭化
605	D6-A8	0.49	0.46	0.45	0.39	0.63	0.51	桶618重複 錢貨7(寛永通宝四文銭1含)
606	D6-A8	0.81	0.62	0.75	0.53	1.04	0.70	桶604重複
607	C6-J8	0.31	0.08	0.29	0.04	0.45	0.12	杭列601重複
608	D6-A9	0.33	0.29	0.32	0.25	0.49	0.40	SD604重複
609	D6-B8	—	—	—	—	0.48	0.15	SB602の一部か 遺構図はSB602の中に図示
610	D6-B8	0.49	0.07	0.44	0.01	0.50	0.15	SB602の一部か 遺構図はSB602の中に図示
611	D6-B8	0.97	0.72	0.91	0.64	1.02	0.80	桶617より古(同時期併存か)被熱
613	D6-B8	—	—	0.41	—	0.48	0.12	SK667より新
617	D6-A8, B8	1.15	0.94	1.08	0.76	1.30	1.00	寛永通宝2(鉄銭1含) SB602より古 桶611より新
618	D6-A8	0.44	—	0.42	—	0.73	0.52	錢貨6(寛永通宝2(四文銭1)鉄銭3) 桶605重複
619	C6-J8	0.58	0.77	0.56	0.69	0.75	0.70	桶内下部に黄褐色の膜付着 寄生虫卵未検出(自然科学分析参照) 杭列601重複
620	D6-B8	0.65	—	—	—	0.76	0.18	SK667より古 タガのみ遺存
621	C6-J8	0.50	0.50	0.45	—	0.60	0.52	杭列601重複 寄生虫卵微量(自然科学分析参照) 寛永通宝1
622	D6-A7, B7	0.58	0.43	0.56	0.41	0.90	0.46	寄生虫卵未検出(自然科学分析参照) 錢貨6(うち寛永通宝5)木桶602直下検出



第301号埋設桶

- 1 黄灰色粘土 炭化物(Φ5~7mm)微量 しまり極めて強
- 2 灰色粘土 シルト混入
- 3 黄灰色砂 混入物ほとんどない しまり極めて強
- 4 黑灰色粘土 炭化物(Φ3~8mm)多量 しまり極めて強
- 5 黑灰色土 砂含む しまり弱 (掘方)
- 6 黄灰色土 シルト質 しまり強 (掘方)
- 7 褐灰色土 砂質 直上より陶器片・瓦片・櫛出土 しまり弱 (掘方)

第302号埋設桶

- 1 灰褐色砂 西側から桶を壊した際に入った土
- 2 暗褐色土 炭化物(Φ5~8mm)・焼土(Φ0.7~1cm)微量
- 3 褐色土 炭化物(Φ3~5mm)微量 烧土(Φ5~8mm)少量 (掘方)

第303号埋設桶

- 1 黑灰色土 炭化物(Φ3~8mm)多量 烧土(Φ3~7mm)微量 (掘方)
- 2 灰色土 1層に比し炭化物を殆んど含まない
- 3 黄灰色土 上面より銭6枚出土 しまり極めて強
- 4 暗褐色土 有機質のものが混じった土 (掘方)
- 5 灰黄色砂 (掘方)

第305号埋設桶

- 1 黒灰色土 炭化物4割強混入 上面に瓦片(後世のものか) 粘性あり
- 2 暗黄色土 砂多し しまり極めて強
- 3 黒褐色土 有機質のものが多く混入 炭化物・焼土多量 (掘方)
- 4 暗黄褐色土 砂質 しまり極めて強 (掘方)
- 5 灰色粘土 (掘方)

第306号埋設桶

- 1 灰黄色土 シルト質 しまり極めて強
- 2 黑褐色土 有機質を多く含む 炭化物混入
- 3 灰褐色砂 砂粒は比較的粗い しまり弱
- 4 暗褐色土 炭化物多量 (掘方)
- 5 暗黄褐色土 シルト質混入 粘性弱 (掘方)

第307号埋設桶

- 1 赤褐色土 やや砂質 炭化物(Φ2~5mm)・焼土ブロック(Φ3~5cm)多量 瓦片・土器含まない しまり強 粘性なし
- 2 暗褐色土 炭化物わずかに含む しまり強 粘性あり
- 3 黒色土 ポンポンした印象の炭層(粒子は細かく軟らかい)
- 4 灰褐色土 シルト質 炭化物(Φ2~5mm)含む 粘性あり (掘方)

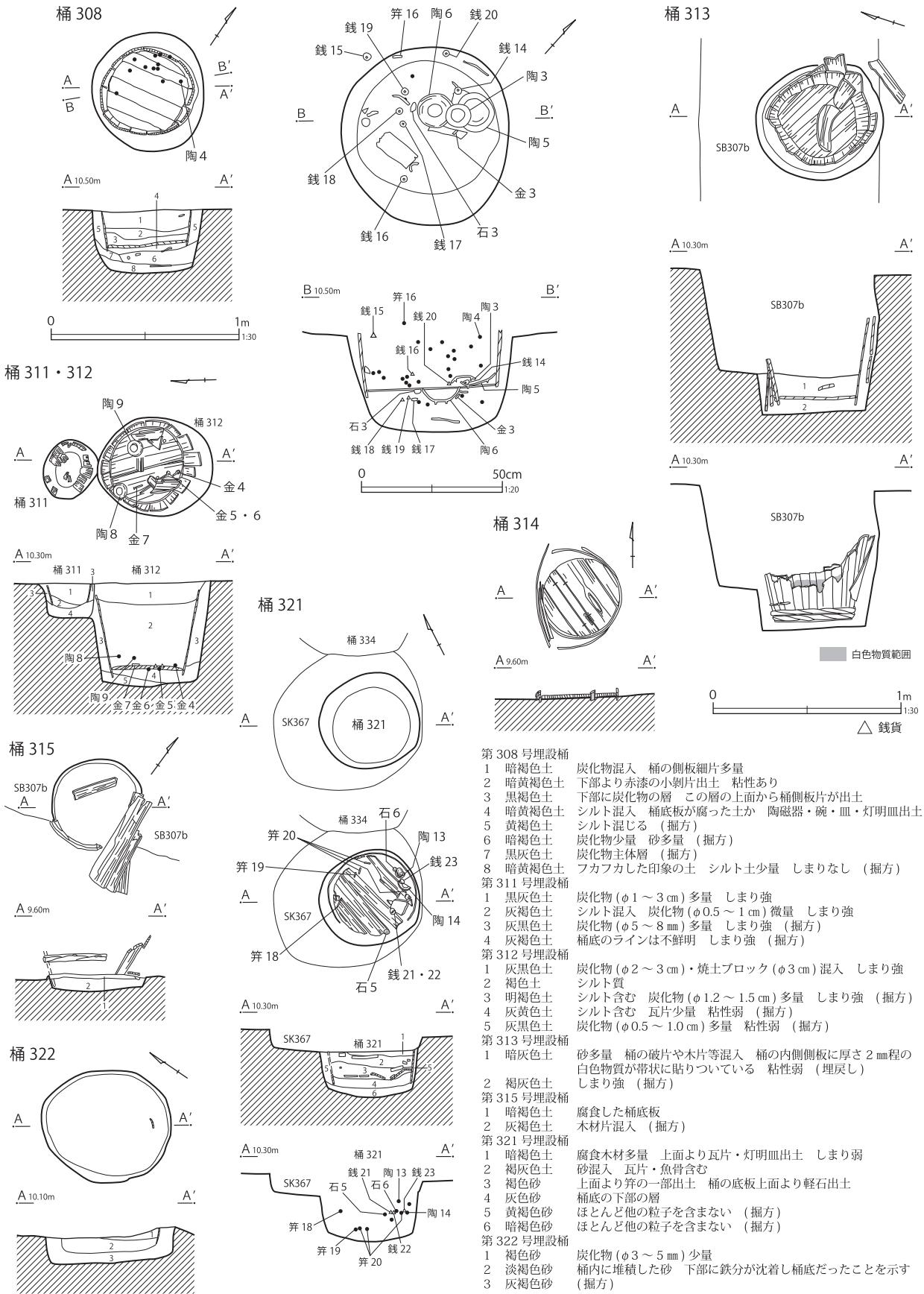
第309号埋設桶

- 1 灰褐色土 鉄分多し しまり弱
- 2 灰黄褐色土 鉄分多し しまり弱
- 3 黄褐色土 シルト含む (掘方)

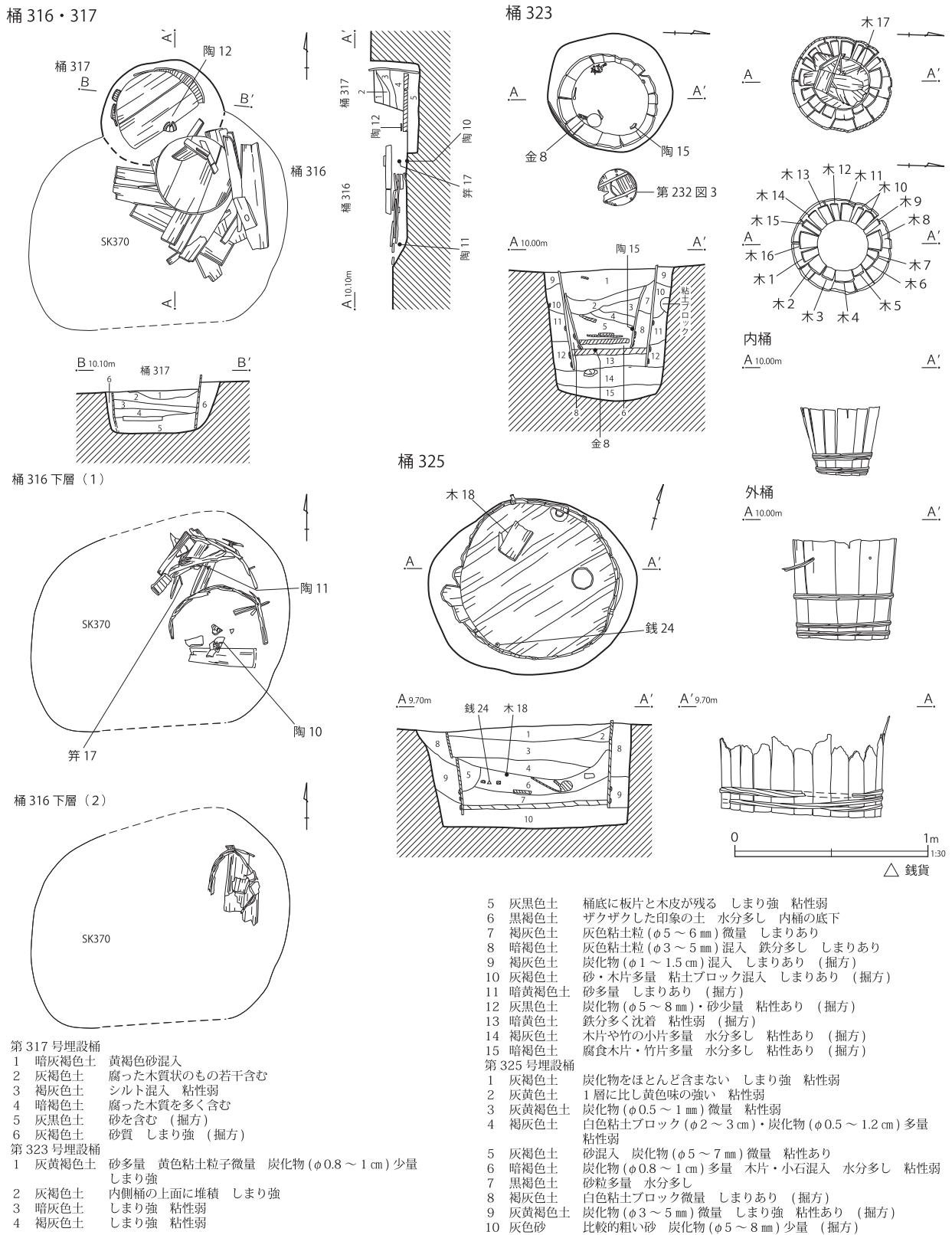
第310号埋設桶

- 1 灰褐色土 シルト質 炭化物(Φ3~5mm)含む しまりあり
- 2 灰褐色土 シルト質 1層より黄色味強い 烧土粒(Φ5mm)少量 しまりあり
- 3 黄褐色土 炭化物少量 酸化鉄分多量 しまり・粘性あり (掘方)

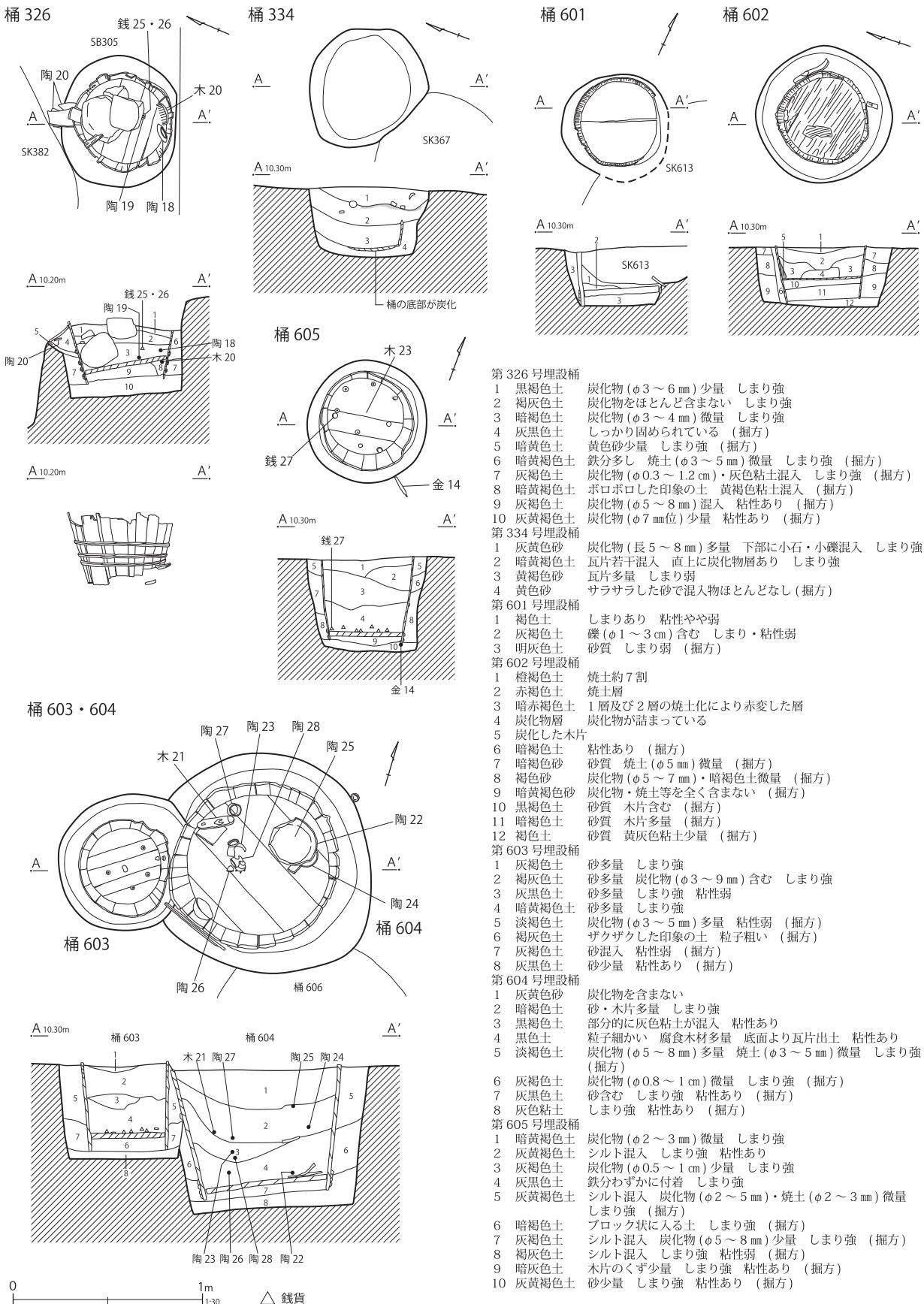
第64図 埋設桶(1)

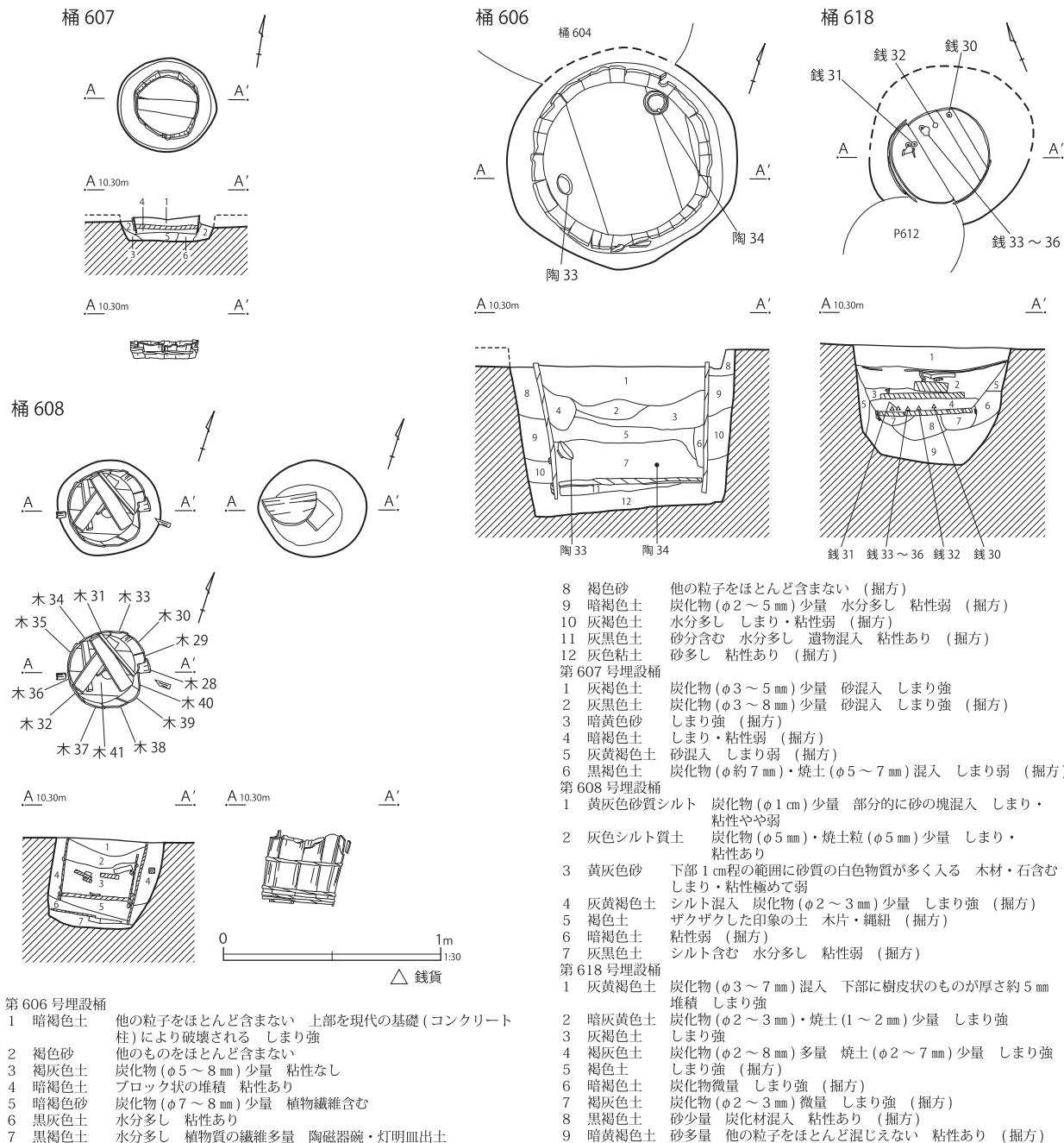


第65図 埋設桶 (2)



第66図 埋設桶(3)





第68図 埋設桶（5）

第304号埋設桶（第64図）

C 6-G 4 グリッドに位置し、第307 b 号建物跡基礎を掘り込んでいる。周辺には第310号杭列や第307 b 号建物跡北側基礎に沿って、第304・305・313～315号埋設桶が集中している。径57cmの掘方内に桶を設置したもので、桶内の南側下層を中心に銭貨33点が出土した。寛永通宝が17枚（うち四文銭1、鉄銭8）で、残りは遺存が悪く

銭種不明である。大半は寛永通宝と考えられる。

第83図1には、密着した状態の銭貨を示した。

第305号埋設桶（第64図）

C 6-G 4 グリッドに位置する。第304号埋設桶とは約1.4mの間隔で東西に並んでおり、ほぼ同規模である。桶内の下層を中心に銭貨38点以上が出土した。寛永通宝が15枚（うち四文銭6、鉄銭1）で、残りは銭種不明である。一部

は第83図2～13に示した。第304・305号埋設桶は、位置関係や銭貨を出土する類例から、便槽と考えられる。

第308号埋設桶（第65図）

C 6-H 4 グリッドに位置する。第308・305号建物跡の内部に位置するが、各遺構の関連については不明である。桶内、掘方内ともに比較的多く遺物が出土しており、一部を第71図3～6、第82図3、第83図14～20に示す。特に下位から銭貨が比較的多く出土しており、寛永通宝7枚（四文銭1、鉄銭5枚含む）が出土している。

第311・312号埋設桶（第65図）

C 6-G 5 グリッドに位置し、第305号建物跡の東側に近接する。大小の埋設桶が並んで検出されており、第311号埋設桶が第312号埋設桶を掘り込んでいるが、同時期併存の可能性もある。第312号埋設桶内から陶磁器（第71図7～9）や煙管（第82図4～7）が出土した。他に寛永通宝四文銭1枚と、銭種不明1枚が出土している。

第313・315号埋設桶（第65図）

C 6-G 4 グリッドに位置し、約1.5m間隔で東西に並ぶ。いずれも第307 b号建物跡北側基礎に掘り込まれている。第313号埋設桶の桶内下層は砂を多く交える土層で、桶材内側に白色物質が約2mmの厚さで付着していた。自然科学分析により、カルシウムを主とした付着物で、一部リン酸塩鉱物の集中が認められたことから、小便器の可能性が指摘されている（自然科学分析参照）。

第315号埋設桶は、ほぼ建物跡基礎に壊されていたが、第313・315号埋設桶は、同時期に便槽として機能したと想定される。

第316・317号埋設桶（第66図）

C 6-G 6 グリッドに位置し、19世紀中葉の第370号土壙に壊されている。桶材の遺存・重複状況から第317号埋設桶が第316号埋設桶より古いと考えられる。なお、第316号埋設桶は調査時には4基の埋設桶の重複と捉えられていたが、部材

の遺存状況から、1基分の埋設桶が崩れているものとして報告する。

第323号埋設桶（第66図）

C 6-G 6 グリッドに位置し、第303号建物跡と重複している。径52cmの埋設桶（外桶）の中に、径42cmの内桶を収める入れ子状の埋設桶である。側板材と底板材は外桶、内桶ともにスギ材を用いる（自然科学分析参照）。内桶の各部材は、第74図1～17に図示した。外桶の底面から小形の柄鏡（第82図8）が出土している。

第326号埋設桶（第67図）

C 6-H 4 グリッドに位置し、上部を第305号建物跡に壊される。覆土には20cm弱の石が入り込む。天明4年（1784）初鋳の仙臺通宝2枚（第83図25・26）が出土しており、陶磁器も18世紀末の様相を示す（第71図18～20）。天明年間からさほど時を経ずに廃絶したと考えられ、上部の建物跡はそれ以降に帰属する。

第609・610号埋設桶（第37図）

D 6-B 8 グリッドに位置し、桶底板のみ遺存する。第602号建物跡と関連する可能性がある。詳細は第602号建物跡の概要と図面に示した。

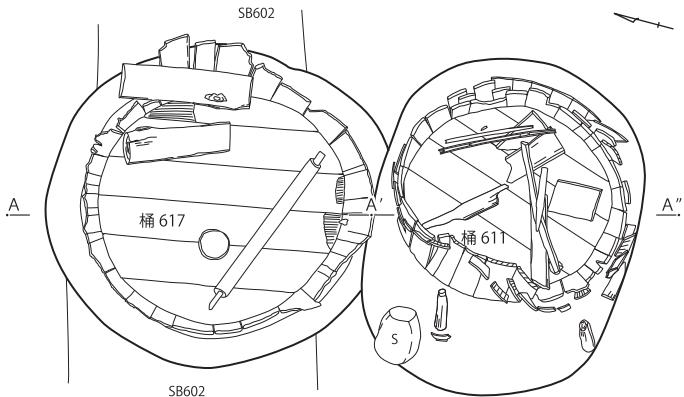
第611・617号埋設桶（第69図）

D 6-A 8、B 8 グリッドに位置し、2基並ぶように検出された。同時期併存の可能性があるが、第611号埋設桶のみ被熱する。第617号埋設桶は第602号建物跡に掘り込まれている。桶の構築材は第76・77図42～67と第78・79図72～98に示した。第611号埋設桶の上層には遺物が多く、廃絶時に投棄されたと捉えられる。第77図68～71は赤漆を塗った板材でいずれも炭化する。68・69には黒漆で折り鶴が描かれる。

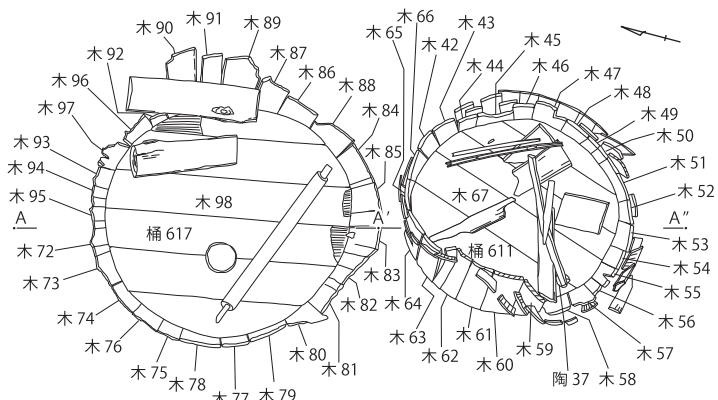
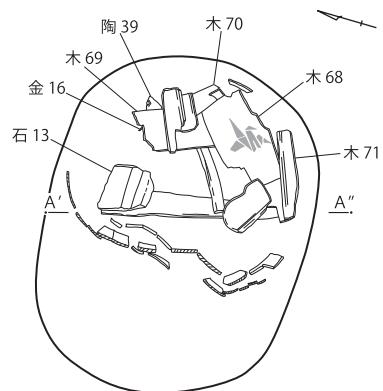
第607・619・621号埋設桶（第68・70図）

C 6-J 8 グリッドに位置し、いずれも第601号杭列と重複する。第607号埋設桶は杭列下に底面のみ検出され、第619号埋設桶は、覆土に杭列が打ち込まれる。第621号埋設桶は西側に掘方が

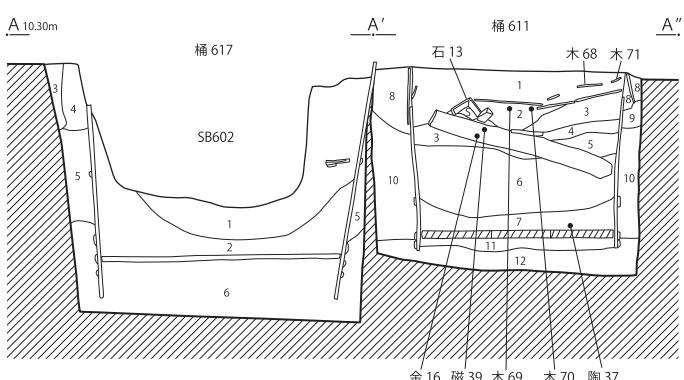
桶 611 • 617



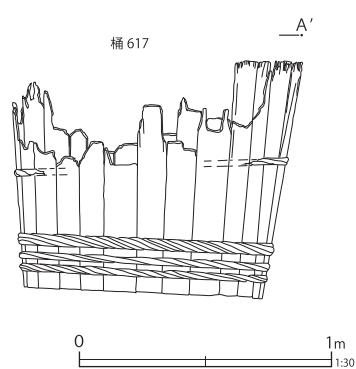
桶 611 上面



桶 617 側面



A 10 30m



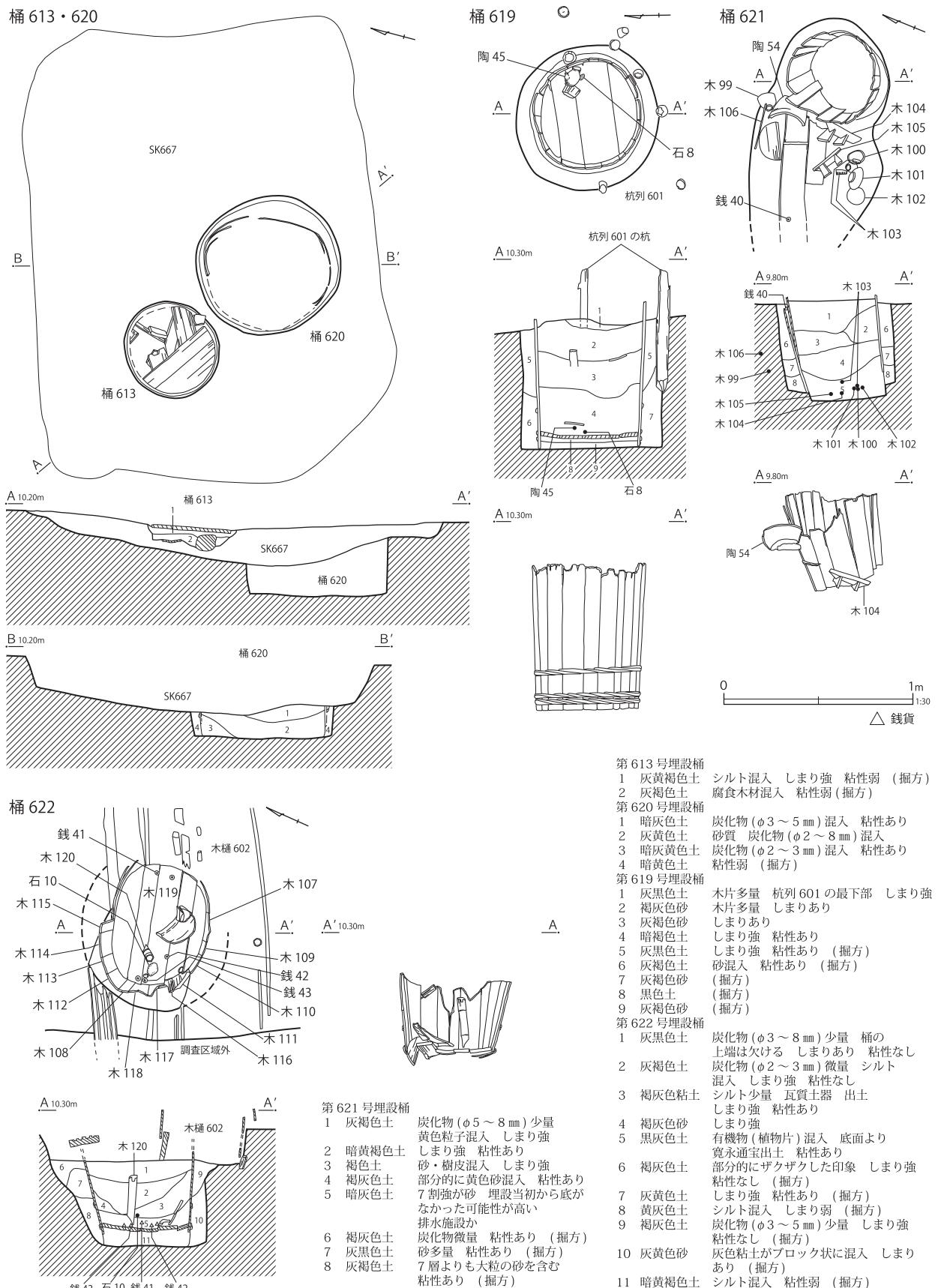
第 611 号埋設桶

- | | |
|-----------------|--|
| 褐色土+赤褐色土(焼土) | 褐色土4割 焃土6割 炭化物($\phi 0.8 \sim 2\text{cm}$)
混入 桶の側板は焼けて炭化している しまり強 |
| 2 褐色土 | 炭化物($\phi 0.8 \sim 1\text{cm}$)・砂多量 しまり強 |
| 3 暗褐色土+赤褐色土(焼土) | 暗褐色土・赤褐色土各5割 焙けた壁土多量 |
| 4 黒色土 | 炭化した木材くずが堆積 |
| 5 褐色土 | 水分多し 上層の炭化材のくず少量 しまり弱 |
| 6 暗赤褐色土 | ザクザクした印象の土 焃土ブロック(径2cm)混入 炭化木材
多量 |
| 7 灰黒色土 | ザクザクした印象の土 崩れた炭化材の層 水分多し 透明の
膜状の小片($\phi 7 \sim 8\text{mm}$)多く混じる |
| 8 黄褐色砂 | 土粒が埋まる間に崩れた土(掘方) |

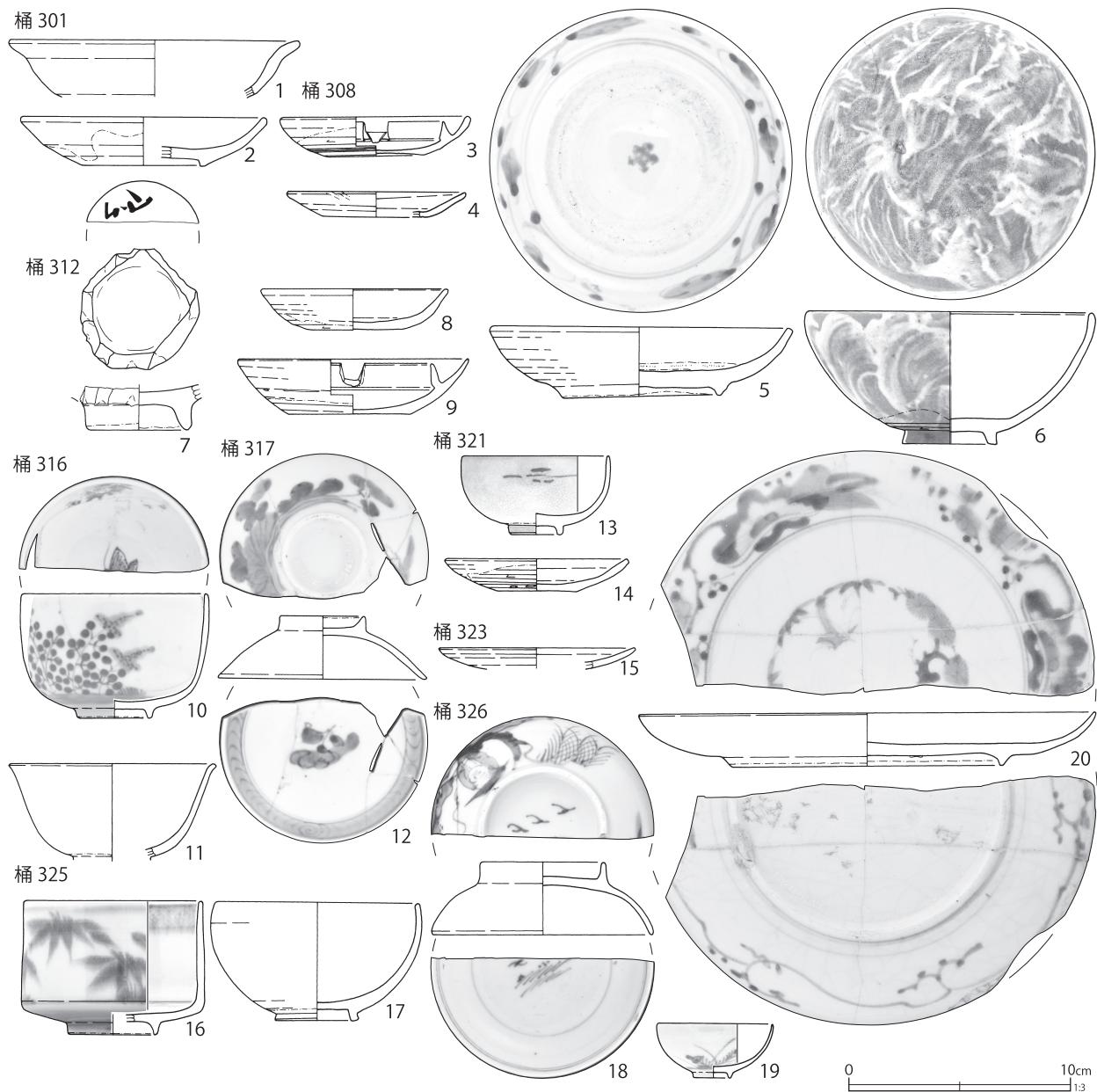
- 9 灰褐色砂 上桶を埋めた際の土（掘方）
10 褐灰色土 上層に炭化物（φ3～8mm）少量 しまり強（掘方）
11 黑黑色土 砂多量 粘性弱（掘方）
12 灰褐色砂 溝水あり（掘方）

第617号理設桶	
1	暗褐色土 樹皮の纖維多量 板材少量 しまり・粘性あり
2	黒褐色土 ややしまり良し 粘性有り 炭化物(φ5~7mm)若干混じる
3	褐色土 鉄分多量 しまり・粘性あり (掘方)
4	灰褐色土 炭化物(φ5~7mm)少量 しまり強 (掘方)
5	褐灰色土 炭化物(φ0.5~1.5cm)多量 しまり弱 (掘方)
6	灰黑色砂 溶水あり (掘方)

第69図 埋設桶(6)



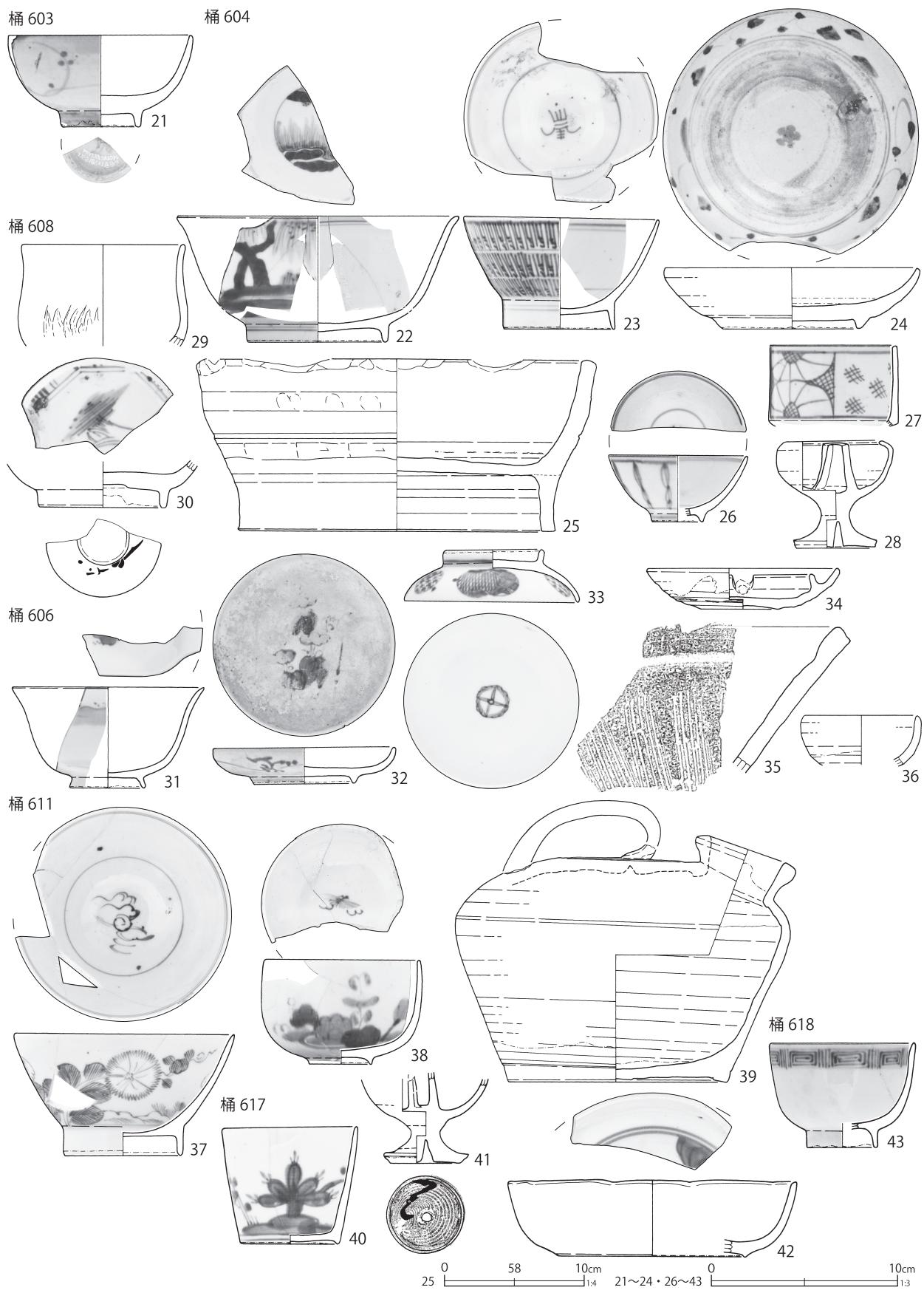
第 70 図 埋設桶 (7)



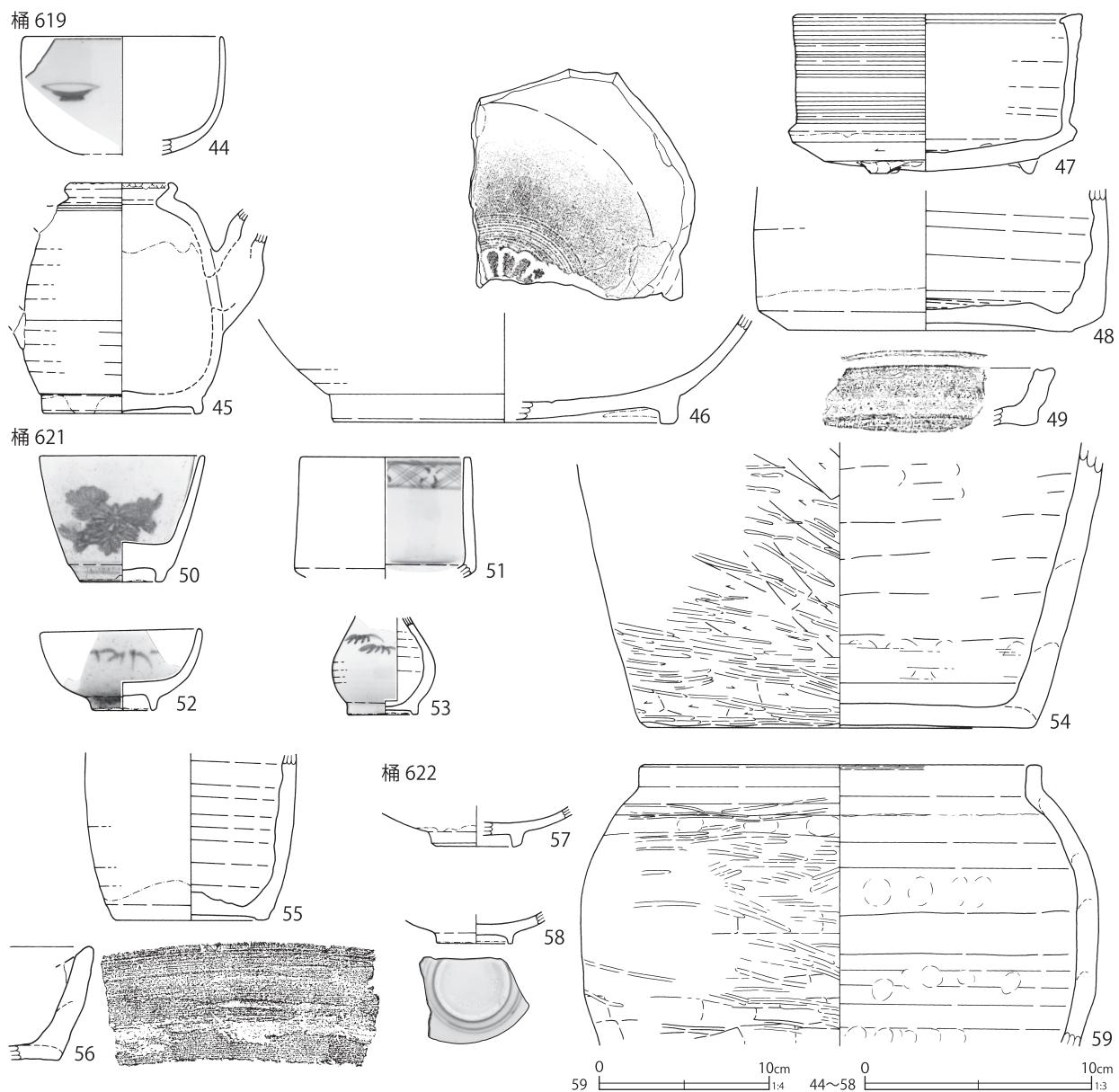
第 71 図 埋設桶出土遺物（1）

第 15 表 埋設桶出土遺物観察表（1）（第 71 ~ 73 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	陶器	皿	(13.0)	[2.5]	—	CIK	10	良好	灰	桶 301	肥前系 灰釉	46-1
2	陶器	灯明皿	(10.8)	2.2	(5.0)	DHIK	40	良好	淡黄	桶 301	瀬戸美濃系 灰釉 底部墨書「十△」	46-2 73-9
3	陶器	灯明皿	8.2	1.7	4.4	EIK	100	良好	灰黄	桶 308	瀬戸美濃系 柿釉 重焼痕	
4	かわらけ	小皿	(7.9)	1.1	(4.9)	IK	20	普通	橙	桶 308	底部糸切痕	
5	磁器	皿	13.2	3.2	6.9	HIK	100	良好	にぶい橙	桶 308	肥前系 施釉 内面染付	
6	陶器	碗	12.6	5.4	4.2	DHIK	100	良好	浅黄	桶 308	肥前系 波状の刷毛目釉	46-3
7	陶器	碗	—	[2.0]	4.5	I	10	良好	灰白	桶 312	肥前系 灰釉 周囲一部叩打か、円盤状製品の可能性あり	
8	陶器	灯明皿	8.2	1.8	4.0	HIK	100	良好	にぶい黄	桶 312	瀬戸美濃系 柿釉 重焼痕	
9	陶器	灯明皿	10.4	2.5	5.4	K	99	良好	灰	桶 312	瀬戸美濃系 柿釉 重焼痕	
10	磁器	碗	(8.2)	5.6	(3.0)	K	45	良好	白	桶 316	肥前系 施釉・染付	
11	陶器	碗	(9.0)	[4.2]	—	IK	10	良好	灰白	桶 316	京都信楽系 施釉	



第72図 埋設桶出土遺物（2）



第73図 埋設桶出土遺物（3）

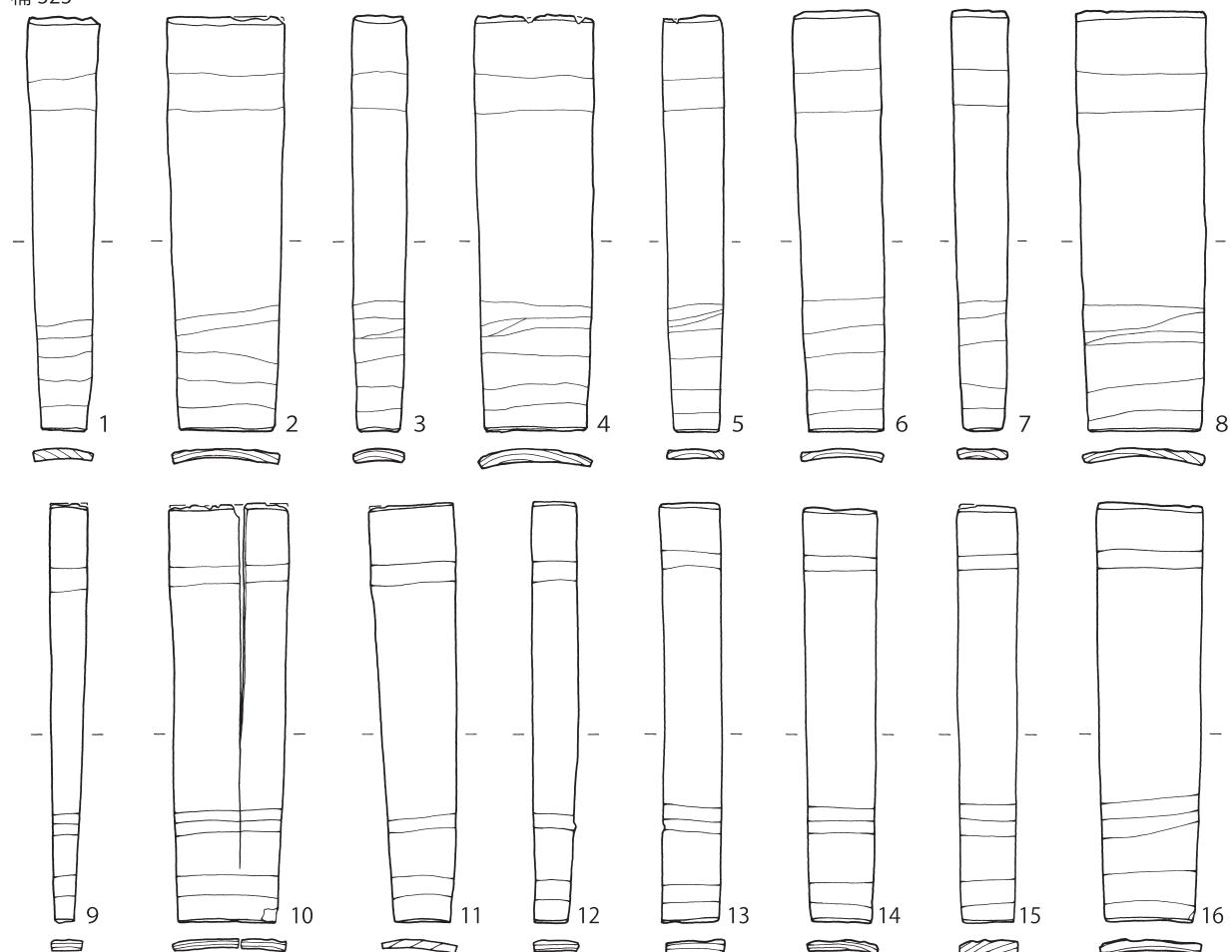
広がると捉えられたが、恐らくこれは第601号杭列の一部であろう。従って、杭列の肩部に構築されたと捉えられる。底板が無く、当初から底板を除去していたと考えられる。なお、杭列は側板を有する溝の残存構造と考えられる。3基の埋設桶は杭列に関わって構築された可能性が高く、敷地境の溝に伴って機能したと考えられる。第619・621号埋設桶では、寄生虫卵がほとんど検出されなかったのも、その性格を示唆している（自然科学分析参照）。

第622号埋設桶（第70図）

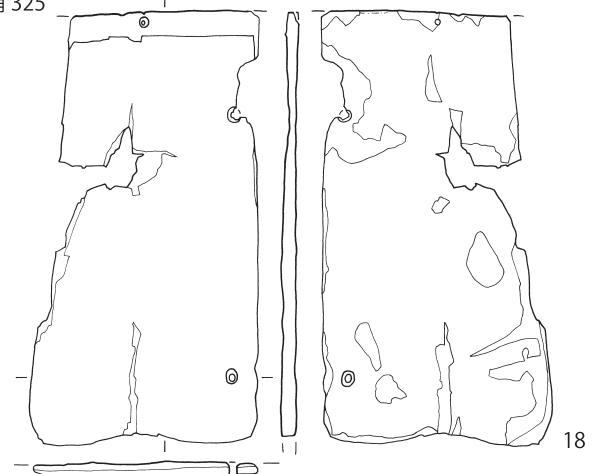
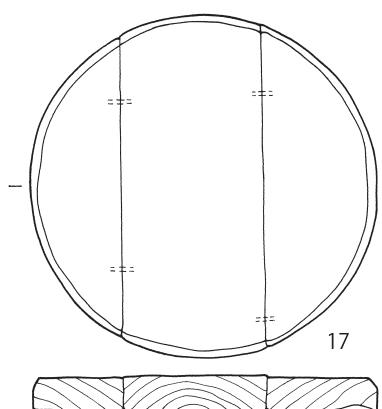
D 6-A 7、B 7 グリッドに位置し、第602号木桶の直下で検出された。第607・619・621号埋設桶と同様の性格を窺わせる。自然科学分析でも寄生虫卵は検出されず、便槽や肥溜とは考え難い。第73図に陶磁器（57・58）と土器火消壺（59）を示す。第80・81図107～119に桶部材を示す。120は覆土から縦位置で出土した竹材で、井戸廃絶の「息抜き」を連想させる。底面から銭貨6枚が出土し、一部を第83図41～43に示す。

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
12	磁器	蓋	3.7	2.8	9.2	HIK	65	良好	灰白	桶 317	桶 316 接合 濑戸美濃系 施釉・染付	
13	陶器	坏	6.5	3.5	2.2	HIK	90	良好	灰白	桶 321	京都信楽系 施釉 外面鉄絵	
14	陶器	灯明皿	(8.0)	1.4	(3.6)	HIK	40	良好	灰黄	桶 321	瀬戸美濃系 柿釉 重焼痕	
15	陶器	皿	(8.8)	[0.9]	—	ACIK	25	良好	赤褐	桶 323	備前系	46-4
16	磁器	碗	(7.8)	6.0	(3.8)	K	40	良好	白	桶 325	肥前系 施釉・染付	
17	陶器	碗	(9.0)	5.3	3.7	EIK	70	良好	灰白	桶 325	瀬戸美濃系 施釉	
18	磁器	蓋	5.4	3.3	9.8	K	55	良好	白	桶 326	肥前系 施釉・染付 焼継痕	
19	磁器	坏	5.2	1.4	1.6	K	65	良好	白	桶 326	肥前系 施釉 外面染付	
20	磁器	皿	(20.6)	2.4	12.3	IK	50	良好	灰白	桶 326	肥前系 施釉・染付 焼継痕	
21	磁器	碗	(9.7)	4.9	(4.0)	—	40	普通	灰白	桶 603	肥前系 施釉 外面染付 被熱 底板下出土	
22	磁器	碗	(14.8)	(6.7)	(7.3)	—	25	良好	白	桶 604	肥前系 施釉・染付 被熱 直接接点無い2破片を図上復元	
23	磁器	碗	10.1	6.0	5.8	—	70	良好	白	桶 604	肥前系 施釉・染付	
24	磁器	皿	13.5	3.2	7.1	—	90	普通	灰白	桶 604	肥前系 施釉 内面蛇の目状釉剥 染付	
25	瓦質土器	火鉢	(27.3)	12.2	22.4	CHI	65	普通	にぶい橙	桶 604	砂目底 口縁部叩打痕 やや酸化炎焼成	46-5
26	磁器	碗	7.3	3.5	2.6	—	40	良好	白	桶 604	肥前系 施釉・染付	
27	磁器	碗	6.8	[4.3]	—	—	70	普通	白	桶 604	肥前系 施釉・染付	
28	陶器	秉燭	4.8	5.7	4.1	GI	100	普通	灰白	桶 604	瀬戸美濃系 底部糸切痕(左) 柿釉 灯芯上端煤付着	46-6
29	磁器	碗か	(8.5)	[5.4]	—	—	10	良好	白	桶 608	瀬戸美濃系 施釉 外面クロム青磁釉・しおぎ文	
30	磁器	鉢	—	[2.5]	(6.7)	—	10	良好	白	桶 608	肥前系 施釉 内面染付 焼継痕・焼継印	46-8
												73-10
31	磁器	碗	(10.2)	5.4	(3.9)	—	10	良好	白	桶 606	肥前系 施釉・染付	
32	磁器	皿	9.5	1.9	5.2	—	95	普通	白	桶 606	肥前系か 施釉・染付 粗製	46-7
33	磁器	蓋	5.1	2.8	9.2	—	100	良好	白	桶 606	肥前系 施釉・染付	
34	陶器	灯明皿	10.0	2.1	4.2	I	100	良好	にぶい黄橙	桶 606	瀬戸美濃系 柿釉 重焼痕	
35	陶器	擂鉢	—	[7.8]	—	DE	5	普通	灰	桶 606	丹波系 内面擂目 外面指頭圧痕	
36	陶器	坏	(5.9)	[2.7]	—	K	20	普通	灰白	桶 606	京都信楽系 内外面灰釉	
37	磁器	碗	11.7	6.5	6.1	—	80	良好	白	桶 611	肥前系 施釉・染付 桶 612 に同文別個体1あり	
38	磁器	碗	(8.2)	5.5	3.2	—	60	良好	白	桶 611	肥前系 施釉・染付 同文別個体1あり	
39	陶器	漫瓶	4.3	[13.2]	11.6	HI	85	良好	灰白	桶 611	瀬戸美濃系 外面灰釉	46-9
40	磁器	猪口	7.0	6.2	5.1	—	95	普通	白	桶 617	肥前系 施釉 外面染付	
41	陶器	秉燭	—	[4.9]	3.7	K	70	良好	灰白	桶 617	底部糸切痕(右)・墨書 鉄釉	
42	磁器	皿	(15.3)	5.0	(9.9)	—	15	普通	白	桶 617	肥前系 施釉(外面青磁釉) 内面染付	
43	磁器	碗	(7.4)	5.5	(3.7)	—	45	良好	白	桶 618	瀬戸美濃系 施釉 外面染付	
44	磁器	碗	(8.6)	[5.2]	—	—	20	普通	白	桶 619	肥前系 施釉 外面染付	
45	陶器	水注	4.5	10.1	6.9	D	80	普通	灰白	桶 619	瀬戸美濃系 外面灰釉 口唇部叩打痕	46-10
46	陶器	鉢	—	[4.8]	(14.9)	I	10	普通	灰白	桶 619	瀬戸美濃系 灰釉 内面印花・目跡 破損後被熱	46-11
47	陶器	香炉	(12.5)	7.0	9.5	D	65	普通	灰白	桶 619	掘方 濑戸美濃系 灰釉 内面目跡3 同形別個体1あり	
48	陶器	徳利	—	[6.2]	(12.4)	EK	15	普通	灰白	桶 619	掘方 濑戸美濃系 外面柿釉	
49	陶器	擂鉢	—	[2.5]	—	DE	5	良好	黄灰	桶 619	掘方 丹波系か やや淡色 内面擂目	
50	磁器	坏	7.2	5.5	3.5	—	100	普通	白	桶 621	肥前系 施釉 外面染付 被熱	
51	磁器	碗	(7.4)	[5.3]	—	—	10	普通	白	桶 621	肥前系 施釉(外面青磁釉) 内面染付 弱く被熱	
52	磁器	坏	(6.9)	3.5	2.6	—	50	普通	白	桶 621	肥前系 施釉 外面染付 被熱	
53	磁器	徳利	—	[4.3]	2.8	—	25	良好	白	桶 621	肥前系 外面施釉・染付 小形	
54	瓦質土器	火消壺	—	[12.5]	(16.5)	CEFI	25	普通	灰白	桶 621	砂目底 外面ケズリ後ミガキ 燻す	
55	陶器	徳利	—	[7.3]	6.5	I	15	良好	褐灰	桶 621	瀬戸美濃系 外面灰釉・下位拭き取り	
56	瓦質土器	焰烙	—	[5.0]	—	CHI	10	良好	黄灰	桶 621	底部シワ状痕 内耳欠失 燻す	
57	陶器	碗	—	[1.8]	(3.4)	I	5	普通	灰白	桶 622	瀬戸美濃系 灰釉	
58	磁器	碗	—	[1.4]	3.2	—	5	良好	白	桶 622	肥前系 施釉 外面染付	
59	瓦質土器	火消壺	(23.0)	[16.5]	—	CFHI	15	良好	浅黄橙	桶 622	外面ヘラナデ後ミガキ やや酸化炎焼成	46-12

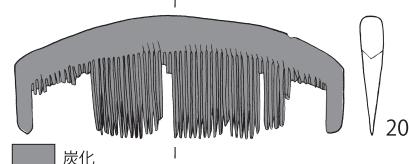
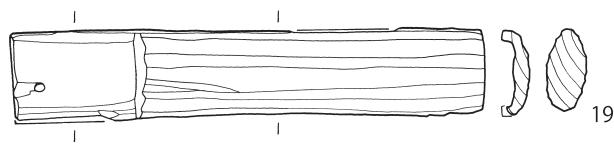
桶 323



桶 325

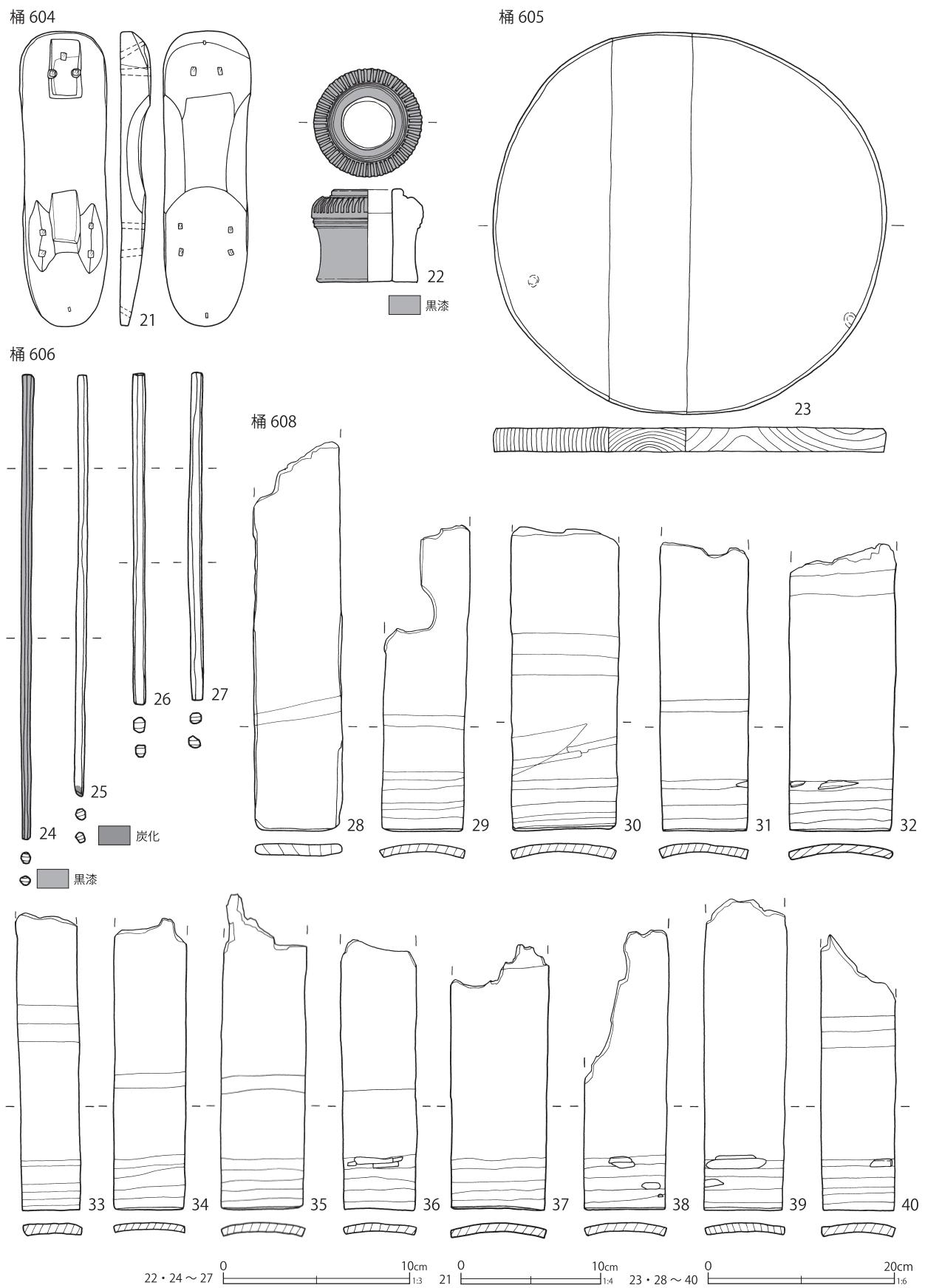


桶 326

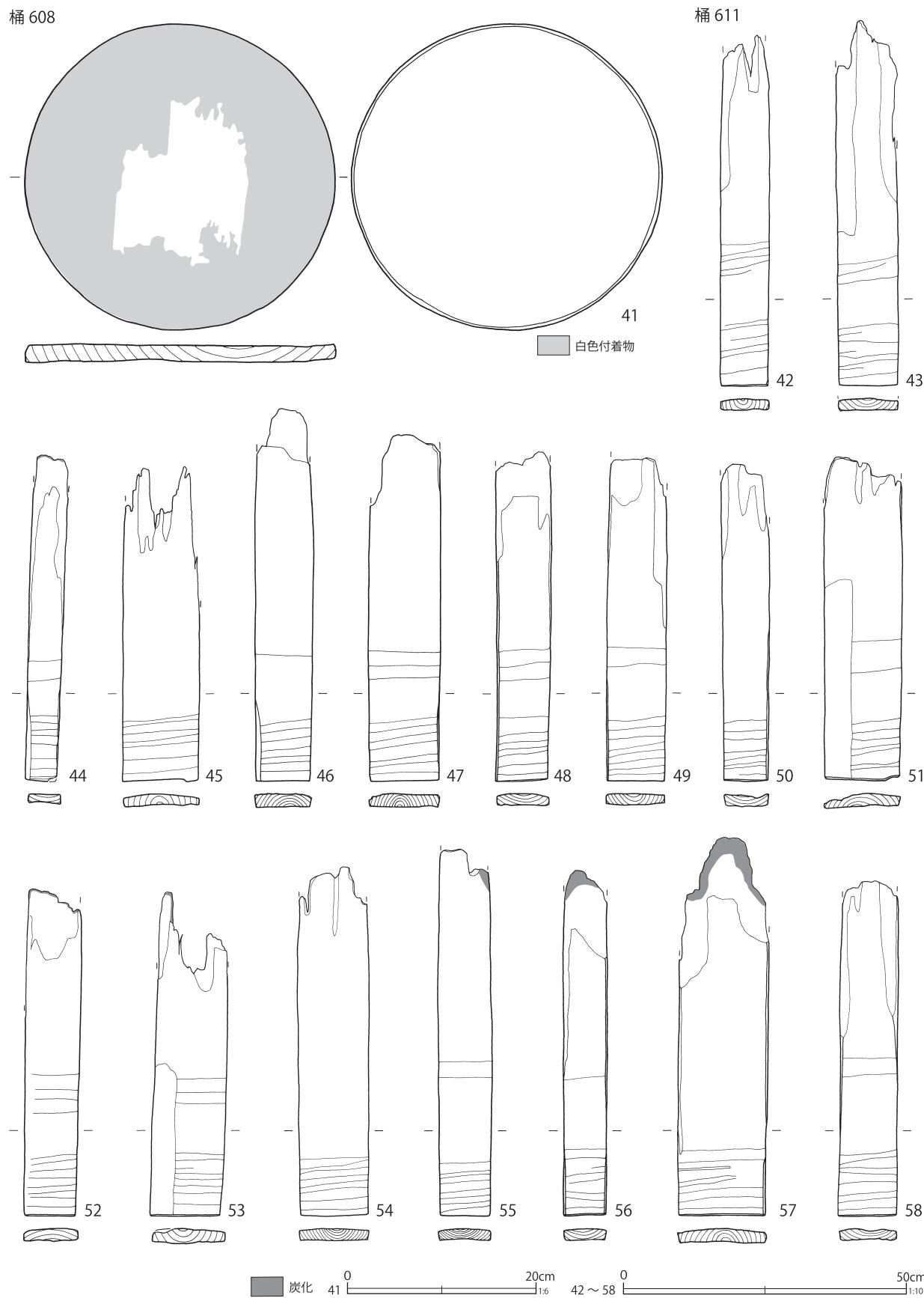


0 1 ~ 17 20cm 1:6 0 18 ~ 20 10cm 1:3

第 74 図 埋設桶出土遺物 (4)

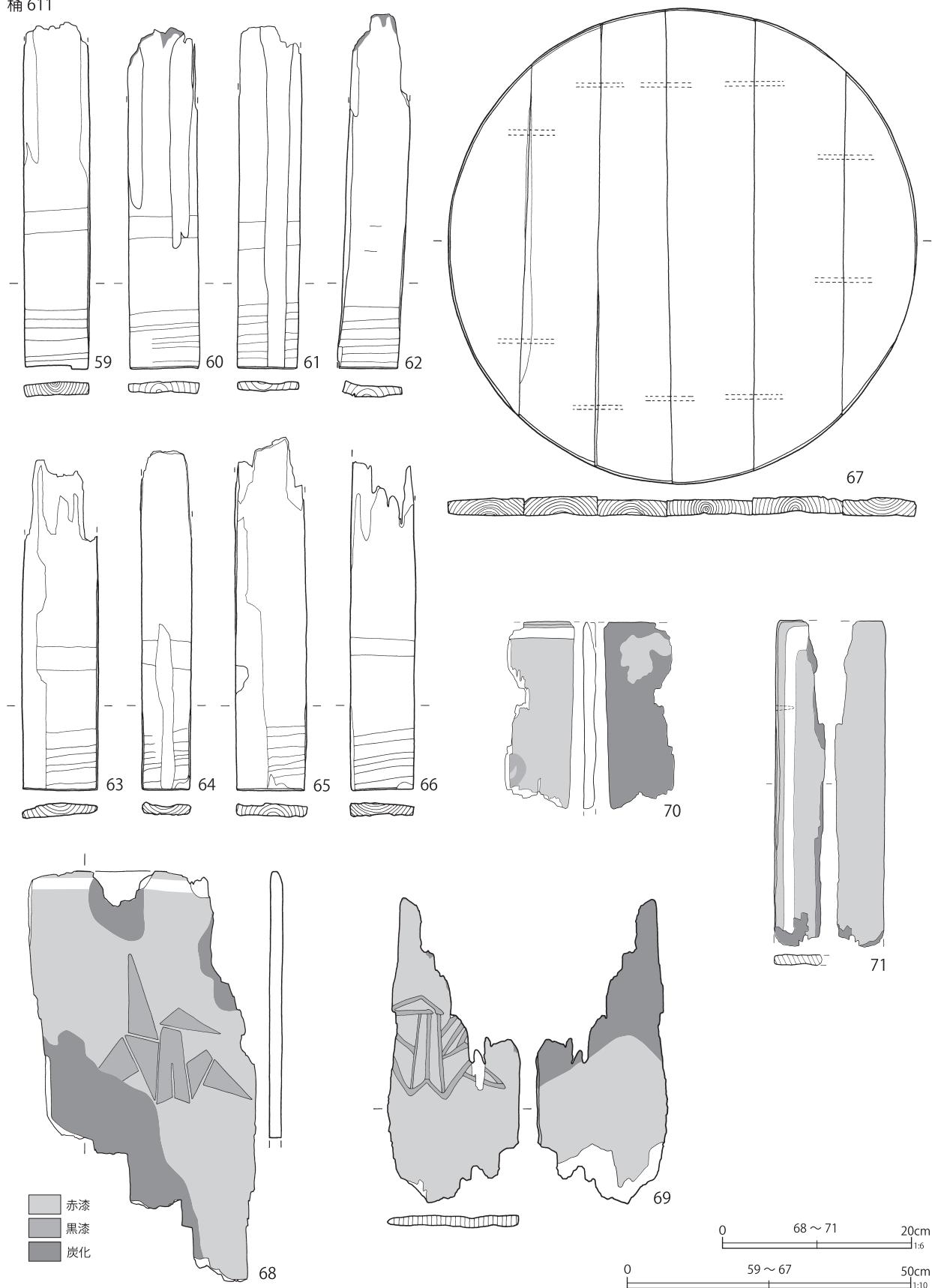


第 75 図 埋設桶出土遺物 (5)

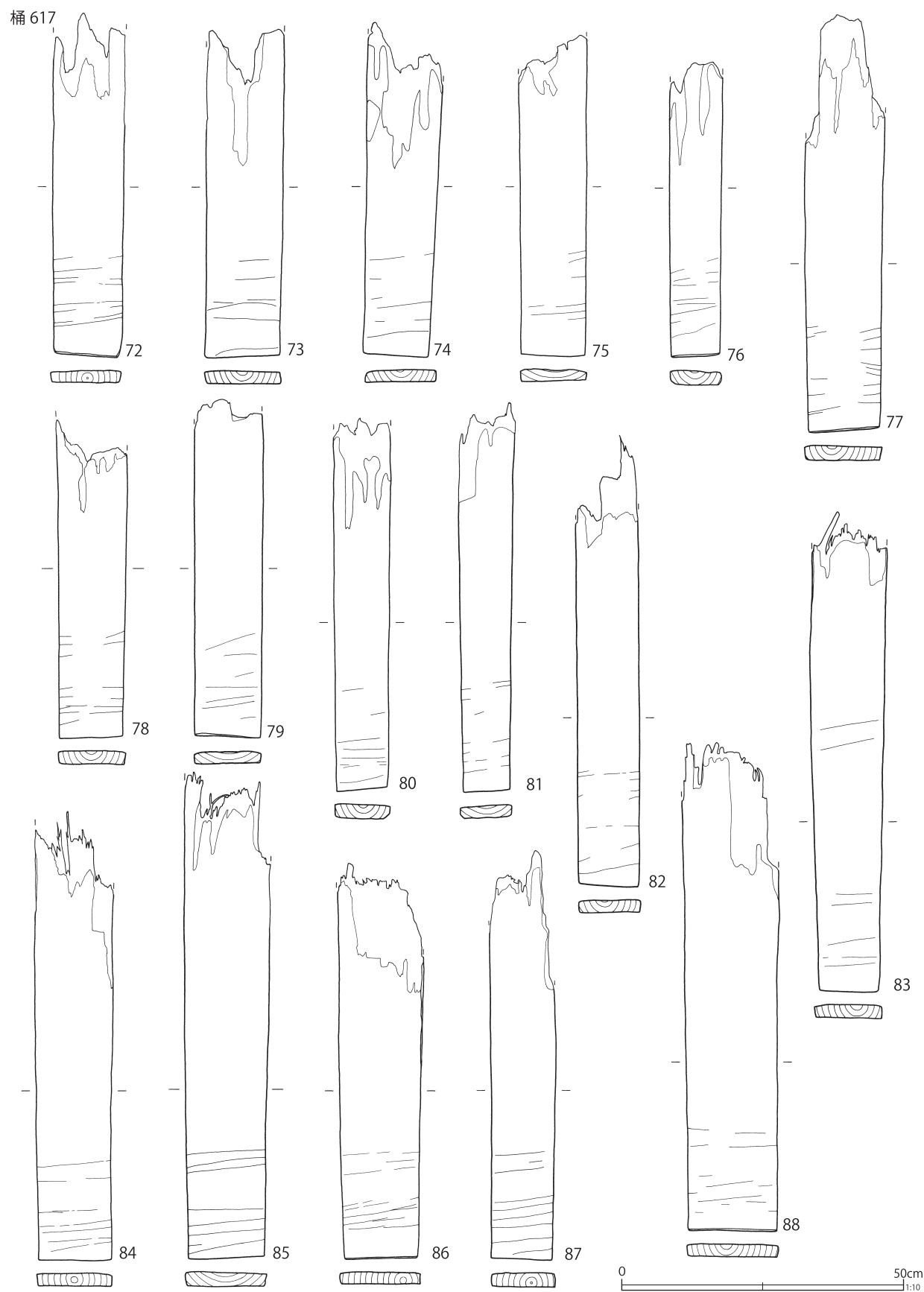


第 76 図 埋設桶出土遺物 (6)

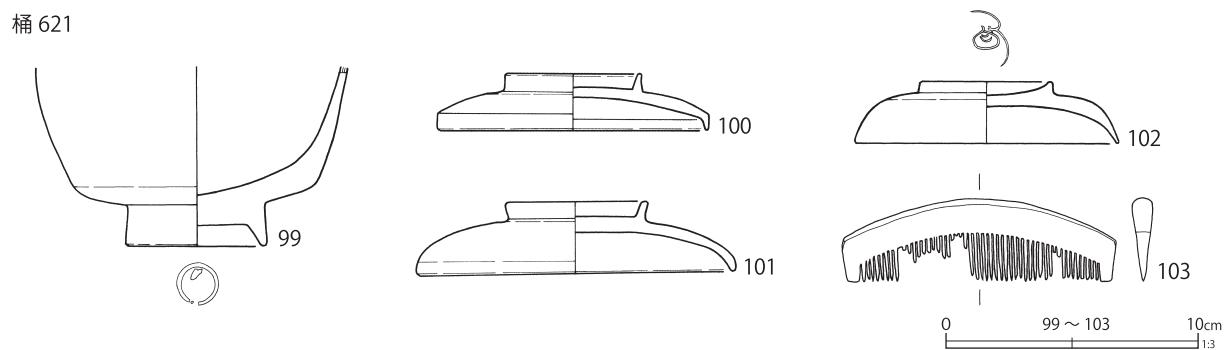
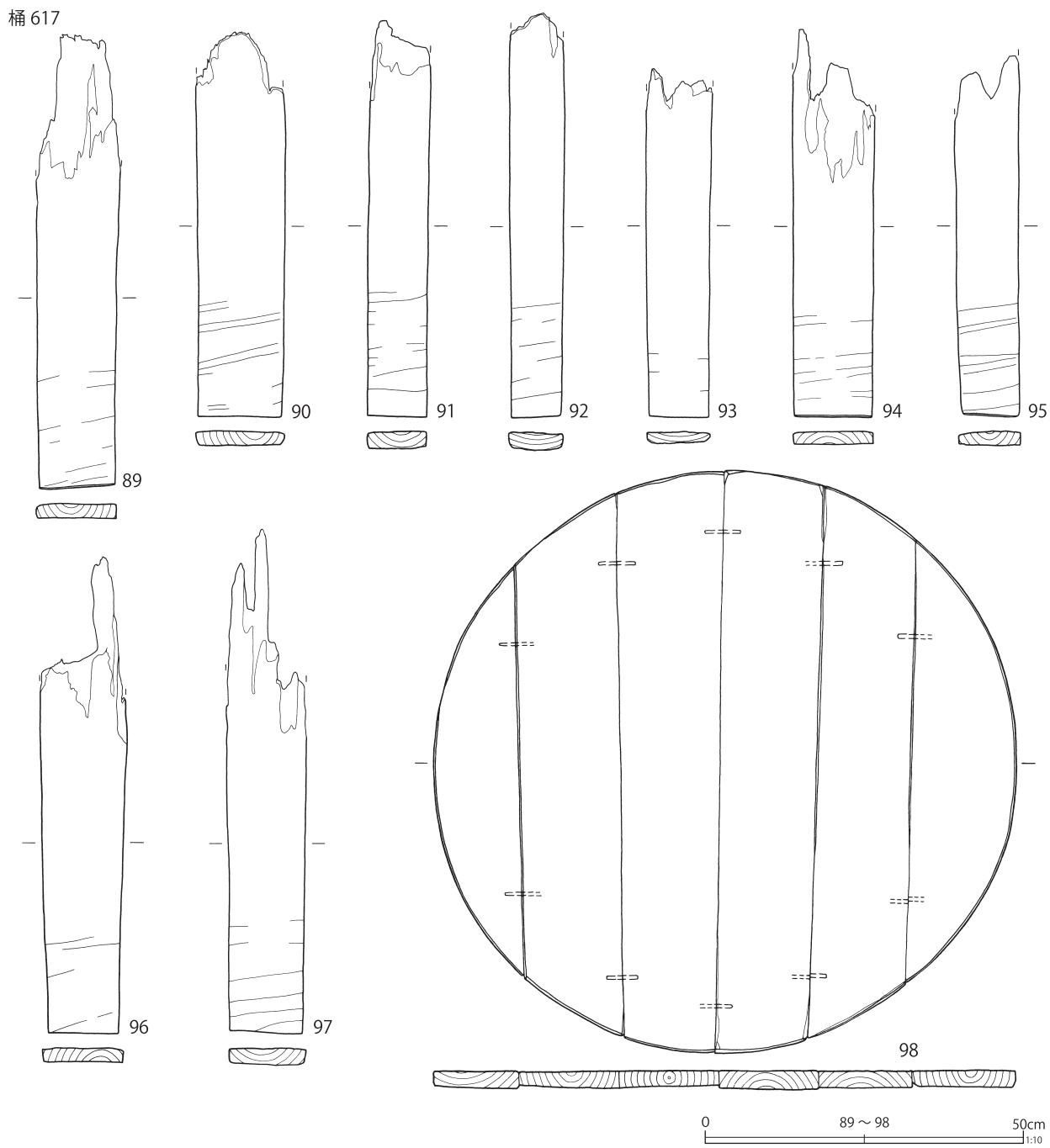
桶 611



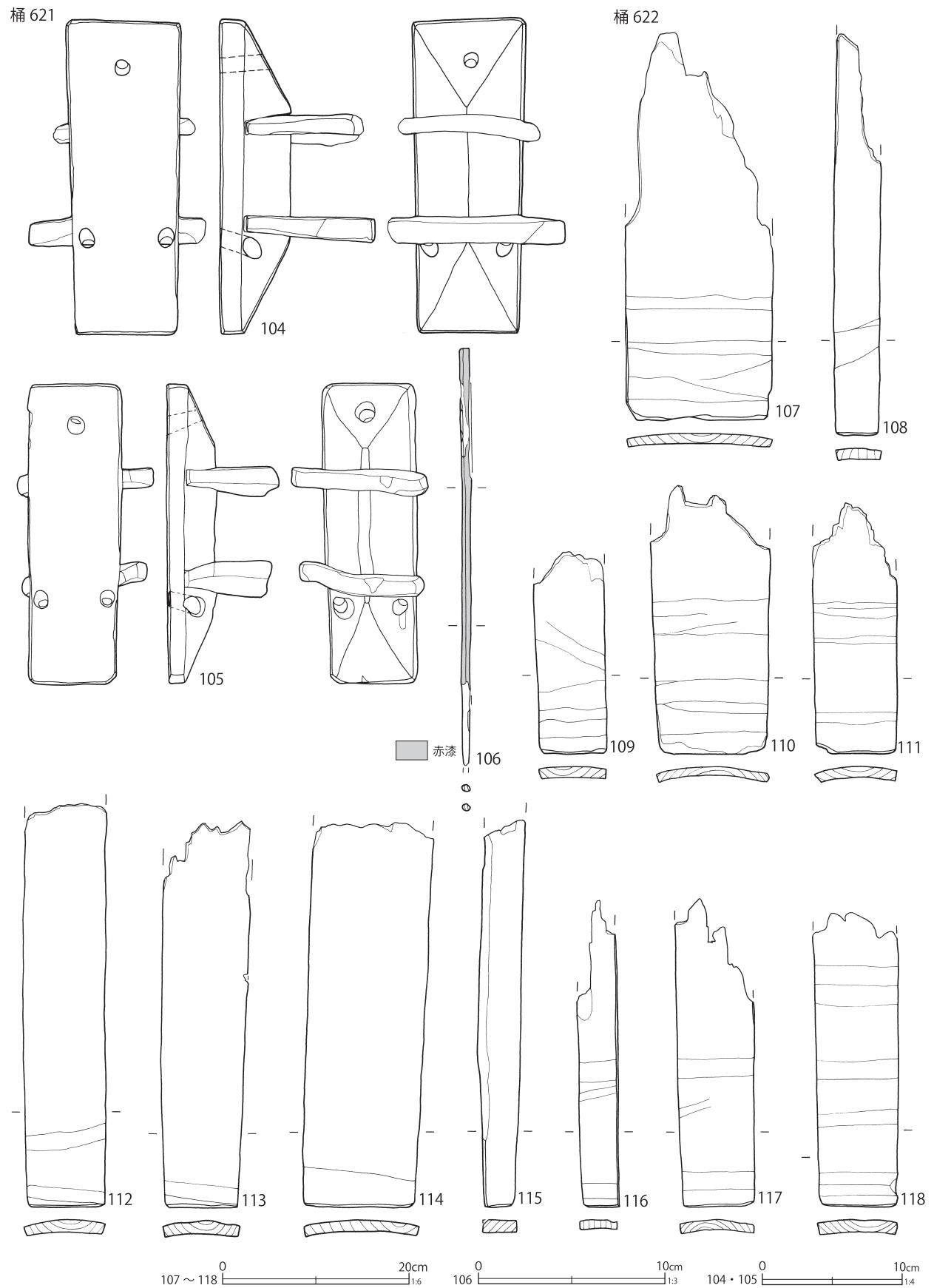
第 77 図 埋設桶出土遺物 (7)



第 78 図 埋設桶出土遺物 (8)

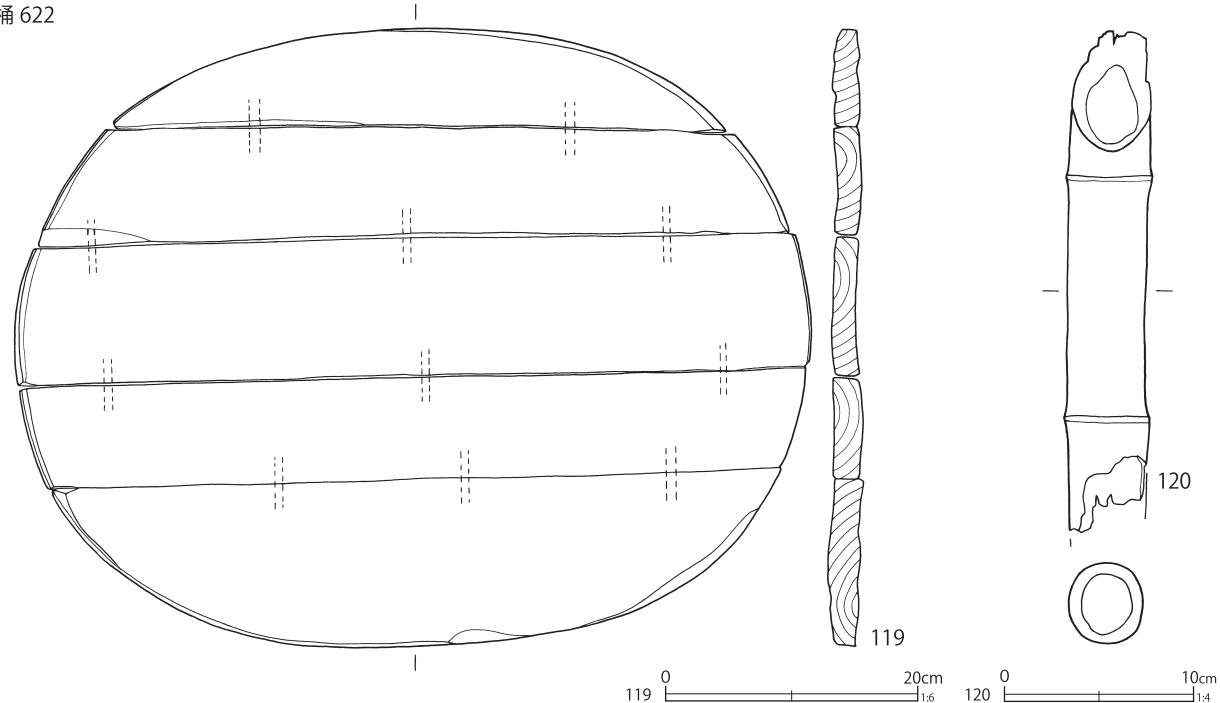


第 79 図 埋設桶出土遺物 (9)



第 80 図 埋設桶出土遺物 (10)

桶 622



第 81 図 埋設桶出土遺物 (11)

第 16 表 埋設桶出土遺物観察表 (2) (第 74 ~ 81 図)

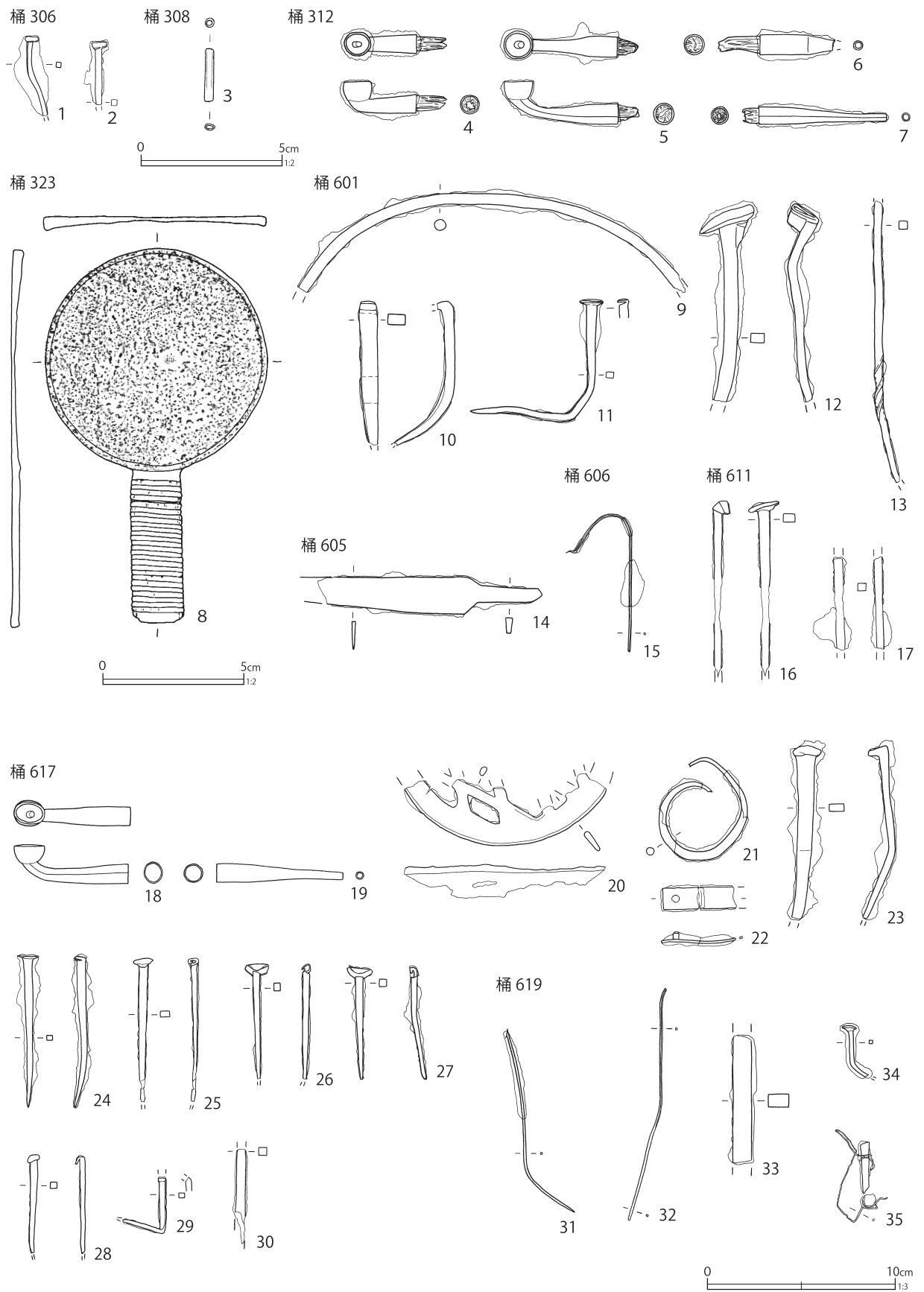
番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径 / 径	高さ	底径	遺構	備考	図版
1	木製品	桶	32.6	5.6	0.9	—	—	—	桶 323	側板	
2	木製品	桶	32.6	8.2	0.9	—	—	—	桶 323	側板	
3	木製品	桶	32.7	4.4	1.1	—	—	—	桶 323	側板	
4	木製品	桶	32.7	9.3	1.0	—	—	—	桶 323	側板	
5	木製品	桶	32.8	4.8	0.6	—	—	—	桶 323	側板	
6	木製品	桶	33.2	6.8	0.6	—	—	—	桶 323	側板	
7	木製品	桶	33.0	4.4	0.8	—	—	—	桶 323	側板	
8	木製品	桶	33.0	10.2	0.9	—	—	—	桶 323	側板	
9	木製品	桶	33.0	3.0	0.8	—	—	—	桶 323	側板	
10	木製品	桶	33.0	9.0	0.8	—	—	—	桶 323	側板	
11	木製品	桶	33.1	6.7	0.8	—	—	—	桶 323	側板	
12	木製品	桶	33.2	3.6	0.9	—	—	—	桶 323	側板	
13	木製品	桶	33.0	4.8	1.2	—	—	—	桶 323	側板	
14	木製品	桶	32.8	6.0	1.2	—	—	—	桶 323	側板	
15	木製品	桶	32.8	4.6	1.2	—	—	—	桶 323	側板	
16	木製品	桶	33.0	8.4	1.3	—	—	—	桶 323	側板	
17	木製品	桶	—	—	2.8	27.2	—	—	桶 323	底板	
18	木製品	膳	[16.8]	[8.9]	0.7	—	—	—	桶 325	表面赤漆 裏面黒漆	
19	木製品	柄	18.7	3.5	1.6	—	—	—	桶 326		101-5
20	木製品	櫛	13.0	4.8	0.9	—	—	—	桶 326	全面炭化	
21	木製品	下駄	21.0	6.2	—	—	2.1	—	桶 604	無眼下駄	
22	木製品	傘	—	—	—	5.8	4.9	—	桶 604	ろくろ 外面黒漆	101-6
23	木製品	桶	—	—	2.2	41.5	—	—	桶 605	底板	
24	木製品	箸	24.8	0.6	0.6	—	—	—	桶 606	黒漆	
25	木製品	箸	[22.4]	0.5	0.6	—	—	—	桶 606	一部炭化	
26	木製品	箸	17.6	0.7	0.8	—	—	—	桶 606		
27	木製品	箸	17.5	0.7	0.6	—	—	—	桶 606		
28	木製品	桶	[41.4]	9.0	1.2	—	—	—	桶 608	側板	
29	木製品	桶	[32.6]	8.8	1.0	—	—	—	桶 608	側板	
30	木製品	桶	[32.4]	11.4	1.0	—	—	—	桶 608	側板	
31	木製品	桶	[30.8]	9.4	1.0	—	—	—	桶 608	側板 瓢残存 裏面白色物付着	

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径 / 径	高さ	底径	遺構	備考	図版
32	木製品	桶	[30.6]	11.4	0.9	—	—	—	桶 608	側板 瓢残存	
33	木製品	桶	[31.8]	6.4	1.2	—	—	—	桶 608	側板	
34	木製品	桶	[31.0]	7.8	0.7	—	—	—	桶 608	側板 裏面白色物付着	
35	木製品	桶	[33.6]	9.0	0.9	—	—	—	桶 608	側板	
36	木製品	桶	[28.8]	8.0	0.9	—	—	—	桶 608	側板 瓢残存	
37	木製品	桶	[28.2]	10.4	1.0	—	—	—	桶 608	側板	
38	木製品	桶	[29.8]	8.8	1.0	—	—	—	桶 608	側板 瓢残存	
39	木製品	桶	[33.0]	8.8	0.9	—	—	—	桶 608	側板 瓢残存 裏面白色物付着	
40	木製品	桶	[29.4]	8.0	1.0	—	—	—	桶 608	側板 瓢残存	
41	木製品	桶	—	—	1.9	32.8	—	—	桶 608	底板 裏面白色物付着	
42	木製品	桶	[63.2]	8.8	1.9	—	—	—	桶 611	側板 裏面炭化	
43	木製品	桶	[64.4]	10.8	2.0	—	—	—	桶 611	側板 裏面炭化	
44	木製品	桶	[57.4]	6.0	1.6	—	—	—	桶 611	側板 表面一部炭化 裏面炭化	
45	木製品	桶	[55.2]	13.4	1.9	—	—	—	桶 611	側板 裏面炭化	
46	木製品	桶	[65.6]	10.2	2.2	—	—	—	桶 611	側板 裏面上部炭化	
47	木製品	桶	[61.0]	12.6	2.2	—	—	—	桶 611	側板 裏面上部炭化	
48	木製品	桶	[58.0]	9.5	2.0	—	—	—	桶 611	側板 裏面炭化	
49	木製品	桶	[57.0]	10.5	2.0	—	—	—	桶 611	側板 裏面炭化	
50	木製品	桶	[55.6]	8.2	2.0	—	—	—	桶 611	側板 裏面炭化	
51	木製品	桶	[56.8]	13.6	2.1	—	—	—	桶 611	側板 裏面炭化	
52	木製品	桶	[57.4]	9.8	2.2	—	—	—	桶 611	側板 表面一部炭化 裏面炭化	
53	木製品	桶	[57.0]	12.6	2.7	—	—	—	桶 611	側板 表面一部炭化 裏面炭化	
54	木製品	桶	[61.6]	12.5	2.2	—	—	—	桶 611	側板 裏面上部炭化	
55	木製品	桶	[64.6]	9.4	2.0	—	—	—	桶 611	側板 表面一部炭化 裏面上部炭化	
56	木製品	桶	[61.0]	7.8	1.9	—	—	—	桶 611	側板 表面一部炭化 裏面炭化	
57	木製品	桶	[66.4]	15.8	2.2	—	—	—	桶 611	側板 表面一部炭化 裏面炭化	
58	木製品	桶	[59.1]	10.0	1.9	—	—	—	桶 611	側板 裏面炭化	
59	木製品	桶	[61.2]	11.6	2.4	—	—	—	桶 611	側板 裏面上部炭化	
60	木製品	桶	[60.0]	12.2	2.0	—	—	—	桶 611	側板 表面一部炭化 裏面炭化	
61	木製品	桶	[60.0]	10.8	1.6	—	—	—	桶 611	側板 裏面炭化	
62	木製品	桶	[62.6]	10.6	2.0	—	—	—	桶 611	側板 表面一部炭化 裏面炭化	
63	木製品	桶	[58.2]	13.0	2.2	—	—	—	桶 611	側板 裏面炭化	
64	木製品	桶	[59.8]	8.7	2.0	—	—	—	桶 611	側板 裏面炭化	
65	木製品	桶	[62.0]	12.4	2.2	—	—	—	桶 611	側板 裏面炭化	
66	木製品	桶	[57.8]	5.7	2.2	—	—	—	桶 611	側板 裏面上部炭化	
67	木製品	桶	—	—	3.4	83.2	—	—	桶 611	底板	
68	木製品	膳か	[42.4]	[23.6]	1.3	—	—	—	桶 611	表裏面赤漆 黒漆で文様 一部炭化	101-7
69	木製品	膳か	[32.4]	[14.0]	1.1	—	—	—	桶 611	表裏面赤漆 黒漆で文様 一部炭化	
70	木製品	膳か	[19.7]	[7.3]	1.3	—	—	—	桶 611	表裏面赤漆 黒漆で文様 一部炭化 接着痕	
71	木製品	膳か	[34.4]	[5.3]	1.1	—	—	—	桶 611	表裏面赤漆 一部炭化 接着痕	
72	木製品	桶	[60.2]	12.6	2.2	—	—	—	桶 617	側板	
73	木製品	桶	[58.0]	13.4	2.2	—	—	—	桶 617	側板	
74	木製品	桶	[59.0]	13.4	2.1	—	—	—	桶 617	側板	
75	木製品	桶	[57.0]	12.0	2.2	—	—	—	桶 617	側板	
76	木製品	桶	[52.2]	9.1	2.6	—	—	—	桶 617	側板	
77	木製品	桶	[74.0]	14.0	2.6	—	—	—	桶 617	側板	
78	木製品	桶	[56.4]	12.4	2.3	—	—	—	桶 617	側板	
79	木製品	桶	[60.0]	12.0	2.1	—	—	—	桶 617	側板	
80	木製品	桶	[65.6]	10.0	2.6	—	—	—	桶 617	側板	
81	木製品	桶	[69.0]	9.6	2.2	—	—	—	桶 617	側板	
82	木製品	桶	[80.4]	10.9	2.2	—	—	—	桶 617	側板	
83	木製品	桶	[85.0]	13.0	2.4	—	—	—	桶 617	側板	
84	木製品	桶	[79.6]	13.6	2.2	—	—	—	桶 617	側板	
85	木製品	桶	[86.2]	15.2	2.5	—	—	—	桶 617	側板	
86	木製品	桶	[70.6]	14.8	2.2	—	—	—	桶 617	側板	
87	木製品	桶	[72.6]	11.4	2.5	—	—	—	桶 617	側板	

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径 / 径	高さ	底径	遺構	備考	図版
88	木製品	桶	[86.4]	16.6	2.3	—	—	—	桶 617	側板	
89	木製品	桶	[71.4]	13.2	2.2	—	—	—	桶 617	側板	
90	木製品	桶	[60.6]	13.8	2.1	—	—	—	桶 617	側板	
91	木製品	桶	[62.2]	9.4	2.7	—	—	—	桶 617	側板	
92	木製品	桶	[63.6]	8.6	2.7	—	—	—	桶 617	側板	
93	木製品	桶	[54.6]	10.2	1.8	—	—	—	桶 617	側板	
94	木製品	桶	[60.1]	12.8	2.1	—	—	—	桶 617	側板	
95	木製品	桶	[56.6]	10.0	2.3	—	—	—	桶 617	側板	
96	木製品	桶	[75.0]	13.4	3.0	—	—	—	桶 617	側板	
97	木製品	桶	[79.4]	12.4	2.5	—	—	—	桶 617	側板	
98	木製品	桶	—	—	2.8	91.0	—	—	桶 617	底板 木釘上下 2 段	
99	木製品	漆椀	—	—	—	—	[7.1]	5.2	桶 621	内外面赤漆 高台内文字	
100	木製品	漆椀蓋	—	つまみ径 (5.2)		10.5	2.2	—	桶 621	内外面赤漆 口縁部・つまみ縁黒漆 歪み大	101-8
101	木製品	漆椀蓋	—	つまみ径 (5.4)		12.4	2.8	—	桶 621	内外面赤漆 外面黒漆	101-9
102	木製品	漆椀蓋	—	つまみ径 (4.9)		10.3	2.4	—	桶 621	内外面赤漆 つまみ内文様	101-10
103	木製品	櫛	10.7	3.2	0.8	—	—	—	桶 621		101-11
104	木製品	下駄	22.4	8.0	—	—	11.0	—	桶 621	陰卯下駄	101-12
105	木製品	下駄	21.4	6.7	—	—	8.0	—	桶 621	陰卯下駄	
106	木製品	箸	[22.2]	0.5	0.4	—	—	—	桶 621	赤漆	
107	木製品	桶	[41.4]	15.7	1.2	—	—	—	桶 622	側板	
108	木製品	桶	[42.6]	4.9	1.1	—	—	—	桶 622	側板	
109	木製品	桶	[21.3]	7.4	1.2	—	—	—	桶 622	側板	
110	木製品	桶	[28.4]	12.6	1.1	—	—	—	桶 622	側板	
111	木製品	桶	[26.6]	8.9	1.2	—	—	—	桶 622	側板	
112	木製品	桶	[43.0]	8.6	1.3	—	—	—	桶 622	側板	
113	木製品	桶	[41.2]	9.3	1.3	—	—	—	桶 622	側板	
114	木製品	桶	[40.9]	12.8	1.2	—	—	—	桶 622	側板	
115	木製品	桶	[41.2]	4.4	1.3	—	—	—	桶 622	側板	
116	木製品	桶	[32.7]	4.3	0.9	—	—	—	桶 622	側板	
117	木製品	桶	[32.7]	8.2	1.1	—	—	—	桶 622	側板	
118	木製品	桶	[31.2]	9.0	1.3	—	—	—	桶 622	側板	
119	木製品	桶	62.6	48.4	2.6	—	—	—	桶 622	底板	
120	木製品	竹材	[26.5]	4.5	4.3	—	—	—	桶 622		

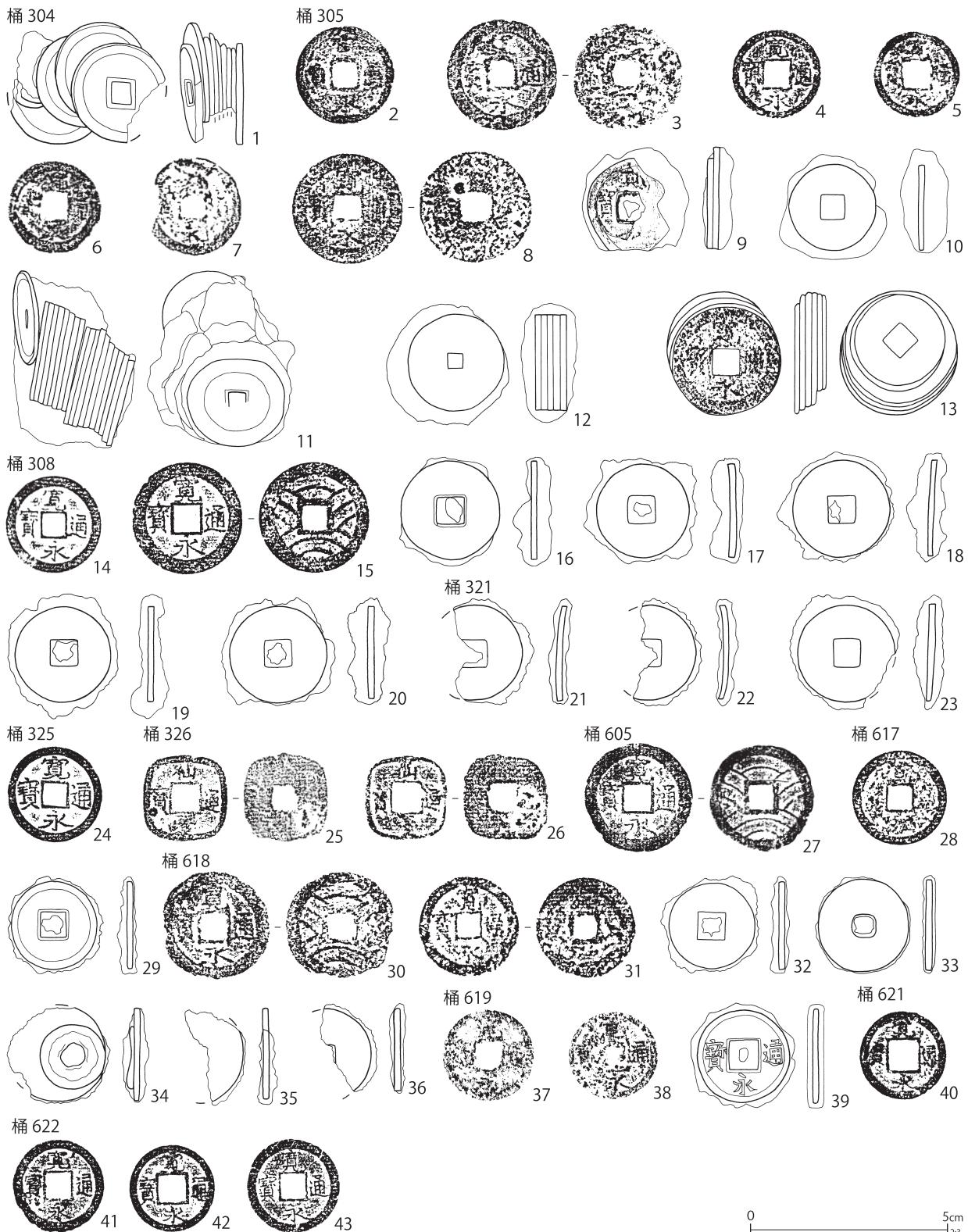
第17表 埋設桶出土遺物観察表（3）（第82図）

番号	種別	器種	法量					遺構	備考	図版
1	鉄製品	釘	長 [4.2]	幅 0.2	厚 0.3	重 4.9		桶 306		
2	鉄製品	釘	長 [3.3]	幅 0.3	厚 0.3	重 2.9		桶 306		
3	銅製品	不明	長 1.9	幅 0.3	厚 0.3	重 0.4		桶 308	銅管	108-2
4	銅製品	煙管	長 3.8	火皿縦 1.3	横 1.4	小口径 1.0 重 10.7		桶 312	雁首 羅字残存	
5	銅製品	煙管	長 6.0	火皿径 1.5	小口径 1.1	重 13.4		桶 312	雁首 義字残存	109-2
6	銅製品	煙管	長 [3.9]	小口径 1.1	口付径 0.5	重 8.4		桶 312	吸口 義字残存	
7	銅製品	煙管	長 6.8	小口径 0.9	口付径 0.4	重 7.1		桶 312	吸口 義字残存	
8	銅製品	柄鏡	長 13.3	鏡面径 7.8	厚 (中央) 0.1	柄 幅 1.8 厚 0.3		桶 323	柄巻 (幅約 2mm) 残 鏡式不明	110-5
9	鉄製品	把手	縦 [5.2]	横 [20.6]	厚 0.6	重 40.2		桶 601		
10	鉄製品	釘	長 [7.5]	幅 1.0	厚 0.5	重 18.2		桶 601		
11	鉄製品	釘	長 7.1	幅 0.4	厚 0.3	重 11.1		桶 601		
12	鉄製品	釘	長 [10.3]	幅 0.7	厚 0.5	重 27.7		桶 601		108-1
13	鉄製品	不明	長 [14.8]	幅 0.5	厚 0.5	重 16.0		桶 601		
14	鉄製品	刀子	長 [11.9]	刃長 [7.8]	刃幅 1.5	背幅 0.2 重 18.0		桶 605		108-1
15	銅製品	簪	長 7.3	厚 0.1	重 4.0			桶 606		108-2
16	鉄製品	釘	長 [9.3]	幅 0.6	厚 0.4	重 6.7		桶 611		
17	鉄製品	釘	長 [4.9]	幅 0.5	厚 0.4	重 5.5		桶 611		
18	銅製品	煙管	長 6.1	火皿縦 1.8	横 1.6	小口径最大 1.1 重 10.4		桶 617	雁首	109-2
19	銅製品	煙管	長 6.7	小口径 1.0	口付径 0.4	重 5.4		桶 617	吸口	109-2
20	鉄製品	火格子	縦 [3.8]	横 [10.7]	厚 0.35	重 26.7		桶 617		108-1
21	鉄製品	不明	縦 [5.4]	横 [4.7]	厚 0.4	重 17.5		桶 617		



第 82 図 埋設桶出土遺物 (12)

番号	種別	器種	法量	遺構	備考	図版
22	鉄製品	不明	縦 [3.9] 横 1.1 厚 0.1 重 5.0	桶 617		
23	鉄製品	釘	長 [9.1] 幅 0.8 厚 0.4 重 21.2	桶 617		
24	鉄製品	釘	長 8.0 幅 0.3 厚 0.3 重 8.0	桶 617		
25	鉄製品	釘	長 [7.6] 幅 0.5 厚 0.3 重 4.6	桶 617		

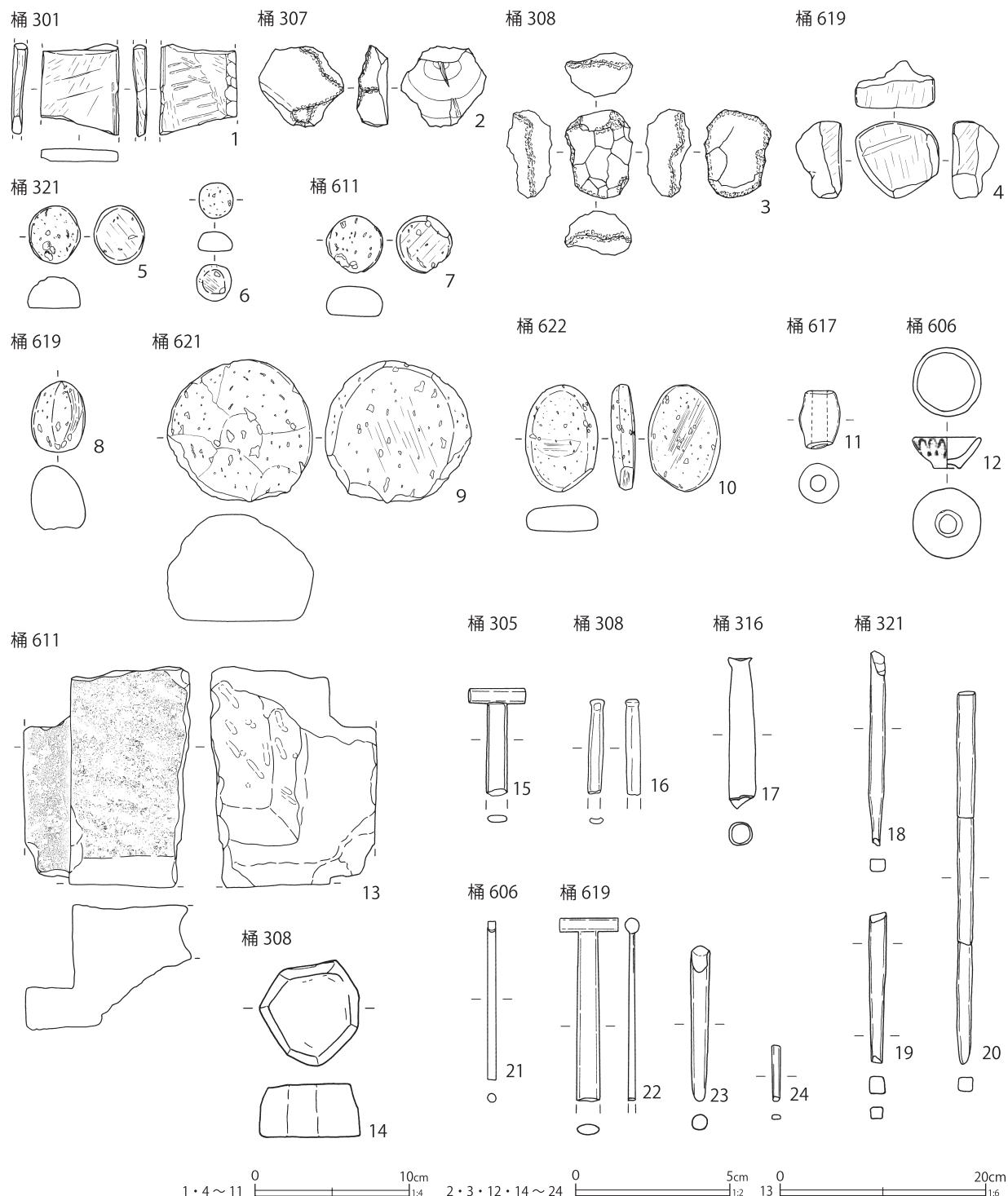


第 83 図 埋設桶出土遺物 (13)

番号	種別	器種	法量	遺構	備考	図版
26	鉄製品	釘	長 [6.1] 幅 0.4 厚 0.45 重 4.0	桶 617		
27	鉄製品	釘	長 5.9 幅 0.4 厚 0.4 重 3.2	桶 617		
28	鉄製品	釘	長 5.2 幅 0.35 厚 0.35 重 2.1	桶 617		
29	鉄製品	釘	長 [3.0] 幅 0.3 厚 0.3 重 2.3	桶 617		
30	鉄製品	釘	長 [4.9] 幅 0.45 厚 0.45 重 2.8	桶 617		
31	銅製品	簪	長 9.5 厚 0.1 重 3.1	桶 619		
32	銅製品	簪	長 12.2 厚 0.1 重 2.1	桶 619		
33	鉄製品	釘	長 [6.7] 幅 1.1 厚 0.7 重 31.0	桶 619		108-1
34	鉄製品	釘	長 [2.6] 幅 0.2 厚 0.2 重 1.3	桶 619		
35	鉄製品	不明	縦 [4.9] 横 [2.7] 厚 0.1 重 2.9	桶 619	銅製の針金が巻付く	

第18表 埋設桶出土遺物観察表(4)(第83図)

番号	種別	器種	法量	遺構	備考	図版
1	鉄製品	錢貨	縦 30.6 橫 39.3 厚 16.0 重 12.2	桶 304	鉄錢 5 枚 銅錢 4 枚	
2	銅製品	錢貨	径 25.1 厚 1.44 重 3.1	桶 305	寛永通宝	
3	銅製品	錢貨	径 28.0 厚 1.6 重 4.1	桶 305	寛永通宝 四文錢	
4	銅製品	錢貨	径 22.5 厚 0.82 重 1.7	桶 305	寛永通宝(新)	
5	銅製品	錢貨	径 21.7 厚 1.0 重 1.9	桶 305	寛永通宝(新)	
6	銅製品	錢貨	径 23.4 厚 1.1 重 2.0	桶 305	寛永通宝(新)	
7	銅製品	錢貨	径 25.3 厚 2.1 重 3.4	桶 305	寛永通宝(古)	
8	銅製品	錢貨	径 32.0 厚 9.0 重 29.1	桶 305	寛永通宝 四文錢	
9	鉄製品	錢貨	縦 26.4 橫 22.6 厚 3.0 重 7.0	桶 305	寛永通宝 鉄錢 2 枚	
10	鉄製品	錢貨	径 22.1 厚 1.7 重 6.9	桶 305	寛永通宝か	
11	鉄製品	錢貨	縦 45.0 橫 38.2 厚 31.6 重 58.9	桶 305	鉄錢 10 枚 銅錢 9 枚	
12	鉄製品	錢貨	縦 31.0 橫 31.2 厚 14.3 重 17.6	桶 305	鉄錢 5 枚	
13	銅製品	錢貨	縦 31.4 橫 29.1 厚 8.5 重 29.1	桶 305	寛永通宝 銅錢 6 枚	
14	銅製品	錢貨	径 24.7 厚 1.1 重 3.0	桶 308	寛永通宝(新)	
15	銅製品	錢貨	径 28.3 厚 1.3 重 4.1	桶 308	寛永通宝 四文錢(裏波)	
16	鉄製品	錢貨	径 25.2 厚 1.7 重 4.9	桶 308	寛永通宝か	
17	鉄製品	錢貨	径 23.7 厚 1.8 重 5.9	桶 308	寛永通宝か	
18	鉄製品	錢貨	径 24.6 厚 1.7 重 5.1	桶 308	寛永通宝か	
19	鉄製品	錢貨	径 24.6 厚 1.7 重 5.7	桶 308	寛永通宝か	
20	鉄製品	錢貨	径 24.8 厚 1.7 重 5.9	桶 308	寛永通宝か	
21	鉄製品	錢貨	径 24.4 厚 1.7 重 2.9	桶 321	寛永通宝か	
22	鉄製品	錢貨	径 24.3 厚 1.4 重 1.7	桶 321	寛永通宝か	
23	鉄製品	錢貨	径 24.6 厚 1.8 重 4.4	桶 321	寛永通宝か	
24	銅製品	錢貨	径 24.1 厚 1.1 重 3.2	桶 325	寛永通宝(古)	
25	鉄製品	錢貨	縦 22.9 橫 21.7 厚 1.7 重 2.2	桶 326	仙臺通宝 四角形 突起あり	110-9
26	鉄製品	錢貨	縦 21.4 橫 22.2 厚 1.7 重 2.4	桶 326	仙臺通宝 四角形 突起あり	110-9
27	銅製品	錢貨	径 28.1 厚 1.0 重 3.0	桶 605	寛永通宝 四文錢(裏波)	
28	銅製品	錢貨	径 24.1 厚 1.3 重 3.4	桶 617	寛永通宝	
29	鉄製品	錢貨	径 22.0 厚 1.5 重 4.1	桶 617	寛永通宝か	
30	銅製品	錢貨	径 27.8 厚 1.2 重 3.3	桶 618	寛永通宝 四文錢(裏波)	
31	銅製品	錢貨	径 25.5 厚 1.8 重 3.4	桶 618	寛永通宝(新)	
32	鉄製品	錢貨	径 22.0 厚 1.6 重 2.4	桶 618	寛永通宝か	
33	銅製品	錢貨	径 23.3 厚 1.5 重 3.9	桶 618	寛永通宝か	
34	金属製品	錢貨	鉄: 径 25.0 厚 1.5 銅: 径 16.3 厚 1.3	桶 618	寛永通宝(鉄錢)1枚 雁首錢(銅錢)1枚 計 2.6g	
35	鉄製品	錢貨	縦 23.2 橫 15.0 厚 1.5 重 0.9	桶 618	寛永通宝か	
36	鉄製品	錢貨	縦 21.0 橫 13.0 厚 1.5 重 1.2	桶 618	寛永通宝か	
37	鉄製品	錢貨	径 23.3 厚 1.3 重 2.7	桶 619	寛永通宝か	
38	鉄製品	錢貨	径 22.3 厚 1.0 重 2.9	桶 619	寛永通宝か	
39	鉄製品	錢貨	径 23.6 厚 1.3 重 4.6	桶 619	寛永通宝か	
40	銅製品	錢貨	径 22.5 厚 0.9 重 1.9	桶 621	寛永通宝(新)	
41	銅製品	錢貨	径 23.4 厚 1.4 重 2.9	桶 622	寛永通宝(新)	
42	銅製品	錢貨	径 22.0 厚 0.8 重 1.8	桶 622	寛永通宝(新)	
43	銅製品	錢貨	径 23.7 厚 0.8 重 1.8	桶 622	寛永通宝(新)	



第 84 図 埋設桶出土遺物 (14)

第 19 表 埋設桶出土遺物観察表 (5) (第 84 図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	重さ	石材	遺構	備考	図版
1	石製品	砥石	[6.0]	4.9	0.9	41.1	流紋岩	桶 301	裏面に幅広工具痕	111-2
2	石製品	火打石	2.6	2.8	1.0	7.9	玉髓	桶 307	再生剥片 再生後使用無し	111-2
3	石製品	火打石	2.8	2.2	1.3	9.2	玉髓(瑪瑙カ)	桶 308	全周+正面一部使用潰れ	111-2
4	石製品	砥石	5.0	5.4	3.0	69.8	礫岩	桶 619	1面と周囲ほぼ3/4面を使用 完存	111-2
5	石製品	磨石	3.8	3.3	2.0	13.4	角閃石デイサイト	桶 321	擦痕あり	111-1
6	石製品	磨石	2.4	2.2	1.2	4	角閃石デイサイト	桶 321	擦痕あり	111-1

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	重さ	石材	遺構	備考	図版
7	石製品	磨石	3.7	3.6	2.0	12.9	角閃石デイサイト	桶 611	擦痕あり	111-1
8	石製品	磨石	4.6	3.5	4.1	26.7	角閃石デイサイト	桶 619	一部擦痕	111-1
9	石製品	磨石	[9.2]	9.5	6.9	259.6	角閃石デイサイト	桶 621	擦痕あり	111-1
10	石製品	磨石	7.9	4.8	1.7	38.2	角閃石デイサイト	桶 622	擦痕あり	111-1
11	土製品	土錘	長 3.7	最大径 2.5		19.7	—	桶 617	管状土錘	114-3
12	磁器	壺	口径 2.2	底径 0.9	高 1.0	2.7	—	桶 606	紅壺 施釉 外面施文	
13	石製品	切石材	[21.7]	[16.4]	12.2	3101	凝灰岩	桶 611	大谷石 下面えぐる・工具痕	111-6
14	瓦	転用品	径 3.4	厚 1.65		16.9	—	桶 308	周囲叩打	114-3
15	硝子製品	笄	[3.5]	0.4	0.2	2	—	桶 305	中実 有色 表面風化	114-5
16	硝子製品	笄	[3.1]	4.0	0.2	0.7	—	桶 308	中実 風化している 濃緑色	114-5
17	硝子製品	笄	4.9	0.8	0.8	2.8	—	桶 316	中空 管状 表面風化 断面円形	114-5
18	硝子製品	笄	[6.3]	0.5	0.4	3.6	—	桶 321	中実 黄色 断面方形	114-5
19	硝子製品	笄	[4.9]	0.5	0.4	3.5	—	桶 321	中実 表面風化 下が細い 断面方形	114-5
20	硝子製品	笄	[12.0]	0.5	0.5	8.5	—	桶 321	中実 表面風化 断面方形 三分断	114-5
21	硝子製品	笄	[5.1]	0.3	0.3	1.2	—	桶 606	中実 先端に加工痕有 透明 断面円形	114-5
22	硝子製品	笄	[5.9]	1.9	0.5	4.5	—	桶 619	中実 棒状部は中央部で幅 0.7 厚 0.3	114-5
23	硝子製品	笄	[5.0]	0.5	0.5	3.6	—	桶 619	中実 半透明 断面円形	114-5
24	硝子製品	笄	[1.8]	0.3	0.2	0.3	—	桶 619	透明 下部僅かに細くなる 断面ほぼ方形	114-5

(5) 埋設甕

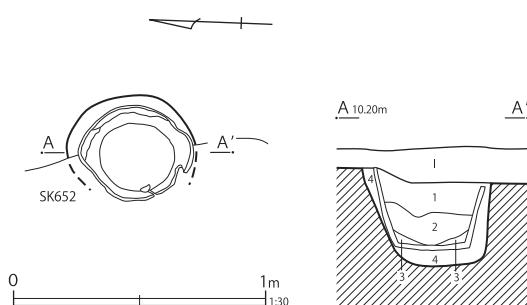
埋設甕（埋甕）は1基のみの検出である。

第601号埋設甕（第85図）

D 6-A 9 グリッドに位置する。第652号土壌の調査中に、壁面に露出したため遺構の存在が明らかになった。従って、遺構確認面では第652号土壌との新旧関係は確認できていない。土器側面が破壊されていることや、土層断面から、第652号土壌より古い遺構と認識される。周辺（第223

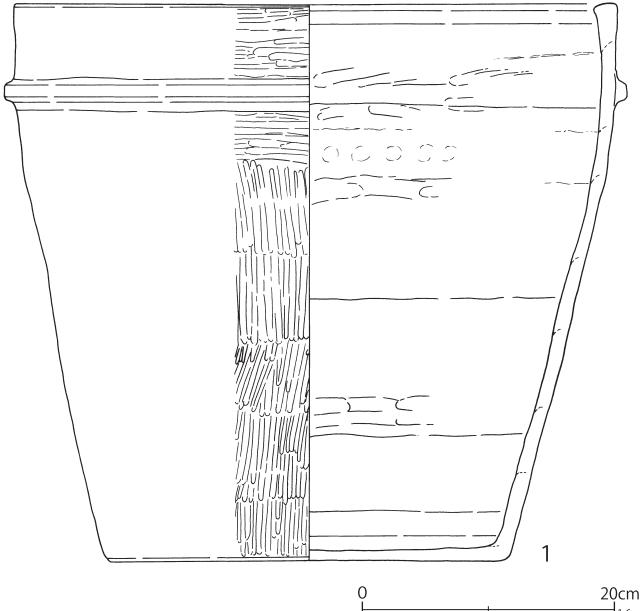
図）は広範囲に焼土の堆積が認められ、火災痕跡とみられるが、埋設甕はその層に覆われていた。従って、火災に先行する遺構と考えられるが、土器そのものに被熱は認められなかった。掘方は径0.46m、深さ0.33mで、その中に大型の瓦質土器が埋設されていた。瓦質土器は外面に幅広いミガキを伴い、上部に突帯が巡る。焼成はやや甘い。内面器壁には付着物が顕著であった。このことから、便槽や肥溜め等の用途が想定される。

埋設甕 601



第 601 号埋設甕

- | | | |
|----------|---|---------|
| 1 赤褐色土主層 | 焼土ブロック ($\phi 5 \text{ cm}$ 程) | 炭化物ブロック |
| | ($\phi 3 \sim 4 \text{ cm}$) 30% 含む | |
| 1 黒褐色土 | 炭化物ブロック ($\phi 2 \sim 3 \text{ mm}$) 多量 | |
| | しまり・粘性あり | |
| 2 黄褐色砂質土 | 下位に炭化物 ($\phi 1 \sim 2 \text{ cm}$) 少量 | |
| 3 灰黒色土 | 炭化物 ($\phi 7 \sim 8 \text{ mm}$) 混入 | しまり強 |
| 4 黄褐色砂 | 鉄分粒・焼土粒少量 | (掘方) |



第 85 図 第 601 号埋設甕

第20表 第601号埋設甕出土遺物観察表（第85図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	瓦質土器	甕	(47.9)	(44.5)	31.8	CFHK	60	普通	灰	埋設甕 601	底部シワ状痕 外面ミガキ 内面模状の遺存物 燻す	

（6）井戸跡

井戸跡は6基が検出された。位置、規模等の基本的な情報は第21表に、遺構図は第86～88図にまとめた。

第301号井戸跡（第86図）

C 6-G 5 グリッドに位置する昭和前期の井戸跡である。第303号建物跡と第512号土壙を壊している。時期が新しいので、平面・断面図と、掘方から出土した近世の陶器（第89図1）のみ示す。

第302号井戸跡（第86図）

C 6-G 6 グリッドに位置する。井戸枠に桶を重ねる掘井戸と考えられるが、桶材は最下段のみの遺存であった。ただし、中段以上にも桶のタガのみ遺存しているのが確認され、断面図では、それを見通しで図示した。上段の桶は引き抜かれ、「息抜き」状に竹筒を刺して埋め戻している。第89図2に示した磁器から、19世紀後葉に埋没したと考えられる。

第306号井戸跡（第86図）

C 6-I 7、J 7 グリッドに位置する。掘方内に高さ180cm程の樽を正立させ、その外側には湧水層まで達する筒を立てる。筒を通った水が、樽側面に開けられた孔から、桶内に入水する仕組みになっている。筒は鉄製で竹で覆っている。樽下部にはタール状物質が付着していた。第89図4～11は出土した陶磁器類である。18世紀以前のものが多いが、7・8の磁器から、19世紀後半以降

の廃絶と考えられる。9は織部志野の皿、10は内面に菊花文をスタンプする志野輪禿皿で、ともに17世紀代の遺物である。第91図には木製品下駄と石製品砥石を示す。

第308号井戸跡（第87図）

D 6-B 8 グリッドに位置する。桶を三段重ねた構造の井戸である。調査区際で、安全性の制約があり、最下段の桶より下は調査ができなかった。

覆土上層よりやや下に瓦類、漆喰が多く含まれていた。漆喰の中に瓦を埋め込んだもの（第90図2・3）は、鬼瓦を包む「影盛」部分と考えられる。出土陶磁器（第89図12～15）には、青の上絵付けが施された大振りの薄手磁器坏（13）があり、19世紀中葉の様相を示す。第92図7には金属製品の火格子（目皿）を示した。

第309号井戸跡（第87図）

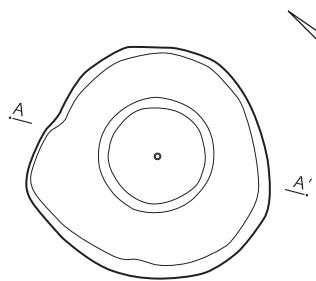
D 6-B 8・9 グリッドに位置する。桶ないし樽を二段以上重ねる構造である。下段側板の側面（他の側板との合わせ目）に墨痕が認められた。

下段下部の底板には孔があり、そこに竹筒を通す。竹筒は、筒状の木材（中心を割り抜いた半円筒形木材を合わせたものが金属のタガで締められている）で覆われており、底板の孔の上面には、やはり中央に孔が開いた隅切形方形板材（厚3cm）を当て、四周に止め釘を打って底板に固定される。孔部分に竹筒を通すが、底板との隙間は棕櫚繩が充填されていた。この竹筒の先端は朽ちて

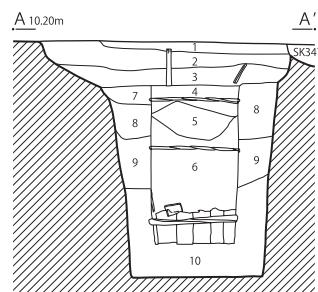
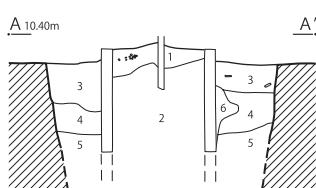
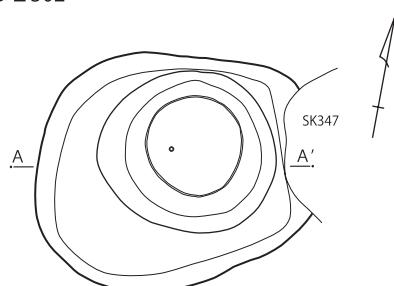
第21表 第一面井戸跡一覧表 単位：m

番号	グリッド	外径	高さ	内径	深さ	掘方径	深さ	備考
301	C6-G5	0.90	(0.80)	0.73	(0.85)	1.80	(0.60)	コンクリート枠側面に「□和拾年 / □□拾四日」銘
302	C6-G6	0.74	1.26	—	1.26	1.40	1.75	SK347より古
306	C6-I7, J7	0.85	1.83	0.76	(1.69)	3.39	(2.10)	SB601より新
308	D6-B8	0.63	(1.40)	0.57	(1.40)	0.90	(1.42)	深さは掘削可能範囲 内径は2段目0.58m 3段目0.54m
309	D6-B8	0.69	1.82	0.62	1.71	1.82	1.92	下段側板外側長149cm 内側長141.5cm 厚5cm
310	C6-J9, D6-A9	0.62	1.55	0.72	(2.26)	4.06	(2.30)	SK661より古 第二面SE313重複 深さは掘削可能範囲

SE 301



SE 302



※タガと側板は見通して図示

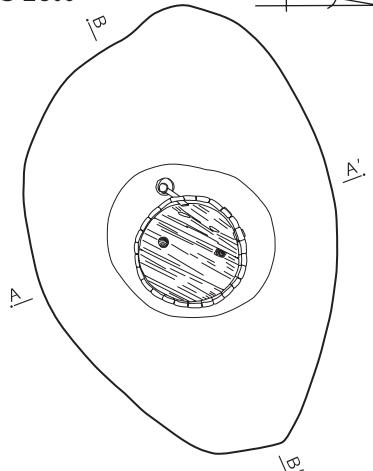
第301号井戸跡

- | | |
|------------|-----------------|
| 1 砂混じりの褐色土 | 井戸を埋めた際の土 |
| 2 暗褐色土 | 井戸を埋めた際の土 |
| 3 暗褐色土 | 灯明皿他混入（掘方） |
| 4 灰黄褐色土 | 粘土等の小ブロック混入（掘方） |
| 5 黒灰色土 | 粘土等の小ブロック混入（掘方） |
| 6 黄色粘土ブロック | （掘方） |

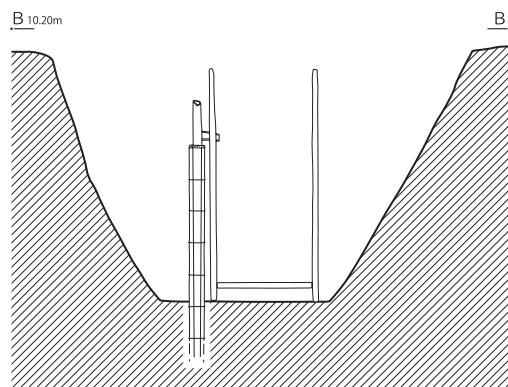
第302号井戸跡

- | | |
|-------------------|-----------------------------|
| 1 暗褐色土 | 焼けた壁土ブロック多量 しまり強 |
| 2 暗黄褐色土 | シルトブロック混入 小礫多量 しまり強 |
| 3 暗褐色土 | 焼土（φ5～10mm）微量 中央に竹筒検出 |
| 4 灰黄褐色土 | シルト混入 鉄分多量 竹筒はこの層まで達する しまり強 |
| 5 褐灰色土 | シルト混入 遺物の出土はほとんどない 粘性弱 |
| 6 灰黒色土 | 水分多し 遺物の出土はほとんどない 粘性あり |
| 7 焼土（φ2～3cm）混じりの層 | 瓦等混じる |
| 8 灰黄色粘土 | |
| 9 黑褐色土 | |
| 10 灰褐色粘土 | |

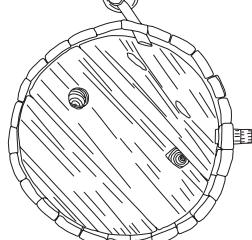
SE 306



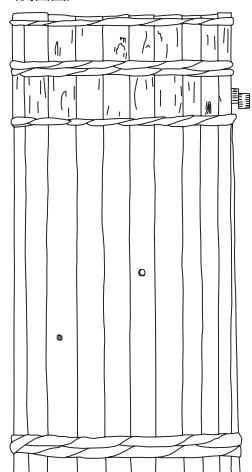
B 10.20m



(平面図)



(側面図)



0

2m
1:60

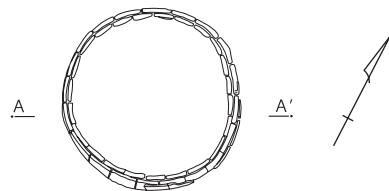
第306号井戸跡

- | | |
|--------|---|
| 1 暗灰色土 | シルト混入 炭化物（φ1～5mm）・酸化鉄含む
しまりなし 粘性あり |
| 2 灰色土 | シルトを主体に細砂を多く混じる 炭化物（φ2～3mm）微量 暗灰色シルト・酸化鉄混入 |
| 3 黒灰色土 | 灰色シルト混入 炭化物（φ2～10mm）
多い、漆喰含む しまりなし 粘性あり |
| 4 暗灰色土 | シルトが混入 炭化物（φ1～3mm）微量
酸化鉄混入 しまり・粘性なし |
| 5 暗灰色土 | シルトを主体に砂質土が混入 炭化物（φ3～5mm）多量 木片・漆喰微量 しまりなし
粘性あり |
| 6 暗灰色土 | シルト主体に砂が多く混入 炭化物（φ2～5mm）
少量 しまりなし 粘性あり |

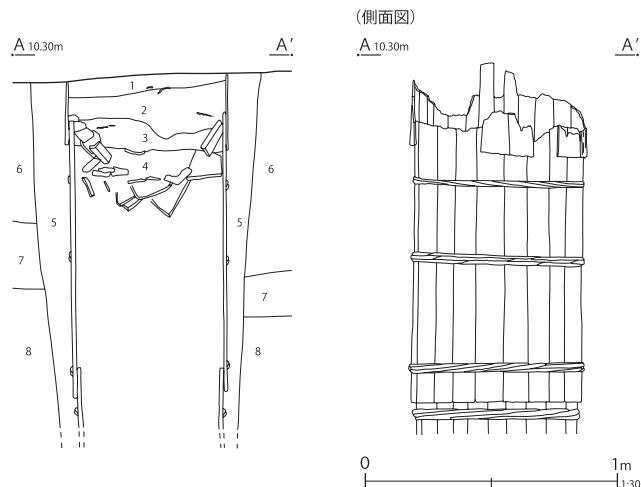
黒いタール状の範囲

第86図 井戸跡（1）

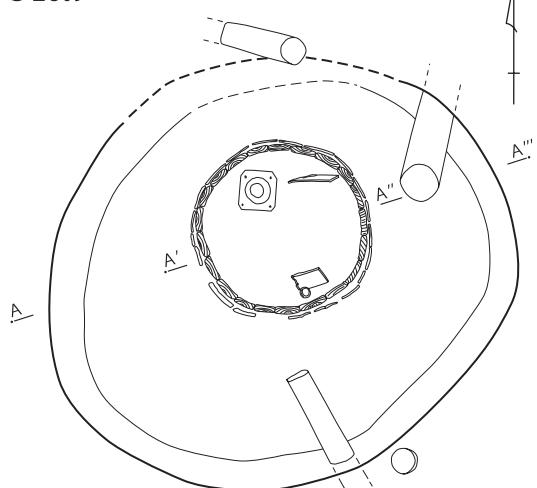
SE 308



- 第308号井戸跡
 1 灰褐色土 しまり強
 2 褐灰色土 しまり強
 3 暗褐色土 瓦・漆喰多量 空洞多い
 4 黒褐色土 瓦片多量
 5 灰褐色土 炭化物(Φ8~10 mm) 少量 粘土ブロック混入
 6 褐色土 炭化物(Φ1~1.5 cm)・陶器片混入 しまり強 粘性なし
 7 灰黑色土 砂が約3割混じる
 8 灰黑色砂 しまり弱

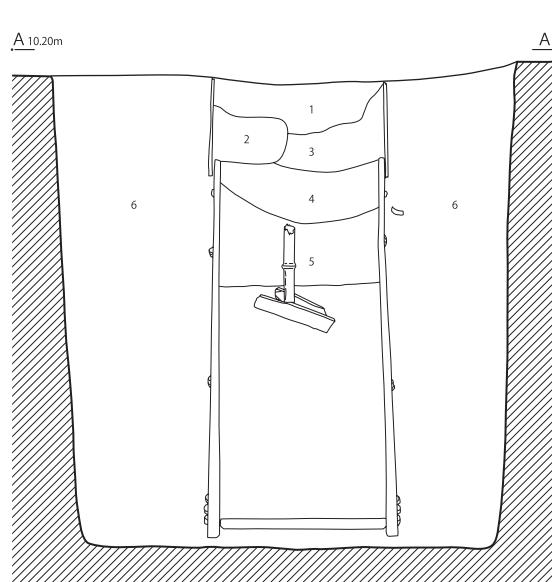


SE 309



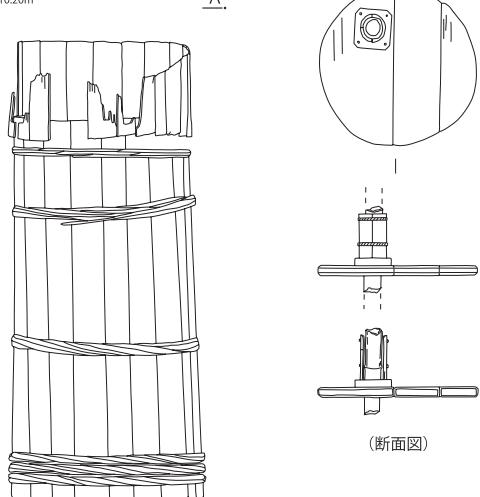
(側面図)

(底面)



A' 10.20m

A''

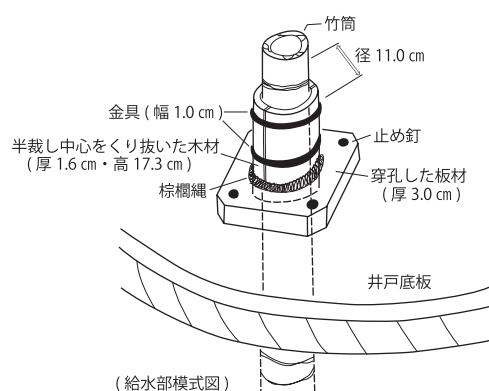


(断面図)

0 1m
1:30

第309号井戸跡

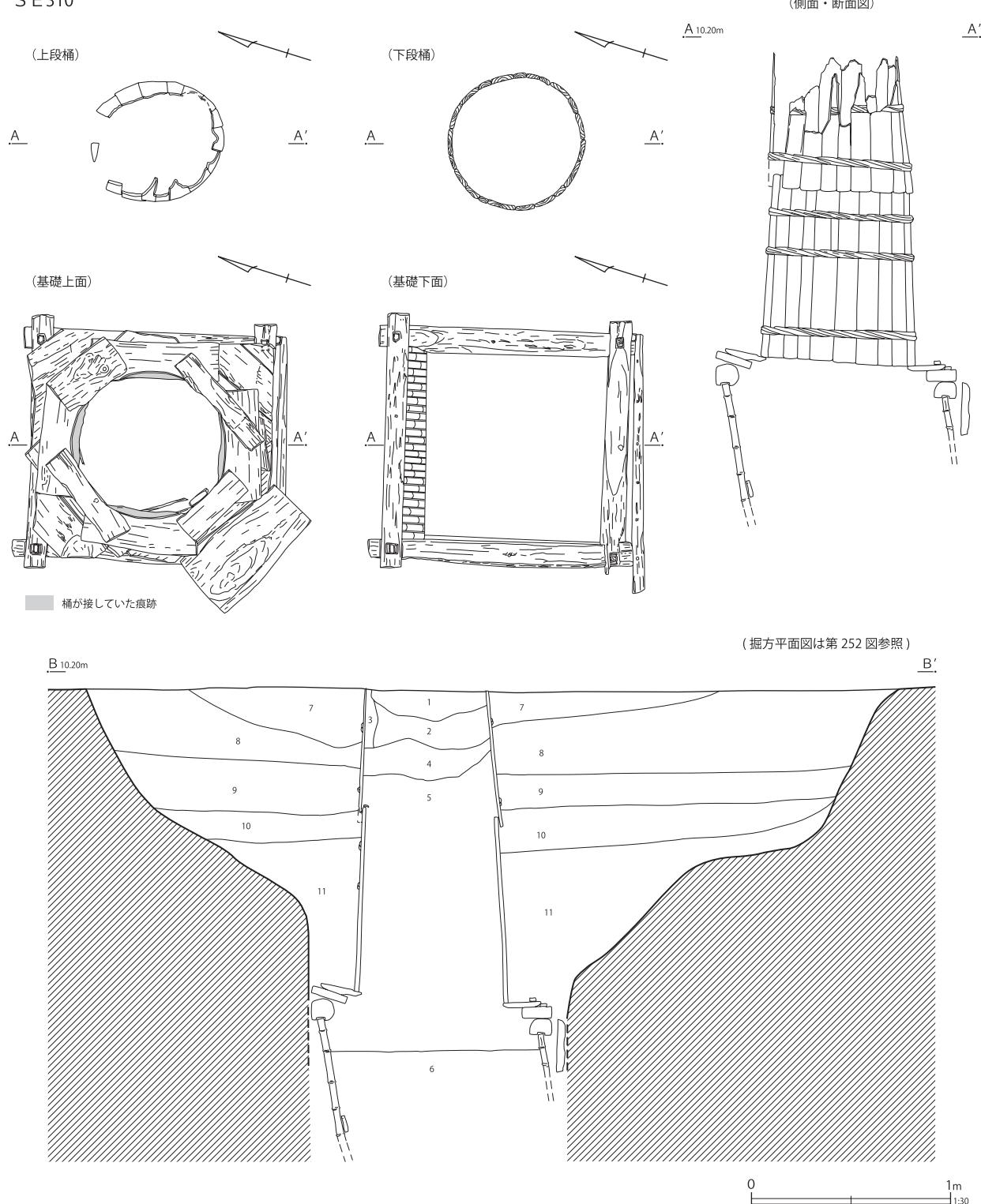
- 1 灰褐色砂 炭化物(Φ3~12 mm) 多量 しまり強
 2 暗黄色砂 炭化物(Φ3~8 mm) 微量 しまり強
 3 褐灰色砂 炭化物等をほとんど含まない しまり強
 4 灰黄色砂 シルトブロック(Φ3~4 cm) 混入 炭化物等を全く含まない
 5 灰黑色砂 炭化物等を全く含まない 小礫混入
 6 黒灰色砂 小礫・粘土状の塊混入



(給水部模式図)

第87図 井戸跡 (2)

SE 310

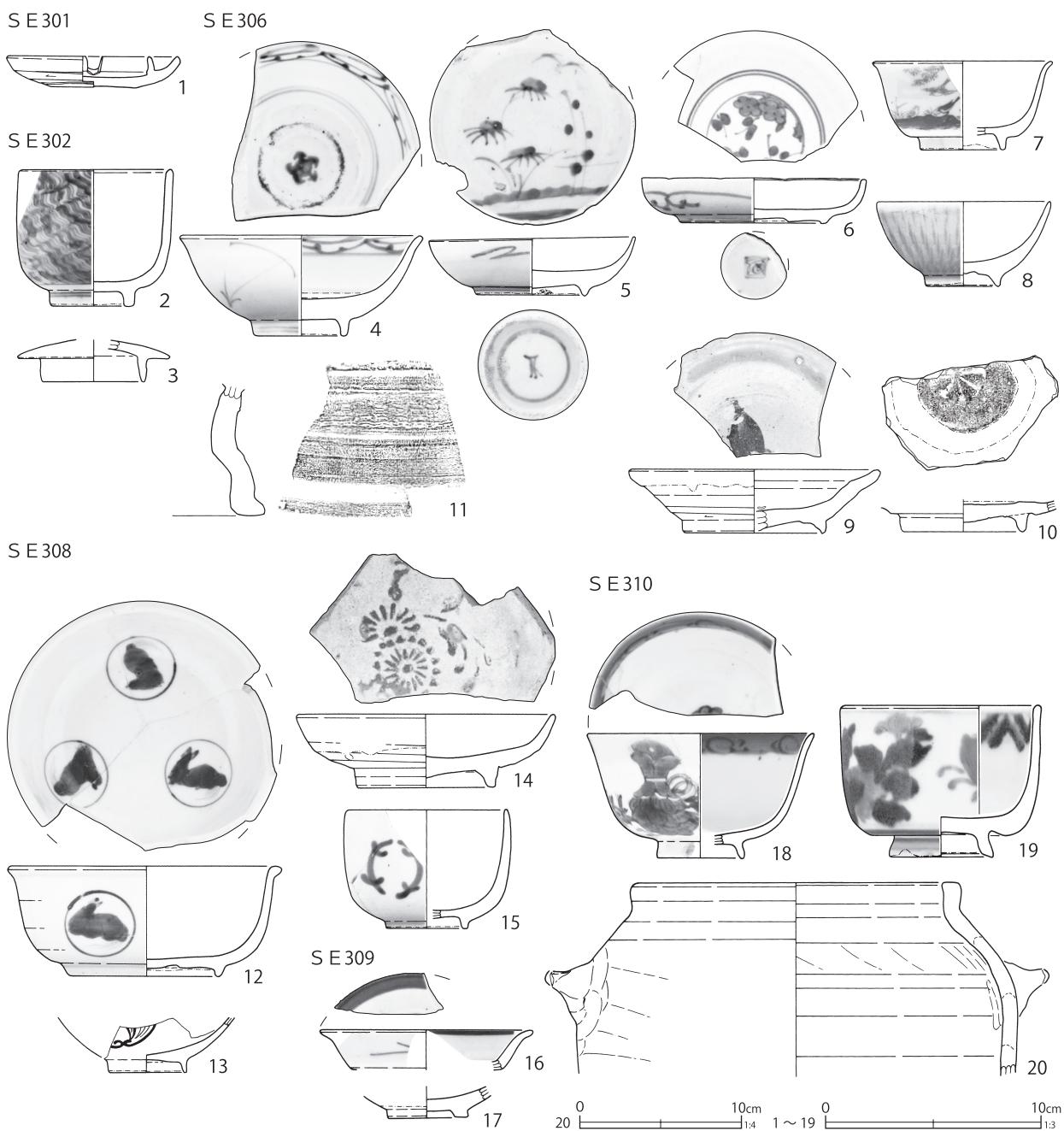


第 310 号井戸跡

- | | |
|---------|--|
| 1 灰黑色土 | 炭化物 ($\phi 3 \sim 8 \text{ mm}$) 多量 焼土 ($\phi 3 \sim 5 \text{ mm}$) 微量 砂が
ブロック状に混入 しまり強 |
| 2 灰褐色土 | シルト混入 炭化物 ($\phi 2 \sim 8 \text{ mm}$) 多量 しまり強 |
| 3 黄褐色砂 | 炭化物 ($\phi 5 \sim 12 \text{ mm}$) 多量 |
| 4 棕色砂 | 混入物ほとんどなし |
| 5 黑褐色土 | 焼土 ($\phi 3 \sim 5 \text{ mm}$) 微量 水分多し 砂混入 粘性あり
植物種子殻・木材の燃えカス多量 粘性あり |
| 6 暗灰黄色土 | |

- | | |
|-----------|---|
| 7 褐色粘土 | シルト質 炭化材等がブロック状に混ざる |
| 8 暗灰黄色土 | 炭化材の燃えカスを多量に含む 粘性弱 |
| 9 暗褐色土 | 暗灰色粘質土ブロック ($\phi 3 \sim 9 \text{ cm}$) 少量 炭化物 ($\phi 2 \text{ cm}$ 前後)
多量 しまりあり 粘性弱 |
| 10 暗灰色土 | 黄灰色砂質土ブロック ($\phi 2 \sim 5 \text{ cm}$) 少量 炭化物 ($\phi 1 \text{ cm}$ 前後)
多量 しまりやや弱 粘性やや弱 |
| 11 暗灰色砂質土 | 炭化物 ($\phi 2 \text{ cm}$ 前後) 少量 しまり弱 |

第 88 図 井戸跡 (3)



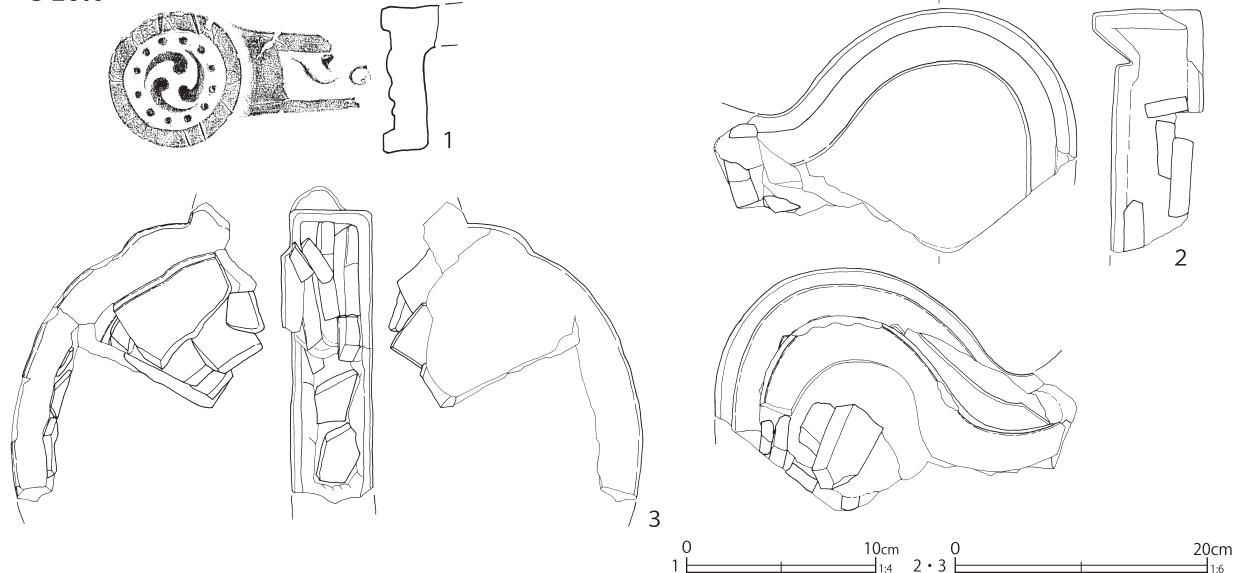
第89図 井戸跡出土遺物（1）

第22表 井戸跡出土遺物観察表（1）（第89図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	陶器	灯明皿	7.7	1.4	3.8	IK	95	良好	灰	SE301	瀬戸美濃系 柿釉 重焼痕	
2	磁器	碗	(6.8)	6.3	(3.6)	HIK	45	良好	白	SE302	肥前系 施釉 外面染付	
3	陶器	蓋	(7.0)	[1.9]	(4.6)	IK	35	良好	灰白	SE302	外面青緑釉（土瓶）	
4	磁器	碗	(11.0)	4.6	4.0	K	40	良好	灰白	SE306	掘方 肥前系 施釉・染付 内底面蛇の目状剥離	
5	磁器	皿	9.3	2.7	4.8	K	85	良好	灰白	SE306	掘方 肥前系 施釉・染付 同形同文の別個体1あり	
6	磁器	皿	(10.2)	2.0	(6.7)	K	45	良好	白	SE306	掘方 肥前系 施釉・染付	46-13
7	磁器	坏	(8.0)	4.1	(3.8)	K	25	良好	白	SE306	掘方 瀬戸美濃系 施釉 外面銅版転写染付（緑・茶）	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	
8	磁器	壺	7.9	3.9	3.3	K	90	良好	灰白	SE306	掘方 濑戸美濃系 酸化クロム釉 外面しのぎ 被熱	
9	陶器	皿	(11.5)	2.9	(6.2)	IK	25	良好	灰白	SE306	掘方 濑戸美濃系 上位銅緑釉 内面鉄絵	
10	陶器	皿	—	[1.5]	5.5	HIK	45	良好	灰白	SE306	掘方 濑戸美濃系 長石釉 内面蛇の目状剥・印花文	
11	瓦質土器	火鉢	—	[6.8]	—	CHIK	5	普通	灰赤	SE306	掘方 外面に沈線施文 酸化炎焼成	
12	磁器	皿	12.1	5.1	6.6	—	70	普通	白	SE308	瀬戸美濃系 施釉・染付	46-14
13	磁器	壺	—	[2.6]	3.5	—	25	良好	白	SE308	瀬戸美濃系 施釉 外面上絵付(青)	46-15
14	陶器	皿	(11.7)	3.3	6.1	DI	60	良好	灰白	SE308	瀬戸美濃系 灰釉 内面摺絵 被熱	
15	磁器	碗	(7.2)	5.5	(3.7)	—	30	良好	白	SE308	肥前系 施釉 外面染付	
16	磁器	皿	(9.6)	[1.8]	—	—	10	良好	白	SE309	肥前系 施釉・染付	
17	陶器	碗	—	[1.4]	3.6	—	15	良好	灰白	SE309	京都信楽系 施釉 幅広高台	47-1
18	磁器	碗	(10.4)	5.7	(3.9)	—	25	良好	白	SE310	肥前系 施釉・染付 燃継痕	
19	磁器	碗	9.0	7.0	6.6	—	80	良好	白	SE310	瀬戸美濃系 施釉・染付 漆継痕	
20	瓦質土器	火消壺	(19.8)	[11.9]	—	—	15	良好	黄灰	SE310	内外面燃す やや酸化炎焼成 内面上位煤付着	47-2

S E 308



第90図 井戸跡出土遺物（2）

第23表 井戸跡出土遺物観察表（2）（第90図）

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	高さ	径	胎土	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	瓦	軒棧瓦	[4.7]	[15.3]	2.2	[6.7]	7.6	CHI	—	灰	SE308	右巻 12珠	
2	瓦	鬼瓦（影盛）	8.8	[28.7]	7.3	[19.2]	—	G	—	灰	SE308	内部を瓦片、周囲を漆喰で固める 化粧粘土	98-2
3	瓦	鬼瓦（影盛）	7.2	[19.9]	6.5	[25.1]	—	I	—	灰白	SE308	内部を瓦片、周囲を漆喰で固める 化粧粘土	98-3

いたが、本来湧水層に達し、吸水ポンプの役割を果たすものと考えられる。底板内側には漆のようなタール状物質が付着する。なお、井戸の掘方周囲に、杭が打ち込まれていた。構築時の土留施設とも考えられる。

陶磁器には、瀬戸美濃系磁器の染付を施す反皿（第89図16）や、卵殻手薄手壺があり、19世紀中葉の埋没と考えられる。17の陶器碗は京都信

楽系と考えられるが、幅広い高台を有しており、特異である。

第310号井戸跡（第88図）

C 6-J 9・D 6-A 9グリッドに位置する。下層部では、第二面の第313号井戸跡掘方と重複しており、掘方の平面図はともに第252図に掲げた。

井戸枠は桶を2段以上積み重ねる構造であり、